平成21（2009）年度

福岡市埋蔵文化財センター年報

第29号

2011

福岡市教育委員会

序

アジアの玄関口である福岡市は、古来から対外交渉の門戸として栄えてきました。このことを物語るように、市内には数多くの遺跡が残されています。

埋蔵文化財センターでは、これら発掘調査で出土した遺物や記録類を体系的に収蔵管理し、多くの市民に活用して頂くために、昭和57年2月に開館しました。以来、二度にわたって増改築を行い、収蔵庫・展示室・研修室・保存処理室などの充実に努めてまいりました。

展示におきましては常設展示のほかに講座に合わせた企画展示や速報コーナーを設けて新しい情報発信に努めています。また、エントランスのプチ展示と称したコーナーでは講座に合わせた遺物展示のほか遊び心をもった展示を心がけ、新しい企画を試みていこうと考えています。

また、平成17年度から小・中学校を中心に、ふるさとを誇りに思う心を育てる教育の一環として、出前授業を始め、平成21年度では50校に出かけて行きました。そこでは各校区で実施された遺跡調査の成果をパネルを用いて説明したり、出土遺物を教室に持ち込み児童や生徒に触れさせて古代の人々の生活を体験できるようにしました。さらに、冬休みには「所長と遊ぼう」と称した体験学習を企画、実施し好評を得ました。今後、積極的に機会を得て外へ出かけ、多くの市民の皆様が歴史を体験できるように努めていきたいと思います。

末尾になりましたが、今後なお一層、当センターをご利用されることをお願い申し上げますとともに、関係各位のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年3月16日

福岡市教育委員会
教育長　山田　裕嗣

目　次

I　平成21(2009)年度の活動 …… 1
1. 資料の収蔵・整理 …… 1
2. 教育・普及 …… 7
3. 保存処理 …… 18
4. 入館者数 …… 40
5. 平成21年度当初予算 …… 40
II　埋蔵文化財センターの概要 …… 41
1. 組織と職員 …… 41
2. 施設 …… 41
付1　福岡市埋蔵文化財センター条例等 …… 43
付2　平成21年度刊行福岡市埋蔵文化財調査報告書・年報一覧 …… 裏表紙見返し

例　言

1. 本書は平成21年度(2009年4月1日～2010年3月31日)の福岡市埋蔵文化財センターの業務年報である。
2. 本書の作成は、池崎譲二、荒牧宏行、田上勇一郎、星野恵美、上角智希、石井千絵里が担当した。

※表紙写真は、有田遺跡群第81次SC01出土土師器、城田遺跡第2次SO01出土線彫式獣帯鏡、元岡・桑原遺跡群第20次出土墨書土器

Ⅰ　平成21(2009)年度の活動

1．資料の収蔵・整理

(1) 収蔵方針

昭和44（1969）年、教育委員会に文化課が発足して以来、市内における緊急調査や史跡整備に伴う確認調査などで得られた出土品および写真・図面等の記録類は膨大な数量に及んでいる。これら考古資料の保存と活用をはかり、市民文化の向上に資するために、昭和57（1982）年、福岡市埋蔵文化財センター（以下、センターと呼ぶ）が設立された。

現在、福岡市の文化財行政は教育委員会文化財部（組織はⅡ－1章参照）で行っている。センターは報告書が刊行された考古資料を発掘事業担当課から受入れて収蔵し、管理することを事業の柱の一つとしている。(発掘事業は行っていない)。

発掘調査で得られた考古資料は、速やかに一般公開され、広く市民や研究者に活用される事が望ましい。このため文化財部では発掘調査、整理、収蔵の一連の作業が統一性をもって円滑に遂行され、考古資料の多用で迅速な活用をはかるため、昭和60（1985）年に「埋蔵文化財資料の収蔵整理要項」（『福岡市埋蔵文化財センター年報』第5号1985所収）を策定した。この要項はその後実状にあわせ細部を改変したものの、策定後から要項に沿った発掘調査、整理作業が実施され、センターへの考古資料の収蔵も円滑なものとなっており、また収蔵された考古資料の活用も年々増加している（Ⅰ－2章参照)。

(2) 平成21年度の本収蔵

センターに本収蔵されている考古資料は、発掘事業担当課が報告書刊行後要項に沿った整理作業を行い搬入・収蔵したもの（埋文課と表記）と、要項策定以前に発掘調査が行われ仮収蔵されていた資料をセンターで要項に沿って整理したうえ収蔵したもの（センターと表記）とに区分される。

平成21年度までにセンターに本収蔵されたのは1,619遺跡（追加収蔵まで含めた収蔵数は1,683件）で、その内訳は登録遺物1,049,982点、甕棺1,512個、コンテナ101,213箱、ネガフィルム343,327点、スライドフィルム446,012点、図面類160,758枚、写真カード190,353枚となっている（表1)。平成21年度までの市内での発掘調査は2,226件であり、全体の約72%が本収蔵され、検索が可能となった。

平成21年度の本収蔵は、埋文課から搬入・収蔵されたもの74遺跡、センターで収蔵したもの18遺跡のあわせて92遺跡（新規収蔵88遺跡、追加収蔵4遺跡）である。主な収蔵品は遺物がコンテナ4,908箱と甕棺37個（コンテナ換算する場合は甕棺1個を12箱とする)、写真類が30,965点、図面類が7,346点、写真カードが6,566枚である（表2)。

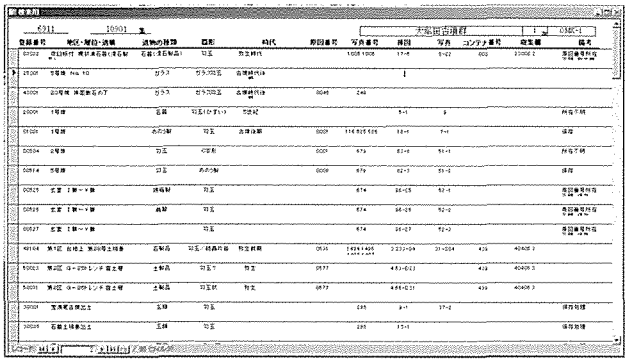
出土品のうち土器・石器は一般収蔵庫に、金属器・木製品・玉類は特別収蔵庫に収納している。また写真類は第一記録類収蔵庫、図面類は第二記録類収蔵庫、写真カードは第一資料整理室へ納めた。

(3) 収蔵台帳のデータベース化

民間委託して現在までにセンターに収蔵されている登録遺物約100万点の手書き台帳をデータベース化する事業である。予算削減のなか10割の補助金を受けることができる国の緊急雇用創出事業の交付金を適用した。平成21年度から平成23年度までの3ヶ年の継続事業とし、現在までに作成した手書き台帳を全てデータベース化する予定である。今後は各整理事務所でデジタル化したデータとプリントアウトした紙ベースの資料を収蔵していく。

平成21年度の事業概要は以下の通りである。

検索一覧表



検索画面

目 的

1．登録件数が約100万件に及ぶ収蔵遺物の内容や収蔵場所等の検索が効率的に行えるようにすること。

2．現在までの手書き台帳の永久的なバックアップデータとすること。

3．市民向けの企画展示、博物館等への貸し出し、市民公開講座資料、ネットでの公開などに用いるデータベースを作成する。

履行期間

平成21年12月17日から平成22年3月23日

委託業務内容

1．105,000件のデータ入力。なお、平成22、23年度の委託で総件数約100万件を入力する予定である。

2．メンテナンス用のデータ入力フォームの作成

費用

緊急雇用創出事業の交付金を適用。10割補助金。

作業方法

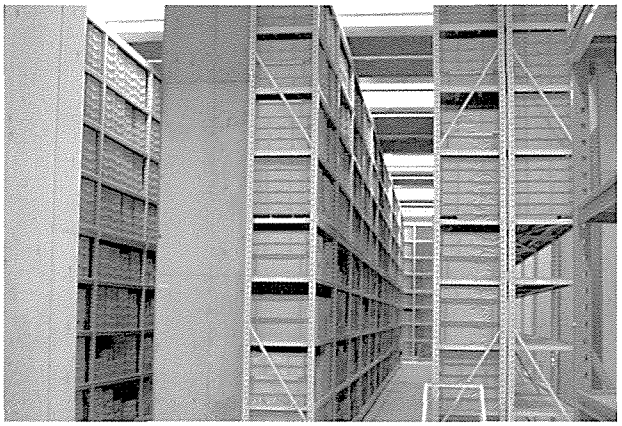
データ入力作業は5～7人の新規雇用者によって行われた。作業はエクセルに入力した後にアクセスに変換した。

(4) 収蔵棚の増設

発掘調査によって増え続ける遺物の収蔵、管理も大きな課題の一つである。年間、コンテナ箱4,000～6,000箱が当センターへ搬入されるが、その収蔵・管理のための場所の確保と収蔵棚の設置は予算削減のなか、苦慮しているところである。

平成21年度は増築棟3階収蔵庫の約1/8スペースにコンテナ箱約7,680箱が収納できる棚を設置した。

近年の推移からみると平成31年度には新館3階の収蔵棚が満了する予定である。



新館3階の収蔵棚

(5) 資料のデータベース化への取組み

近年のデジタル化の進歩に伴い、下記のような資料や台帳のデジタル化を進め、活用や保存を図っている。詳細は該当年度の年報に掲載している。

a．スライド写真のデジタル化（平成12年～18年度）

b．収蔵遺物のデータベース化（平成21年度～23年度）

c．収蔵遺物写真の検索システムの構築（平成20年度）

d．収蔵遺物のデジタル写真撮影（平成19、20年度）

なお、平成22年度には埋蔵文化財報告書のデジタル化を進めている。

表1-1　本収蔵数一覧（1986～2009年度）

年度	収蔵区分	新規遺跡数	追加遺跡数	登録遺物点数	遺物		ネガフィルム			ポジフィルム			図面		写真
					甕棺数	コンテナ数	35mm(本)	6×7(コマ)	4×5(枚)	35mm(コマ)	6×7(コマ)	4×5(枚)	遺構	遺物	カード
1986	埋文課	4	0	3,639	0	749	57	1,397	7	1,358	163	0	352	239	781
	センター	14	0	4,475	0	309	343	1,844	169	3,736	386	96	617	512	1,564
	年度合計	18	0	8,114	0	1,058	400	3,241	176	5,094	549	96	969	751	2,345
1987	埋文課	12	0	8,860	3	779	284	4,051	8	2,931	373	0	994	1,223	2,744
	センター	9	0	2,631	1	217	229	2,327	80	3,121	254	2	427	290	1,630
	年度合計	21	0	11,491	4	996	513	6,378	88	6,052	627	2	1,421	1,513	4,374
1988	埋文課	38	1	15,193	61	1,152	560	8,566	10	6,694	647	0	1,784	1,789	5,074
	センター	5	0	11,301	72	740	331	4,342	137	4,848	13	0	888	1,141	2,994
	年度合計	43	1	26,494	133	1,892	891	12,908	147	11,542	660	0	2,672	2,930	8,068
1989	埋文課	11	0	16,380	6	1,121	231	7,507	99	4,634	966	63	1,612	1,619	2,343
	センター	3	0	6,701	0	868	155	3,559	92	2,906	0	0	105	418	2,090
	年度合計	14	0	23,081	6	1,989	386	11,066	191	7,540	966	63	1,717	2,037	4,433
1990	埋文課	60	0	43,807	29	2,214	1,460	17,561	712	19,235	2,405	76	3,173	3,277	9,563
	センター	30	0	11,096	3	766	311	3,073	0	4,714	496	8	723	955	1,924
	年度合計	90	0	54,903	32	2,980	1,771	20,634	712	23,949	2,901	84	3,896	4,232	11,487
1991	埋文課	57	0	32,480	32	3,028	599	10,974	45	9,051	1,095	67	2,435	2,552	6,075
	センター	6	0	4,586	65	724	395	3,303	86	3,541	811	45	666	865	1,856
	年度合計	63	0	37,066	97	3,752	994	14,277	131	12,592	1,906	112	3,101	3,417	7,931
1992	埋文課	74	4	33,934	78	3,449	760	12,820	12	12,490	1,618	25	3,505	3,092	6,972
	センター	13	2	8,046	30	1,287	284	3,006	19	3,141	176	8	558	985	1,950
	年度合計	87	6	41,980	108	4,736	1,044	15,826	31	15,631	1,794	33	4,063	4,077	8,922
1993	埋文課	52	0	28,850	26	4,355	711	21,093	38	12,410	2,949	17	2,858	2,811	11,587
	センター	6	0	6,034	7	1,118	237	22	463	2,123	0	26	308	156	654
	年度合計	58	0	34,884	33	5,473	948	21,115	501	14,533	2,949	43	3,166	2,967	12,241
1994	埋文課	40	1	17,817	118	1,570	472	8,556	0	7,680	1,751	4	1,936	2,068	4,797
	センター	9	0	7,285	3	984	151	1,026	125	2,619	68	11	560	427	985
	年度合計	49	1	25,102	121	2,554	623	9,582	125	10,299	1,819	15	2,496	2,495	5,782
1995	埋文課	57	1	40,565	37	4,229	675	12,851	257	10,564	3,035	238	2,519	3,354	7,581
	センター	13	0	5,854	9	1,128	182	2,973	6	3,099	270	0	448	450	1,526
	年度合計	70	1	46,419	46	5,357	857	15,824	263	13,663	3,305	238	2,967	3,804	9,107
1996	埋文課	66	0	32,101	148	3,454	764	12,136	0	14,364	4,429	10	3,239	3,256	7,629
	センター	12	0	5,015	82	565	245	2,529	618	3,331	284	0	520	1,035	1,725
	年度合計	78	0	37,116	230	4,019	1,009	14,665	618	17,695	4,713	10	3,759	4,291	9,354
1997	埋文課	84	1	58,346	56	7,942	1,063	18,594	23	17,119	7,240	44	4,424	3,848	10,889
	センター	8	0	5,088	0	740	134	2,293	355	2,217	391	0	291	616	1,112
	年度合計	92	1	63,434	56	8,682	1,197	20,887	378	19,336	7,631	44	4,715	4,464	12,001

註）1998年度はセンターの増築・改造のため本収蔵は行われなかった。
数の単位は遺物甕棺（個）、コンテナ（箱）、ネガフィルム35mm（本）、その他の写真（コマ、4×5は枚）、図面、写真カード（枚）

表１-２　本収蔵数一覧（1986～2009年度）

年度	収蔵区分	新規遺跡数	追加遺跡数	登録遺物点数	遺物		ネガフィルム			ポジフィルム			図面		写真
					甕棺数	コンテナ数	35mm(本)	6×7(コマ)	4×5(枚)	35mm(コマ)	6×7(コマ)	4×5(枚)	遺構	遺物	カード
1999	埋文課	109	2	54,107	79	5,509	1,193	18,783	1,008	22,461	7,209	84	5,207	4,779	11,675
	センター	3	0	1,279	1	366	44	704	0	991	82	0	87	88	455
	年度合計	112	2	55,386	80	5,875	1,237	19,487	1,008	23,452	7,291	84	5,294	4,867	12,130
2000	埋文課	75	5	47,069	71	5,798	1,361	20,717	75	26,016	8,431	84	6,069	5,896	12,968
	センター	11	0	3,851	0	535	51	419	69	790	157	0	897	299	337
	年度合計	86	5	50,920	71	6,333	1,412	21,136	144	26,806	8,588	84	6,966	6,195	13,305
2001	埋文課	44	1	30,512	34	4,785	669	8,157	121	10,229	3,011	7	2,263	2,930	5,061
	センター	9	8	6,502	9	841	356	3,277	65	4,281	11	0	1,065	1,039	2,192
	年度合計	53	9	37,014	43	5,626	1,025	11,434	186	14,510	3,022	7	3,328	3,969	7,253
2002	埋文課	50	6	47,781	112	5,229	689	10,503	0	13,496	4,956	13	2,356	3,195	6,274
	センター	10	0	2,595	2	268	130	489	215	2,107	0	0	203	261	690
	年度合計	60	6	50,376	114	5,497	819	10,992	215	15,603	4,956	13	2,559	3,456	6,964
2003	埋文課	82	3	61,651	66	7,356	755	15,498	665	14,786	6,002	483	3,644	4,436	8,124
	センター	8	0	2,178	16	165	96	2,598	0	1,980	52	0	247	289	1,522
	年度合計	90	3	63,829	82	7,521	851	18,096	665	16,766	6,054	483	3,891	4,725	9,646
2004	埋文課	48	2	41,675	37	2,702	711	8,607	181	13,700	3,106	247	2,709	2,642	5,469
	センター	13	0	2,068	14	178	420	2,383	354	2,733	11	0	439	183	1,251
	年度合計	61	2	43,743	51	2,880	1,131	10,990	535	16,433	3,117	247	3,148	2,825	6,720
2005	埋文課	70	2	59,235	16	4,276	620	10,065	277	13,796	4,936	133	2,924	3,422	7,092
	センター	24	0	4,208	5	537	385	458	11	4,410	20	6	380	481	859
	年度合計	94	2	63,443	21	4,813	1,005	10,523	288	18,206	4,956	139	3,304	3,903	7,951
2006	埋文課	64	2	44,692	45	4,006	743	10,171	8	15,269	4,936	63	2,965	3,419	6,906
	センター	27	2	3,885	6	632	212	325	359	2,456	0	0	906	545	805
	年度合計	91	4	48,577	51	4,638	955	10,496	367	17,725	4,936	63	3,871	3,964	7,711
2007	埋文課	94	7	66,886	10	5,634	1,089	17,247	0	17,808	8,902	16	5,889	3,220	10,426
	センター	10	6	8,285	59	940	140	879	17	1,970	315	0	333	280	828
	年度合計	104	13	75,171	69	6,574	1,229	18,126	17	19,778	9,217	16	6,222	3,500	11,254
2008	埋文課	85	4	32,750	27	2,746	489	7,555	8	10,272	2,343	107	2,327	2,876	4,433
	センター	16	3	1,682	0	318	114	361	0	1,604	119	0	172	130	375
	年度合計	101	7	34,432	27	3,064	603	7,916	8	11,876	2,462	107	2,499	3,006	4,808
2009	埋文課	74	2	111,030	32	3,880	656	9,041	65	15,158	4,796	58	2,330	4,451	6,355
	センター	18	2	6,002	5	1,028	32	303	20	683	105	48	116	449	211
	年度合計	92	4	117,032	37	4,908	688	9,344	85	15,841	4,901	106	2,446	4,900	6,566
計	埋文課	1,350	44	929,360	1,123	85,963	16,611	272,450	3,619	291,521	85,299	1,839	67,514	70,394	160,818
	センター	277	23	120,647	389	15,254	4,977	42,493	3,260	63,401	4,021	250	10,956	11,894	29,535
	総計	1,627	67	1,050,007	1,512	101,217	21,588	314,943	6,879	354,922	89,320	2,089	78,470	82,288	190,353

註）1998年度はセンターの増築・改造のため本収蔵は行われなかった。
数の単位は遺物甕棺（個）、コンテナ（箱）、ネガフィルム35mm（本）、その他の写真（コマ、４×５は枚）、図面、写真カード（枚）

表2-1　平成21(2009)年度　本収蔵一覧

収蔵	収蔵区分	調査番号	遺跡名	次数	報告書(集)	登録遺物点数	遺物		ネガフィルム			ポジフィルム			図面		写真カード	収蔵日	遺跡数	調査担当者
							郷棺数	コンテナ数	35mm(本)	6×7(コマ)	4×5(枚)	35mm(コマ)	6×7(コマ)	4×5(枚)	遺構	遺物				
200901	センター	8036	那珂遺跡群	4	82	16		3		36		64			3	3	21	4月16日	1	飛高・力武
200902	埋文課	0001	元岡・桑原遺跡群	20	962・1013	6,351	9	1,633	66	125		1,574	932	4	377	542	548	4月22日	1	菅波正人・屋山洋
200903	埋文課	0303	元岡・桑原遺跡群	33	1064	5		1	5	50		118	47		8	1	35	4月28日	1	濱石哲也
200904	埋文課	0725	坂堤遺跡	1	1030	458		14	8	58		89	48		30	43	47	4月28日	1	濱石哲也
200905	埋文課	0719	那珂遺跡群	118	1033	31		1	2			52			5	2	4	4月28日	1	濱石哲也
200906	埋文課	0664	箱崎遺跡	55	1046	83		2	2	20		40			6	4	14	4月28日	1	濱石哲也
200907	埋文課	0534	吉武遺跡群	19	1061	235	3	16	10	258		220	234		29	34	127	4月28日	1	長家伸
200908	埋文課	0469	蒲田部木原遺跡群	9	年報Vol.19	9		1	1	20		14	18		6	1	9	4月28日	1	長家伸
200909	埋文課	0715	大塚遺跡	13	1025	77		4	4	28		805	10		42	9	14	5月9日	1	森本幹彦
200910	センター	7935	諸岡B遺跡	9	57	418		10	7	45	11	10	12		37	45	45	5月19日	1	柳沢・横山
200911	センター	8137	板付遺跡	37	83	57		11	2	17					3	2	11	5月21日	1	柳沢・二宮
200912	センター	8309	有田遺跡群	81	129	1,053		75										6月23日	※1	濱石哲也
200913	埋文課	0729	那珂遺跡群	120	1036	74		5	2	44		28			14	6	24	6月30日	1	小林義彦
200914	埋文課	0731	麦野C遺跡	11	1057	126		5	8	102		156	38		20	8	68	6月30日	1	小林義彦
200915	埋文課	0724	麦野A遺跡	19	1055	48		2	3	30		54	14		16	5	20	6月30日	1	小林義彦
200916	埋文課	0708	博多遺跡群	173	1042	3,324	4	169	31	450		585			133	184	275	7月2日	1	山崎龍雄
200917	埋文課	0748	博多遺跡群	178	1044	924		53	7	131		126			33	45	62	7月2日	1	山崎龍雄
200918	埋文課	0749	箱崎遺跡	59	1048	692	2	18	9	162		180			30	31	94	7月2日	1	山崎龍雄
200919	センター	7106	倉瀬戸古墳群	1	10019	321		14										7月17日	1	賀川光夫
200920	センター	8135	野多目D遺跡	1	103	91		4										7月22日	1	松村道博
200921	埋文課	0610	五十川遺跡	15	978	66		2	1	16		12			6	3	11	7月23日	1	荒牧宏行
200922	埋文課	0421	那珂遺跡群	98	1033	88		3	2	40		41			9	5	22	7月23日	1	荒牧宏行
200923	埋文課	0560	博多遺跡群	157	988	1,233		61	4	92		101	6		38	62	58	8月4日	1	荒牧宏行
200924	埋文課	0618	那珂遺跡群	113	982	253		52	2	41		43			11	35	25	8月4日	1	荒牧宏行
200925	埋文課	9902	元岡・桑原遺跡群	12	860・1063	75,927		680	45	772		1,049	153		119	1,932	464	8月11日	1	菅波正人
200926	センター	8138	高畑遺跡	7	83	257		27	10	66		248			4	1	52	8月26日	1	柳沢・二宮
200927	センター	8139	板付遺跡	38	83	18		2										8月27日	1	横山邦継
200928	センター	8143	箱池古墳	1	10035	9		1										8月27日	1	佐田茂
200929	埋文課	0572	博多遺跡群	161	1038	1,328		58	12	338		259	82		37	43	194	8月28日	1	小林義彦
200930	センター	8314	有田遺跡群	86	113	196	5	10										9月8日	1	井澤・松村
200931	センター	8304	有田遺跡群	76	113	87		1	4	30					29		19	9月8日	1	井澤・松村
200932	センター	6908	宮の前遺跡	2	10011	173		21										9月26日	※1	下條・沢
200933	センター	8338	重留古墳A群	2	10036	95		6				59			11			9月30日	1	下條・定森
200934	埋文課	0669	博多遺跡群	170	1040	321		27	3	186		72	32		12	35	101	10月14日	1	小林義彦
200935	埋文課	0754	博多遺跡群	180	1045	1,531	1	114	7	354		143	10		28	60	188	11月6日	1	加藤良彦
200936	埋文課	0652	田村遺跡	21	1031	861		29	9	548	60	198	17	37	134	70	335	11月6日	1	加藤良彦
200937	埋文課	0713	東比恵3丁目遺跡	2	1051	81		3	4	130		85	30		25	9	73	11月6日	1	加藤良彦
200938	埋文課	0733	諸岡B遺跡	22	1972	36	1	4	2	32		32			9	3	19	11月6日	1	加藤良彦
200939	埋文課	0745	比恵遺跡群	112	1049	338		30	7	248		123	10		17	46	137	11月6日	1	加藤良彦
200940	埋文課	0730	博多遺跡群	177	年報Vol.22	78		5	1						4	9	2	11月6日	1	加藤良彦
200941	埋文課	0144	浦江遺跡	5	862・792・866・874				62	1,262	5	1,684	1,044	8			790	11月6日	※1	阿部泰之
200942	埋文課	0329	金武城田遺跡	2	866・874・927・1016				59	1,076		1,708	882	7			740	11月6日	※1	阿部泰之
200943	埋文課	0704	麦野A遺跡	18	1054	82		10	9	166		124	37		57	31	97	11月6日	1	阿部泰之
200944	埋文課	0743	藤崎遺跡	36	1052	123		7	3	64		69	30		12	15	33	11月6日	1	阿部泰之
200945	埋文課	0654	老司瓦窯跡	1	1062	181		35	7	30		112	4		5	23	26	11月26日	1	榎本義嗣
200946	埋文課	0663	老司瓦窯跡	2	1062	105		4	4	34		60	6	2	11	14	24	11月26日	1	榎本義嗣
200947	埋文課	0701	老司瓦窯跡	3	1062	253		33	16	180		240	182		27	84	101	11月26日	1	榎本義嗣

表２－２　平成21（2009）年度　本収蔵一覧

収蔵	収蔵区分	調査番号	遺跡名	次数	報告書(集)	登録遺物点数	遺物		ネガフィルム			ポジフィルム			図面		写真カード	収蔵日	遺跡数	調査担当者
							鏡楯数	コンテナ数	35mm(本)	6×7(コマ)	4×5(枚)	35mm(コマ)	6×7(コマ)	4×5(枚)	遺構	遺物				
200948	埋文課	0755	麦野A遺跡	20	1056	230		4	9	82		122	76		24	10	50	11月26日	1	榎本義嗣
200949	埋文課	0720	諸岡Ｂ遺跡	21	年報Vol.22	11		1	1	7		12	6		3	1	5	11月26日	1	榎本義嗣
200950	センター	8614	板付遺跡	48	154	96		11								1		12月24日	1	山口譲治、吉留秀敏
200951	センター	8647	名島１号墳	2	1902	54		1										12月25日	1	池崎譲二
200952	センター	7909	金武古墳群	5	68	105		5	9	109	9	302	93	48	29	38	63	1月19日	1	柳沢・横山
200953	埋文課	9844	姪浜遺跡	4	1058	267		64	6	52		94			16	45	43	1月27日	1	米倉秀紀
200954	センター	8401	唐原遺跡	1	161.207	1,996		799								359		2月5日	1	小林・小畑
200955	埋文課	0437	箱崎遺跡	47	1046	2,995		257	11	10		155	16		108	141	26	2月18日	1	中村啓太郎
200956	埋文課	0744	諸岡Ｂ遺跡	23	1060	30	6	5	5	56		91	30		7	6	36	2月18日	1	小林義彦
200957	センター	8443	野多目A遺跡	2	159	960		27										3月5日	1	山崎純男
200958	埋文課	0528	大塚遺跡	8	1025	13		2	2	10		6	10		19	1	8	3月9日	1	阿部泰之
200959	埋文課	0603	弥永原遺跡	9	1014	243		3	1	20		22			10	4	12	3月9日	1	蔵富士寛
200960	埋文課	0456	那珂遺跡群	104	年報Vol.19	23		3	1	12		16			3	2	8	3月9日	1	蔵富士寛
200961	埋文課	0408	那珂遺跡群	95	年報Vol.19	13		1	1	10		14	10		5	1	6	3月9日	1	蔵富士寛
200962	埋文課	0570	比恵遺跡群	104	958	64		19	1	6		8			7	11	4	3月9日	1	蔵富士寛
200963	埋文課	0555	吉塚遺跡	12	967	238		11	2	26		45			10	18	16	3月9日	1	蔵富士寛
200964	埋文課	0462	三苫遺跡	6	905	73		1	2	10		29			4	2	8	3月9日	1	蔵富士寛
200965	埋文課	0735	有田遺跡群	226	1024	152		2	4	74		74	62		34	3	45	3月9日	1	今井隆博
200966	埋文課	0659	大塚遺跡	10	1025	91		1	2	92		44			61	4	51	3月9日	1	今井隆博
200967	埋文課	0702	大塚遺跡	12	1025	25		1	1	20		20	6		25	1	13	3月9日	1	今井隆博
200968	埋文課	0712	免遺跡	3	1059	1,138		15	2	40		40	36		12	67	31	3月9日	1	今井隆博
200969	埋文課	0723	飯氏遺跡	12	1026	70		4	2	20		28	15		6	7	14	3月9日	1	今井隆博
200970	埋文課	0612	博多遺跡群	162	947	419		48	2	46		58			9	21	27	3月9日	1	蔵富士寛
200971	埋文課	0521	警弥郷B遺跡	5	929	290		27	5	45		72			27	27	30	3月9日	1	蔵富士寛
200972	埋文課	0444	五十川遺跡	13	1029	111		5	4	16		82	16		14	15	14	3月10日	1	吉武学
200973	埋文課	0481	五十川遺跡	14	1029	338		8	7	82		167	84		54	16	46	3月10日	1	吉武学
200974	埋文課	0122	那珂遺跡群	80	1033	110	1	22	3	49		107	10		10	35	24	3月10日	1	吉武学
200975	埋文課	0146	那珂遺跡群	83	1033	257	1	11	6	22		129	18		18	39	17	3月10日	1	吉武学
200976	埋文課	0550	那珂遺跡群	110	1033	475	1	30	6	57		125	50		25	60	35	3月10日	1	吉武学
200977	埋文課	0619	麦野Ａ遺跡	17	年報Vol.21	50		2	4	20		103	20		23	4	16	3月10日	1	吉武学
200978	埋文課	0728	博多遺跡群	176	1043	2,979		117	13	203		211	106		40	94	142	3月12日	1	屋山洋
200979	埋文課	0761	比恵遺跡群	113	1050	217		13	3	50		48	50		13	7	35	3月12日	1	屋山洋
200980	埋文課	0721	那珂遺跡群	119	1035	63		4	3	38		41	20		12	6	25	3月12日	1	屋山洋
200981	埋文課	0717	那珂遺跡群	117	1034	251		6	21	26		598			78	31	88	3月16日	1	久住猛雄
200982	埋文課	0661	那珂遺跡群	115	983	1,378		27	16	123		533			62	158	182	3月16日	1	久住猛雄
200983	埋文課	0133	井尻Ｂ遺跡	22	923	63		2	9	45		110			17	7	33	3月16日	1	久住猛雄
200984	埋文課	0522	比恵遺跡群	100	956	123		4	6	48		119			22	14	36	3月16日	1	久住猛雄
200985	埋文課	0538	元岡遺跡	46	964	226		3	9	20		246			28	13	28	3月6日	1	久住猛雄
200986	埋文課	0703	井相田Ｃ遺跡	8	1027	1,066		13	13	17		397			50	52	56	3月16日	1	久住猛雄
200987	埋文課	0828	兵庫遺跡	2	1081	27		1	2	22		40	21		15	3	13	3月25日	1	加藤隆也
200988	埋文課	0839	戸切遺跡	3	1081	34		1	2	12		49	13		8	4	10	3月25日	1	加藤隆也
200989	埋文課	0847	戸切巡り町遺跡	2	1081	21		1	1	22		28	12		5	2	12	3月25日	1	加藤隆也
200990	埋文課	0810	羽根戸原B遺跡	3	1095	149		2	5	109		145	100		42	7	65	3月25日	1	加藤隆也
200991	埋文課	0858	有田遺跡群	232	1067	13		1	1	20		29	20		8	0	11	3月25日	1	加藤隆也
200992	埋文課	9168	東入部遺跡	2	1070	1,372	3	57	45	315		705	123		86	118	253	3月30日	1	池田祐司
						117,032	37	4,908	688	9,344	85	15,841	4,901	106	2,446	4,900	6,566		92	
							コンテナ計	5,352		Nフィルム計	10,117		Pフィルム計	20,848	図面計	7,346			追加含む	

2．教育・普及

（1）教育活動

1）出前授業

福岡市の教育方針では、「学ぶことに興味を持ち、未知のものを知る感動を味わい、自由な発想をもって様々なことを構想するなど、知的探求心を高めることや郷土福岡を誇りとする気持ちを育むこと」が重視されている。

このため平成17年度から当センターでは、上記の趣旨を生かし、併せて義務教育学校における郷土の歴史学習の充実と拡大を図るための具体的施策として、依頼のあった学校へ当センターの職員（考古学専門職）を派遣し、出土品に直接触れて歴史を身近に感じると共に古代の生活体験をとおして歴史認識を深めることを授業の骨格とする出前授業要項を策定、決定して本格的に事業を開始した。

【平成21年度授業プログラム】

1．小学校

No.	授業名	単位	時間	構成	授業概要
1	大昔のくらし① 「石と鉄のナイフ」	45分	学級	班	黒曜石製ナイフと鉄製ナイフで切り比べ体験。 道具の発達を体験をとおして学習。
2	大昔のくらし② 「火起こし」	45分	学級	班	道具を用いて２種類の火起こしを体験。 火が生活に与えた影響と発火技術の変遷を学習。
3	大昔のくらし③ 「祈りとまじない」	45分 (90分)	学級	班	勾玉を製作体験。 祈りの品を用いて昔の人々の生活と想いを学習。
4	大陸とのまじわり① 「鏡と金属」	70分	学級	班	金属製（低温度溶解金属）の鏡を鋳造製作体験。 金属加工等の外来技術をとおして大陸とのつながりを学習。
5	大陸とのまじわり② 「服装」	45分	学級	班	糸作りや古墳時代・飛鳥時代の衣装を着る体験。 着物の変遷をとおして大陸とのつながりを学習。
6	大陸とのまじわり③ 「シルクロードと鴻臚館」	45分	学級	班	木簡を製作体験。鴻臚館跡の出土品に触れ、奈良時代の 役人の生活や古代におけるアジアとのつながりを学習。
7	職業体験 「ジュニア学芸員」	45分	学級	班	模型を用いた土器の復元作業や拓本作業を体験。将来の 就業に向けた動機付けとして、学芸員業務の一端を学習。

2．中学校・理科（教科横断授業）

No.	授業名	単位	時間	構成	授業概要
11	金属と溶解	50分 (100分)	学級	班	金属製鏡（低温度溶解金属）の鋳造製作体験。溶解の原理を 理解すると共に、酸化（錆の発生）と還元（鉄の生産方法）に ついても出土品の鉄・銅・金製品を用いて具体的に理解するもの。
12	摩擦と熱	50分	学級	班	道具を用いて２種類の火起こしを体験。 摩擦熱の発生原理を火起こし体験をとおして理解し、 併せて火が生活に与えた影響と発火技術の変遷を学習。

3．中学校・歴史

No.	授業名	単位	時間	構成	授業概要
21	金属器の出現	50分	学級	班	黒曜石製ナイフと鉄製ナイフで切り比べ体験。 金属製品の出現が歴史に果たした役割を学習。
22	焼き物の変遷	50分	学級	班	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・磁器の 違いをとおして生産技術の発達を学習。
23	回転体と文様	50分	学級	班	縄文土器の施文原体を製作体験。 縄文土器の文様が回転体によることを学習。
24	くらしの違い （縄文時代と弥生時代）	50分	学級	班	縄文時代と弥生時代の生活の違いを出土品に触れ、 班員が討議して理解する。

4．中学校・総合

No.	授業名	単位	時間	構成	授業概要
31	学芸員て？	50分	学級	班	将来の就業に向けた意識を持たせるため、 発掘調査員・学芸員業務の一端をとおして職業を学習する。

【平成21年度出前授業実施状況】

授業実施日	学 校 名	受講生徒数	授業プログラム	授業回数	派遣職員
4月14日(火)	春吉小学校	28	大昔のくらし③「祈りとまじない」	1	瀧本
4月15日(水)	北崎小学校	23	大陸との交わり①「鏡と金属」	1	瀧本・柳田
4月16日(木)	美和台小学校	142	大昔のくらし②「火起こし」	4	瀧本
4月17日(金)	西花畑小学校	126	大昔のくらし②「火起こし」	4	瀧本
4月22日(水)	壱岐小学校	188	大昔のくらし③「祈りとまじない」	5	力武・荒牧
4月23日(木)	堤小学校	108	大陸との交わり②「服装」	3	力武・田上・星野
4月24日(金)	鳥飼小学校	117	大昔のくらし②「火起こし」	3	荒牧・田上
4月28日(火)	箱崎小学校	89	大昔のくらし②「火起こし」	3	荒牧
4月30日(木)	賀茂小学校	84	大陸との交わり①「鏡と金属」	2	力武・田上
5月 1日(金)	弥生小学校	55	大昔のくらし②「火起こし」	3	田上
5月 7日(木)	田島小学校	101	大陸との交わり①「鏡と金属」	4	力武・田上
5月 8日(金)	小田部小学校	147	大昔のくらし②「火起こし」	4	荒牧・上角
5月12日(火)	長丘小学校	149	大昔のくらし②「火起こし」	2	荒牧・星野
5月13日(水)	東吉塚小学校	73	大陸との交わり①「鏡と金属」	1	田上・星野
5月15日(金)	今津小学校	30	大昔のくらし②「火起こし」	2	星野・柳田
5月19日(火)	西戸崎小学校	60	大陸との交わり①「鏡と金属」	2	力武・星野
5月21日(木)	四箇田小学校	76	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	2	田上・星野
5月22日(金)	弥永小学校	58	大昔のくらし②「火起こし」	2	星野
5月26日(火)	馬出小学校	53	大昔のくらし②「火起こし」	2	星野
5月28日(木)	住吉小学校	20	大陸との交わり③「シルクロードと鴻臚館」	1	力武・星野
5月29日(金)	名島小学校	143	大昔のくらし②「火起こし」	4	力武・田上
6月 3日(水)	当仁小学校	98	大陸との交わり③「シルクロードと鴻臚館」	3	星野
6月 5日(金)	三筑小学校	114	大陸との交わり③「シルクロードと鴻臚館」	3	星野
6月 9日(火)	野多目小学校	70	大陸との交わり①「鏡と金属」	2	力武
6月10日(水)	野多目小学校	69	大陸との交わり①「鏡と金属」	2	田上
6月11日(木)	東光小学校	44	大陸との交わり③「シルクロードと鴻臚館」	2	力武
6月18日(木)	城南小学校	117	大陸との交わり①「鏡と金属」	3	田上・星野
6月19日(金)	周船寺小学校	153	大昔のくらし②「火起こし」	4	力武・荒牧
6月24日(水)	大池小学校	74	大陸との交わり①「鏡と金属」	2	力武
6月26日(金)	赤坂小学校	73	大陸との交わり①「鏡と金属」	2	力武
7月 1日(水)	春住小学校	48	大陸との交わり①「鏡と金属」	2	力武
7月 2日(木)	高木小学校	52	大陸との交わり①「鏡と金属」	2	田上
7月 3日(金)	東光中学校	60	「くらしの違い」	2	星野
7月 7日(火)	有住小学校	42	大陸との交わり①「鏡と金属」	1	力武
7月 9日(木)	玄界小学校	4	大陸との交わり①「鏡と金属」	1	田上・星野
7月14日(火)	和白小学校	111	研究授業「塩つくり」	3	田上・星野
7月15日(水)	西高宮小学校	153	大昔のくらし③「祈りとまじない」	4	力武・荒牧・星野
9月 3日(木)	曰佐小学校	65	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	2	星野
9月 9日(水)	筥松小学校	89	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	3	星野
9月11日(金)	板付小学校	102	大昔のくらし②「火起こし」	3	荒牧・石井
9月16日(水)	大名小学校	18	大陸との交わり③「シルクロードと鴻臚館」	1	田上・星野
9月25日(金)	那珂南小学校	91	大陸との交わり①「鏡と金属」	3	荒牧・田上・石井
10月 6日(火)	小笹小学校	135	大陸との交わり②「服装」	4	力武・星野・石井
10月 8日(木)	内野小学校	73	大昔のくらし②「火起こし」	2	星野
10月 9日(金)	三苫小学校	122	大昔のくらし②「火起こし」	3	荒牧・田上・石井
10月20日(火)	多々良中学校	103	「くらしの違い」	3	星野
10月21日(水)	多々良中学校	103	「くらしの違い」	3	星野
11月 5日(木)	金武小学校	65	大陸との交わり①「鏡と金属」	2	星野
11月17日(火)	若久小学校	107	大昔のくらし③「祈りとまじない」	3	力武・田上
11月18日(水)	美野島小学校	71	職業体験「ジュニア学芸員」	2	星野
12月 1日(火)	南当仁小学校	120	職業体験「ジュニア学芸員」	4	星野
1月28日(木)	今津特別支援中学校	10	大陸との交わり①「鏡と金属」	1	力武・田上・星野・石井

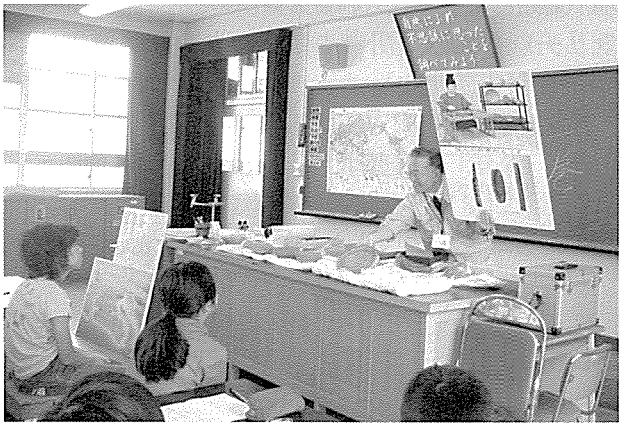
「校区の歴史」授業風景

「石と鉄のナイフ」授業風景

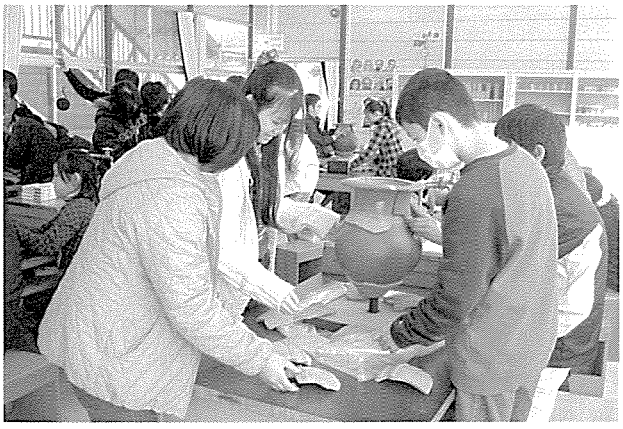
「祈りとまじない」授業風景

「鏡と金属」授業風景

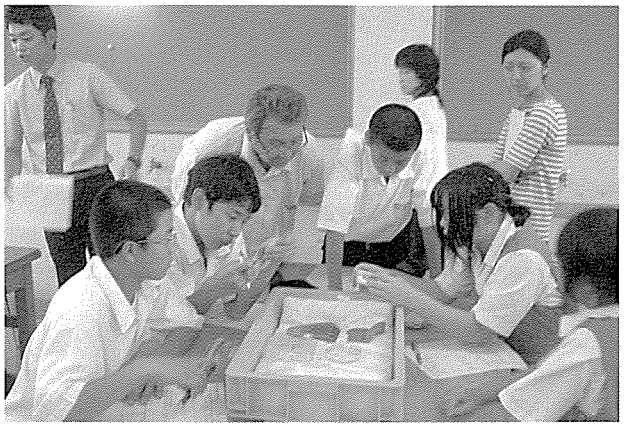
「服装」授業風景



「シルクロードと鴻臚館」授業風景



「ジュニア学芸員」授業風景

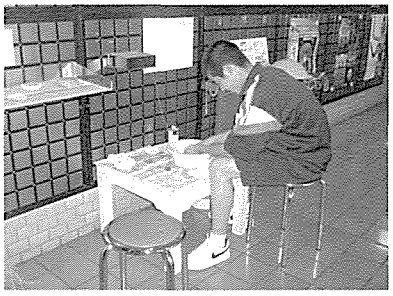


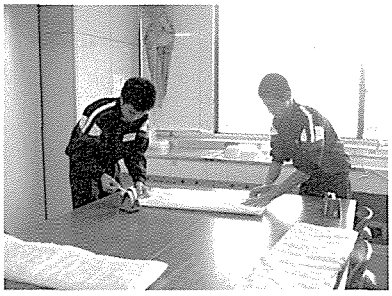
「くらしの違い」授業風景

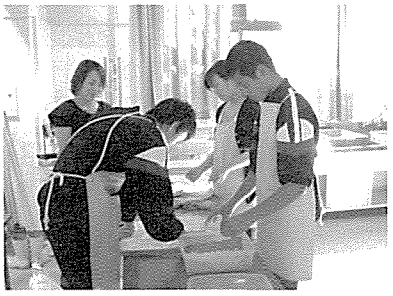
2）職場体験（インターンシップ）

本センターでは、中学生に将来の職業や進路に対する関心や理解を深めてもらうことを目的として、センター業務を体験する職場体験を受け入れている。今年度は新型インフルエンザの流行により、学級閉鎖が相次ぎ、２校ほど職場体験も中止となった。

実習生学校名	筑紫丘中学校	板付中学校
実習期間	9月15日～9月17日	9月29日～10月1日
人　　数	２名	４名
実習内容	オリエンテーション，施設見学，保存処理作業，発掘調査体験，資料収蔵作業， 出土品修復作業，出前授業教材製作，体験発表	


展示遺物清掃作業


梱包材作成作業


木器保存処理作業

3）博物館実習

毎年、市内外の大学からの博物館学芸員（補）資格取得を目的とした博物館実習の依頼に博物館相当施設である本センターは応じている。平成21年度も実習生を受け入れて下記のように実施した。

本センターの実習における特徴として、博多駅地下通路に設置されている２箇所の展示施設（fギャラリー）を実際に用いることにある。実習生は二つのグループに分かれ、職員の助言を受け、グループごとに展示計画を立案、検討して、作業を進めていく。実習の最終日前日には、前年度の実習生が展示した作品を撤去した後に、実習生が展示を行う。展示された作品は、今後一年間、地下通路を通る人たちの目を楽しませるものとなった。

	概　　要
実習期間	平成21年8月18日（火）～8月29日（土）
実習内容	オリエンテーション，施設見学，資料収蔵管理実習，教育普及実習， 遺物保存処理実習，図書資料管理実習，展示実習，講座受講，実習反省会
実 習 生	９名（西南学院大学国際文化学科，福岡大学歴史学科，筑紫女学園大学アジア文化学科， 福岡女子短期大学文化コミニュニケーション学科，奈良大学通信教育部）

	実習内容	担　当
8月18日（火）	オリエンテーション 施設の概要 センターの役割について	荒牧 力武 力武
8月19日（水）	教育普及活動について 遺物の収蔵管理について 展示計画Ⅰ	星野 荒牧
8月20日（木）	遺物の保存と活用Ⅰ	田上・上角
8月21日（金）	遺物の保存と活用Ⅱ 木製品保存処理実習	田上・上角 田上
8月22日（土）	展示計画Ⅰ	
8月25日（火）	展示撤収実習 展示計画Ⅲ	田上・星野
8月26日（水）	展示計画Ⅳ	
8月27日（木）	展示計画Ⅴ	
8月28日（金） 8月29日（土）	展示準備 「fギャラリー」展示作業	力武・荒牧・星野

実習生展示①「地中からこんにちは」

実習生展示②「博多のお父さん おつかれさま」

4）体験学習「所長と遊ぼう　楽しい考古学」

小学５年生以上（小学生は保護者同伴）を対象に行った。所長と一緒に土器や石器の実測、撮影などの整理作業を行い、また、遺跡見学などを通して考古学を楽しく学ぶことを目的とした。発掘調査で出土した遺物に直接触れる機会を多く作り、使用方法を自分たちで考え、実際に教材を用い、鏡や勾玉制作を行った。

	開催日	講演題	受講者数
第１回	平成22年 1月30日(土)	オリエンテーション（考古学とは何か，発掘・整理作業について学ぶ） 装身具の歴史について学び，勾玉を作る。	4名
第２回	平成22年 2月13日(土)	センターの作業内容を知り，館内施設を巡る。 土器の接合と実測，拓本作業を学ぶ。	7名
第３回	平成22年 2月28日(日)	鏡の歴史を学び，鋳造作業を行う。	11名
第４回	平成22年 3月15日(月)	発掘調査報告書と報告書の中に掲載している写真の役割について学ぶ。 また，大型カメラを使用した撮影も行う。	7名
第５回	平成22年 3月27日(土)	遺跡の探し方や遺跡の認定方法について学ぶ。 板付遺跡の見学後に板付南台地で遺跡の表面採集を行う。	6名

（２）普及活動

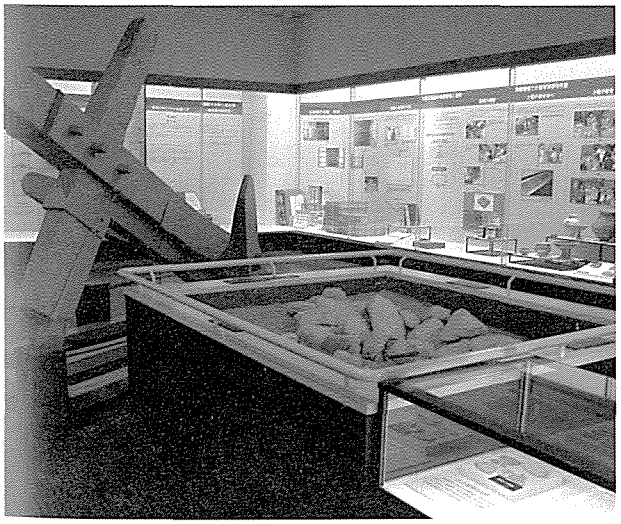
１）展　示

①常設展示

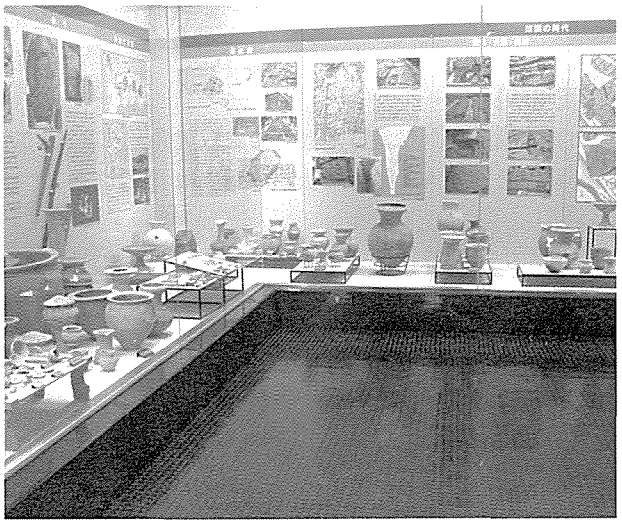
当センターでは「埋蔵文化財の保存・保護」と本市の都市像のひとつである「海と歴史を抱いた文化都市」に則した「弥生以来の海外交易の拠点都市」を展示の主テーマとしている。

第１展示室では、埋蔵文化財の発掘調査から遺物・記録類が収蔵、管理・活用されるまでの一連の流れと、木器・金属器等の科学的保存処理の成果を「埋蔵文化財とは何か」、「埋蔵文化財の保存処理」、「埋蔵文化財の修復」、「発掘現場での保存科学的作業」、「埋蔵文化財の収蔵管理と活用」、「埋蔵文化財と考古学」、「旧石器・縄文時代の福岡」の項目で展示している。木器・金属器等の科学的保存処理の成果を展示している。

第２展示室では、江戸時代に鎖国されるまで日本の玄関口であり続けた本市の特徴をとりあげ、最も脚光を浴びた「奴国の時代」の弥生時代と国内最大の国際貿易港であった「中世都市博多」の時代に焦点をあて、それぞれ「奴国の拠点集落那珂・比恵遺跡」、「奴国以前」、「大型建物」、「環濠・大溝・条溝」、「墳丘墓」、「争う」、「交流と交易」、「祭る」、「装う」、「まかなう」、「つくる」と「日本の玄関・博多」、「鴻臚館の時代」、「匠」、「海外との交易」、「国内の交易」、「中世博多の情景」、「たしなむ・あそぶ」、「戦乱」の項目でテーマ展示を行っている。



第１展示室



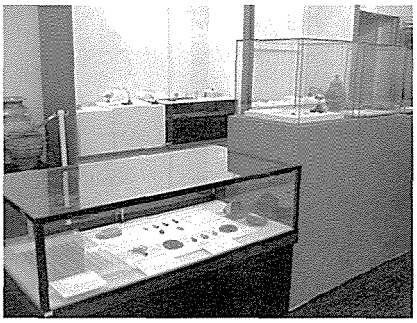
第２展示室

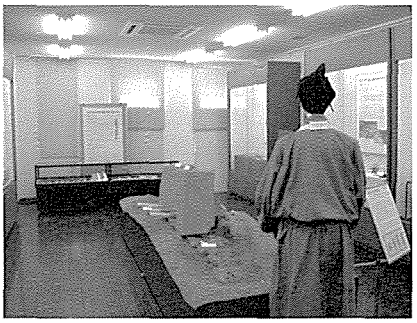
第３展示室などでは、部門展示室として短期展示を行っており、考古学講座に合わせた企画展、発掘調査速報展・特別展などを実施している。平成21年度は下表のとおり６回の展示会を実施した。

【企画展・特別展・速報展開催一覧】

種　別	名　　称	期　　間
企画展	「歴史に見る変革」前期展	平成21年　5月16日～平成21年　8月23日
	「歴史に見る変革」後期展	平成21年11月　1日～平成22年　4月　4日
特別展	「甦る出土遺物展」－平成20年度保存処理成果－	平成21年　8月29日～平成21年10月25日
	「平成21年度市指定文化財資料」展	平成22年　3月24日～平成22年　4月　4日
速報展	那珂遺跡群125次発掘調査速報展	平成21年　8月14日～平成21年　8月30日
	金武青木Ａ遺跡発掘調査速報展	平成21年12月15日～平成21年12月26日

「歴史に見る変革」前期展


「歴史に見る変革」後期展


「甦る出土遺物」展

②館外展示

本センターでは、出土品の活用の一環として、地域・学校等の身近なところで出土品と接する機会を積極的に設け、市民の文化財保護に対する理解が自然と深まるように努めている。

Ａ ま～るごと博物館

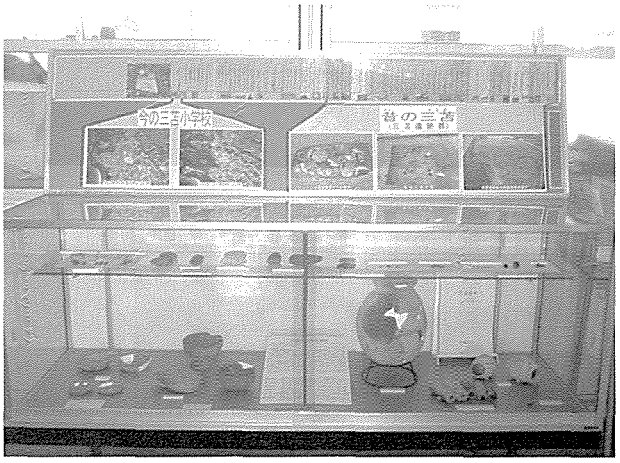
市役所・区役所庁内の各フロアーや地下鉄駅構内に市内遺跡出土品を展示して市民や内外の来訪者が容易に本市の歴史と接する機会を設けたもの。将来的には各建物全体に展示テーマに即した資料を配置して、施設を一巡することで歴史を身近に感じられるようにするものである。

【設置場所】

市議会議長・副議長室／教育委員教育長室・
総務部長室／地下鉄藤崎駅／博多駅地下通路

Ｂ オラガマチ博物館

公民館や小学校に小型展示ケースを設置して遺跡から出土した考古資料を展示するもの。特に展示品は各校区内の遺跡から出土したものに限定することにより、生徒や利用者が校区の歴史と容易に接することを可能とした。さらに人々が歴史を身近に感じることにより、ふるさとを誇りに思える環境のひとつを提供するものである。



三苫小学校

高口箔屋ビル

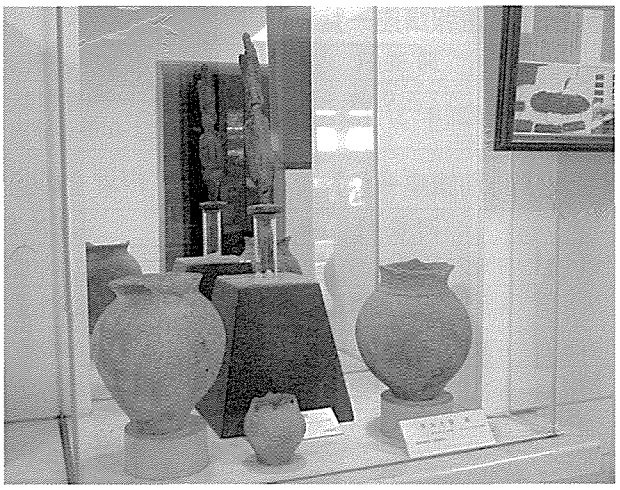
【設置場所】

三苫小学校／名島小学校／東箱崎小学校／馬出小学校／板付北小学校／野多目小学校／賀茂小学校／城原小学校／西戸崎小学校／四箇田公民館／横浜地区自治会館

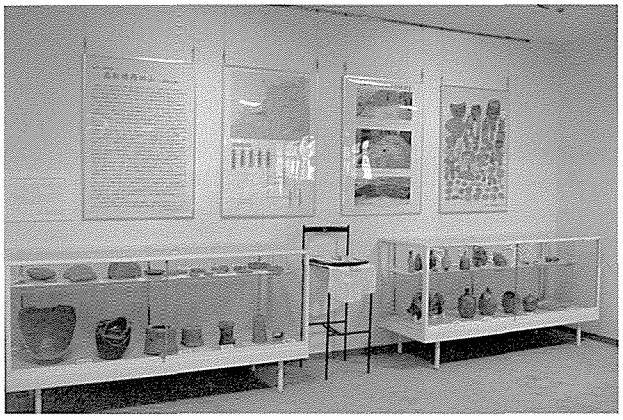
C 出前博物館

地域商店街や自治会、さらには市内で開かれる各種フェスタ・学会等の主催者と連携して福岡市の歴史理解を深めてもらうことを目的とし、依頼に基づいたテーマに沿った地域短期型の展示会を開催するもの。本センターが企画から展示まで担当し、依頼者はテーマと展示会場の確保だけを担うものである。

【開催者】 高取商店街



リコーテクノシステムズ九州支社



高取商店街

宝台団地

2）公開講座

①考古学講座

平成21年度の考古学講座は「歴史に見る変革－CHANGE－」をテーマとし、歴史上の変革点に福岡がどのように関わってきたかを探るものである。玄界灘に面する福岡市は、古くからアジア大陸の窓口としての役割をにない、古代国家成立後は対外交渉の拠点都市として発展し、わが国の歴史のなかで重要な役割を占めてきた。その福岡市について最新の研究結果をもとに歴史研究においての第一人者を招き、８回の講座を開催した。

②発掘調査速報講座

市内遺跡調査総まくりとして平成21年度に行った発掘調査全てを紹介した。

③考古学特別講座

考古学特別講座は、当センターの平成20年度保存処理業務の成果を主体とした「甦る出土遺物」と福岡市内の指定文化財を紹介する計３回の特別講座を実施した。

【考古学講座一覧】

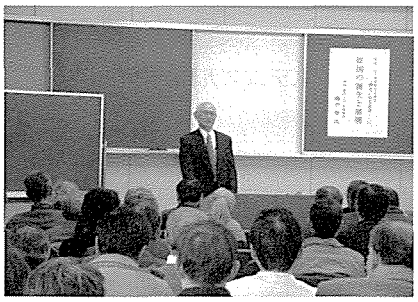
	開催日	講演題	講師	受講者数
第１回	平成21年 5月16日(土)	二つの金印－漢委奴国王と親魏倭王の間－	壱岐国研究会　塩屋 勝利 氏	154名
第２回	平成22年 2月 6日(土) ※インフルエンザ流行により延期	奴国の誕生と展開	静岡大学　藤田 等 氏	143名
第３回	平成21年 7月11日(土)	葬送儀礼に見る古代王権の継承	大阪府文化財センター　水野 正好 氏	135名
第４回	平成21年 9月19日(土)	継体新王朝の成立	京都教育大学　和田 萃 氏	185名
第５回	平成21年10月24日(土)	渡来人と倭国	岡山理科大学　亀田 修一 氏	144名
第６回	平成21年11月21日(土)	都城誕生	奈良文化財研究所　井上 和人 氏	139名
第７回	平成22年 1月23日(土)	南北朝動乱における九州の合戦の位置 －筑前国多々良浜の戦い・筑後国大保原の戦い－	福岡大学　森 茂暁 氏	179名
第８回	平成22年 2月20日(土)	国産磁器の誕生と発展	佐賀県立九州陶磁文化館　大橋 康二 氏	119名

【発掘調査速報講座一覧】

	開催日	講演題	講師	受講者数
第1回	平成22年 3月13日(土)	調査総まくり －平成21年度市域内遺跡調査から－	福岡市教育委員会　宮井 善朗	80名

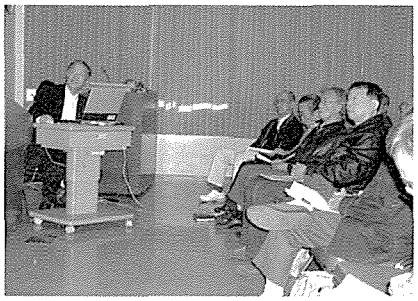
【考古学特別講座一覧】

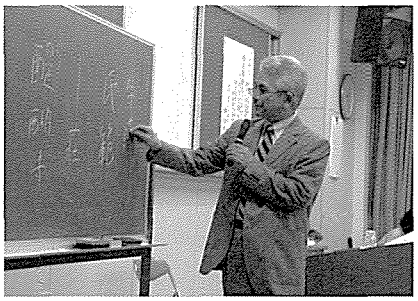
	開催日	講演題	講師	受講者数
第1回	平成21年 8月29日(土)	甦る出土品－平成20年度保存処理成果から－	福岡市教育委員会　田上 勇一郎	125名
第2回	平成21年10月 3日(土)	福岡市の指定文化財1	福岡市教育委員会　三木 隆行	39名
第3回	平成21年11月 7日(土)	福岡市の指定文化財2	福岡市教育委員会　三木 隆行	48名
第4回	平成21年12月12日(土)	福岡市の指定文化財3	福岡市教育委員会　三木 隆行	56名


『考古学講座．2』

『考古学講座．4』

『考古学講座．5』


『考古学講座．6』


『考古学講座．7』

『考古学講座．8』

3）資料利用

市民・小中学校・各種博物館・大学などの研究機関・出版社・報道関係などの利用希望に対して、考古資料や記録資料を提供している。資料利用は館内利用と館外利用（貸出）とに分かれる。

近年において考古資料の利用点数が高水準で推移しているのは、福岡市史編纂に伴う骨類の調査が要因である。貸出期間が1年以上のものは長期貸出、未満のものは短期貸出として区分している。

【館内利用】

利用種類	件数	点数
考古資料	160	8,243
写真・記録類	14	242
図書	331	1,218
計	505	9,703

【館外利用】

貸出種類	件数	点数		
		考古資料	写真他	合計
長期貸出	43	2,262	17	2,279
短期貸出	146	2,151	407	2,558
計	189	4,413	424	4,837

4）施設の利用

利用日	利用者	利用内容	人数	利用施設
平成21年 4月18日(土)	NPOアジア文化財協力協会	研究会	15名	研修室
平成21年 4月18日(土)	埋蔵文化財研究集会	準備会	10名	会議室
平成21年 4月19日(日)	東アジア考古学会	研究会	20名	研修室
平成21年 5月15日(土)	福岡金属遺物談話会	研究会	20名	研修室
平成21年 5月23日(土)	埋蔵文化財研究集会	準備会	20名	研修室
平成21年 6月 6日(土)	東アジア考古学会	研究会	20名	研修室

利用日	利用者	利用内容	人数	利用施設
平成21年 8月 1日(日)	東アジア考古学会	研究会	10名	研修室
平成21年 8月 2日(日)	埋蔵文化財研究集会	準備会	12名	研修室
平成21年10月25日(日)	西海道官衙研究会	研究会	13名	研修室
平成21年10月31日(土)	東アジア考古学会	研究会	15名	研修室
平成21年11月13日(金)	鴻臚館跡調査研究指導委員会	指導委員会	40名	研修室
平成22年 1月15日(土)	福岡金属遺物談話会	研究会	14名	研修室

5）図書の収蔵と閲覧

①平成21年度図書受入状況　　計2,761冊（一般2,579・雑誌182）

内訳：購入140冊（一般2・雑誌138）・受贈2,621冊（一般2,577・雑誌44）

②平成21年度廃棄蔵書数　　0冊

③平成21年度末蔵書数　　68,177冊（購入9,209・受贈56,968）

6）団体見学

見学日	団体名	人数
平成21年 4月15日(水)	福岡市立三筑小学校	114名
平成21年 4月17日(金)	福岡市立城南小学校	119名
平成21年 5月13日(水)	明治大学考古学老人クラブ	41名
平成21年 5月22日(金)	山口県周南市立和田小学校	19名
平成21年 5月26日(火)	TNC文化大学歴史コース	23名
平成21年 6月 2日(火)	福岡市立西花畑小学校	126名
平成21年 6月 3日(水)	福岡市立玉川小学校	105名
平成21年 6月19日(金)	玉東史談会	17名
平成21年 6月27日(土)	ウォンヤン建築士事務所	4名
平成21年 7月 8日(水)	デイサービス花うさぎ	13名
平成21年 7月15日(水)	デイサービス花うさぎ	6名
平成21年 7月24日(金)	福岡市立板付中学校	6名
平成21年 8月 6日(木)	心和の家デイサービス南福岡	8名
平成21年 8月15日(土)	韓国嶺南大学	13名
平成21年 8月18日(火)	平群倶楽部	10名
平成21年 8月28日(金)	八代市史談会	45名
平成21年 9月18日(金)	大阪大学考古学部	8名
平成21年 9月23日(水)	大阪府交野市教育委員会	6名
平成21年10月 1日(木)	福岡市立板付小学校	6名

見学日	団体名	人数
平成21年10月 3日(土)	NPO法人環境みらい塾	10名
平成21年10月15日(木)	鳥取県むきばんだやよい塾	25名
平成21年10月21日(水)	博多区食生活推進委員会	15名
平成21年10月27日(火)	福岡市立香椎浜小学校	65名
平成21年11月 1日(日)	佐賀県相知公民館	24名
平成21年11月19日(木)	福岡市立名島小学校	156名
平成21年12月 3日(木)	小松原町自治会女性の会	15名
平成21年12月26日(土)	茶和本舗デイサービス筑紫丘	8名
平成22年 1月15日(金)	韓国名地大学	19名
平成22年 1月19日(火)	香椎A遺跡調査事務所	13名
平成22年 1月31日(日)	むつみ会	10名
平成22年 2月20日(土)	九州国立博物館ボランティア	8名
平成22年 2月24日(水)	心和の家デイサービス南福岡	12名
平成22年 2月24日(水)	吉野ヶ里公園管理センター	23名
平成22年 2月25日(木)	吉野ヶ里公園管理センター	26名
平成22年 2月26日(金)	古賀市立青柳小学校	53名
平成22年 3月 3日(水)	福岡市観光案内ボランティア	64名
平成22年 3月11日(木)	九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所	7名

7）刊行物

○『福岡市埋蔵文化財センター年報』第28号 平成20(2008)年度　A4版32ページ　2010年3月31日発行。文化財関係機関・図書館などに配布。

○『見学のしおり』（展示案内パンフレット）B4版3つ折り6ページ。入館者に無料配布。

○『マイコレ』（児童向け収蔵品紹介）変形A4版3つ折り6ページ。児童に無料配布。

○『2010年度講座案内』（チラシ）A4版2ページ。文化財関係機関・図書館などや入館者に無料配布。

平成21(2009)年度資料貸出等一覧

件数	区分	申請者	資料名	点数				貸出日	備考
				遺物	写真	他	計		
1	A	福岡市博物館学芸課	城ノ原他	1232	0	0	1232	20090401	常設展示
2	A	国立歴史民俗博物館	板付・有田・三筑	25	0	0	25	20090401	常設展示
3	A	大阪府立弥生文化博物館	今山・藤崎・有田他	24	0	0	24	20090401	常設展示
4	A	広島県立歴史博物館	博多陶磁器	6	0	0	6	20090401	常設展示
5	A	焼津市歴史民俗資料館	藤崎58号甕棺	2	0	0	2	20090401	常設展示
6	A	新宮町教育委員会	石丸古川・飯氏ゾウサ土器	3	0	0	3	20090401	町立歴史資料館内常設展示
7	A	リコーテクノシステムズ(株)九州支社	比恵25次土器	3	0	0	3	20090401	ロビー常設展示
8	A	グランドホームサンケア和白	唐原土器・展示台	6	0	4	10	20090401	ロビー常設展示
9	A	粕屋町教育委員会	戸原麦尾六花鏡・陶磁器	44	0	0	44	20090401	町立歴史資料館内常設展示
10	A	菊池市教育委員会	博多人骨・陶磁器他	150	0	0	150	20090401	菊池神社歴史館内常設展示
11	A	東京国立博物館	鴻臚館陶磁器	23	0	0	23	20090401	平成館考古展示室常設展示
12	A	市立賀茂小学校	鶴町土器・石器	36	0	0	36	20090401	校内常設展示
13	A	市立馬出小学校	箱崎土器	6	0	0	6	20090401	校内常設展示
14	A・B・C	市立三苫小学校	三苫土器・石器・ケース	69	3	2	74	20090401	校内常設展示
15	A	市立野多目小学校	野多目土器	47	0	0	47	20090401	校内常設展示
16	A	市立名島小学校	蒲田・海の中道他	28	0	0	28	20090401	校内常設展示
17	A	市立東箱崎小学校	箱崎・板付他	7	0	0	7	20090401	校内常設展示
18	A	市立城原小学校	拾六町ツイジ	25	0	0	25	20090401	校内常設展示
19	A	市立板付北小学校	板付土器	10	0	0	10	20090401	校内常設展示
20	A	私立西戸崎小学校	海の中道製塩土器他・展示台	15	0	7	22	20090401	校内常設展示
21	A	博多区総務部振興課	博多土器・陶磁器他	34	0	0	34	20090401	まちかど文化ひろば「えふギャラリー」展示
22	A	福岡市交通局	藤崎3次甕棺	5	0	0	5	20090401	藤崎駅常設展示
23	A	文化財管理課(鴻臚館展示館)	鴻臚館跡出土陶磁器など	132	0	0	132	20090401	鴻臚館展示館
24	A	文化財管理課(金隈展示館)	金隈遺跡出土土器	61	0	0	61	20090401	金隈遺跡展示館
25	A	文化財管理課(野方遺跡展示館)	野方遺跡出土遺物	42	0	0	42	20090401	野方遺跡展示館

註）A：遺物貸出、B：写真貸出、C：その他の貸出、D：図面・写真等の使用、E：遺物撮影

件数	区分	申請者	資料名	点数				貸出日	備考
				遺物	写真	他	計		
26	A	文化財管理課(板付弥生ムラ)	板付遺跡出土遺物	71	0	0	71	20090401	板付遺跡展示館
27	A	群馬県立歴史博物館	藤崎50号甕棺	2	0	0	2	20090401	館内常設展示
28	A	神戸市教育委員会	有田64次甕棺	3			3	20090401	埋蔵文化財センター内常設展示
29	A	高口箔屋ビル	博多126次白磁他	7			7	20090401	エントランス常設展示
30	A	市立市川考古博物館	西新町2次12号甕棺	2			2	20090401	館内常設展示
31	A	今宿横浜地区すみよい町づくりの会	今山石斧・土器	18			18	20090401	自治会館内常設展示
32	A	古賀市教育委員会	藤崎2次40号甕棺他	2		1	3	20090401	古賀市歴史資料館常設展示
33	A	東北歴史博物館	有田7次弥生壺	1			1	20090401	館内常設展示
34	A	西南学院大学	羽根戸原C須恵器	20			20	20090401	博物館実習教材
35	A	福岡市博物館管理課	藤崎・徳永他土器	10			10	20090401	博物館体験学習
36	A	福岡市四箇田公民館	四箇田第2次精製土器・十字型石器など	8			8	20090401	館内常設展示
37	A	議会事務局　総務課	広石古墳群出土長頸壺ほか	2			2	20090401	議長室・副議長室に展示
38	A	福岡市教育委員会	比恵84次壺・クエゾノ遺跡有蓋高坏セット	2			2	20090401	教育長室
39	A	福岡市教育委員会	鴻臚館出土品	2			2	20090401	教育次長室
40	A	茨城県立歴史館	吉武高木遺跡、藤崎遺跡出土甕棺	4			4	20090401	館内常設展示
41	A	九州国立博物館	雀居遺跡出土案など	55			55	20090401	常設展示
42	A	兵庫陶芸美術館	博多遺跡出土磁器	15			15	20090401	平成20年度部門別展「ココロとカタチ」
43	A	独立行政法人都市再生機構	宝台遺跡出土甕棺	3			3	20090401	宝台団地内管理事務所に展示
44	B	株式会社講談社学術文庫出版部	博多遺跡出土青銅製指輪(バスパ文字)		1		1	20090410	講談社学術文庫『日本の歴史10 蒙古襲来と徳政令』
45	A	大野城市教育委員会	弥生時代木製品(農具)鋤・鍬・又鍬		4		4	20090414	小学6年生の歴史授業の導入時に使用
46	D	個人	東入部遺跡2次鉄矛					-	弥生時代の鉄矛の研究
47	D	(株)講談社 学術文庫出版部	博多遺跡群第4次白磁四耳壺写真		1		1	20090512	日本の歴史第14巻『周縁から見た中世日本』
48	D	福岡市博物館市史編さん室	藤崎遺跡小型壺写真・実測図		1		1	20090424	市史ホームページ「市史こぼればなし(考古)」
49	A	奈良文化財研究所	宮の前1号箱式石棺墓	459			459	20090507	日本列島におけるガラス玉の流通についての調査・研究
50	B	第1法規株式会社	今山遺跡		1	1	2	20090424	「日本列島 石の流通史」月刊文化財平成21年5月号
51	A	今津公民館	大原D遺跡出土遺物18点	18			18	20090425	今津公民館の歴史講座資料
52	D	個人	高速鉄道 墨書瓷片ほか		4		4	20090508	wiesbaden:HarrassowitzVerlag,2008
53	A・B	文化庁	今宿五郎江遺跡出土土器・銅鏃ほか	42			42	20090604	発掘された日本列島2009展
54	B	株式会社 水曜社	金隈遺跡出土赤色に染まった頭蓋骨		1		1	20090520	『化粧にみる日本文化』
55	A・B	奈良国立博物館	博多遺跡群青磁皿・白磁皿・中国系瓦他	23	23		46	20090701	特別展「聖地寧波-日本仏教1300年の源流」
56	B	奈良国立博物館	博多の航空写真		1		1	20090527	特別展「聖地寧波-日本仏教1300年の源流」
57	C	株式会社 ジャパン通信情報センター	元岡・桑原遺跡群発掘調査パンフレットⅡ			1	1	20090527	『文化財発掘出土情報』2009年8月号
58	D	(財)日本原子力文化振興財団	羽根戸南古墳群位至三公鏡		1		1	20090528	小・中学生対象の放射線の考古学分野での学習教材
59	B	日本放送協会制作局第一制作センター	梅林遺跡オンドル住居跡		1		1	20090530	「ETV特集/日本と朝鮮半島2000年 任那日本府の謎
60	B	(株)ビッグベン	東光寺剣塚古墳		5		5	20090602	KBCアサデス
61	B	財団法人 沖縄県文化振興会	博多遺跡群崇寧通寶の磨輪銭ほか		2		2	20090610	『沖縄県史』各論編3 古琉球
62	D	福岡市博物館市史編さん室	中津宮古墳出土装身具		5		5	20090610	「市史だより fukuoka」第9号
63	A	福岡市博物館学芸課	元岡・桑原遺跡製鉄炉レプリカほか	114			114	20090616	「遺跡レプリカの世界」展
64	A	福岡市博物館学芸課	雑餉隈遺跡15次出土磨製石剣ほか	16			16	20090626	「古代の剣と刀」展
65	A・C	福岡市教育委員会埋蔵文化財第1課	四箇A遺跡・火起こし道具一式	13		1	14	20090619	四箇田公民館での出前授業
66	A	福岡市教育委員会文化財整備課	鴻臚館跡出土瓦磚	1			1	20090619	福岡市指定文化財資料
67	A	広島県立歴史博物館	博多遺跡群出土青白磁灯火器ほか	40			40	20091008	20周年記念企画展「平家一門の栄華と瀬戸内海」
68	B	広島県立歴史博物館	博多遺跡群航空写真ほか写真原版		3		3	20060623	20周年記念企画展「平家一門の栄華と瀬戸内海」
69	A	福岡市博物館市史編さん室	高畑遺跡出土木簡	25			25	20090809	市史編さん事業 古代関係資料の調査
70	B	福岡市教育委員会文化財整備課	博多遺跡群スライド		22		22	20090623	新泉社出版の資料
71	A・B	今津公民館	今津小葎遺跡・今宿五郎江遺跡遺物ほか	10	8		18	20090626	今津公民館主催歴史講座資料
72	D	個人	老司古墳3号石室出土鉄鏃					-	「雲部車塚古墳の研究」兵庫県立考古博物館紀要3
73	B	株式会社 思文閣出版	博多遺跡群 メダイほか		3		3	20090701	『キリシタン大名の考古学』
74	B	東京法令出版株式会社	板付遺跡全景・吉武高木遺跡復原図ほか		3		3	20090702	中学歴史資料集「グラフィックワイド歴史」
75	B	読売新聞大阪本社編集局	鴻臚館出土イスラム陶器片		1		1	20090702	イスラム陶器に関する記事に添付
76	A	福岡市博物館学芸課	博多遺跡群バスパ文字銅印指輪・銅印	2			2	20090711	特別展「チンギス・ハーンとモンゴルの至宝展」
77	A	個人	博多遺跡第130・65・22次出土瓦	3			3	20090708	研究調査資料
78	D	個人	博多遺跡群出土貿易陶磁器					-	『中国古陶瓷研究』中国古陶瓷学会編
79	A・B	福岡市博物館学芸課	吉武2次土器ほか	41	5		46	20090717	部門別展示「室見が丘の古墳群Ⅱ 鉄と馬と新しい文化」
80	A・B	春日市教育委員会	雀居12次石包丁ほか	10	2		12	20090902	企画展「弥生時代の年代を考える」
81	C	福岡市埋蔵文化財第2課	出前事業関係教材 鏡鋳型ほか			1	1	20090721	韓国にて小学校教員研究
82	A	今津公民館	大原遺跡3次出土須恵器蓋など	13			13	20090723	今津公民館主催歴史講座資料
83	D	福岡市博物館市史編さん室	市内遺跡動物遺存体					-	市史編さん事業 考古出土資料調査
84	D	福岡市博物館市史編さん室	市内遺跡動物遺存体					-	市史編さん事業 考古出土資料調査
85	B	日本銀行金融研究所貨幣博物館	博多遺跡出土輸入陶磁器ほか		2		2	20090804	企画展「中世貨幣史」展示パネル・リーフレット
86	D	(財)日本原子力文化振興財団	板付遺跡出土夜臼Ⅰ式土器					-	月刊誌『原子力文化』9月号掲載
87	B	株式会社 山川出版社	板付遺跡出土弥生土器		1		1	20090804	「日本史小辞典」電子辞書データ内挿図
88	A	九州国立博物館	雀居遺跡出土品ほか	119			119	20091007	特別展「古代九州の国宝」
89	A・B	下関市立考古博物館	原深町遺跡出土又鋤ほか	14	14		28	20090915	企画展「木の文化Ⅱ一古墳時代の木器一」
90	B	下関市立考古博物館	元岡・桑原遺跡群出土木製品		6		6	20090805	企画展「木の文化Ⅱ一古墳時代の木器一」
91	E	小学館「サライ」編集部	橋本一丁田遺跡出土弥生土器					20090813	サライ09.11月号「古代史特集」掲載
92	B	福岡市教育委員会埋蔵文化財第2課	博多遺跡111次調査出土粉青沙器皿		1		1	20090805	アジアマンス「考古資料からたどる日韓交流」展
93	E	嶺南大学文化人類学科	博多遺跡17次調査出土高句麗土器					20090815	日本所在の高句麗土器調査整理 報告書の基礎資料
94	B	株式会社 吉川弘文館編集第一部	鴻臚館跡出土土坑式トイレ遺構		2		2	20090807	『トイレの日本史』(仮題)
95	B	(財)放射線利用振興協会	橋本一丁田遺跡出土最古の弥生土器		1		1	20090812	『放射線と産業』第123号
96	B	(株)雄山閣	今山遺跡石斧出土状況・石斧		4		4	20090813	『季刊考古学』111号特集「弥生石器の生産と流通」
97	B	国立歴史民俗博物館	大原D遺跡群		6		6	20090819	企画展「縄文はいつから!?一1万5千年前になにが」
98	B	株式会社 吉川弘文館	吉武高木遺跡遺構全景ほか		2		2	20090813	『史跡で読む日本歴史1列島文化のはじまり』
99	A	今津公民館	大原D遺跡第3次炉底塊ほか	11			11	20090818	今津公民館主催歴史講座資料
100	A	福岡市教育委員会埋蔵文化財第1課	博多遺跡第35次出土骨角器関連遺物	10			10	20090816	福岡市史編さん事業
101	B	NHKプラネット四国制作センター	板付遺跡		2		2	20090818	NHK総合テレビ四国スペシャル「四国なぞ解き行脚」
102	B	宮崎県立西都原考古博物館	吉武高木遺跡 木棺墓・甕棺墓分布状況		1		1	20090821	国際交流展「玉と王権」
103	B	株式会社 吉川弘文館	板付遺跡航空写真ほか		3		3	20090821	『史跡で読む日本歴史1列島文化のはじまり』
104	B	株式会社 第一学習社	吉武高木遺跡3号木棺出土細形銅矛		1		1	20090821	高等学校用日本史副教材「最新日本史図表二訂版」
105	B	財団法人今日庵 茶道資料館	『鎌倉時代の喫茶文化』掲載陶磁器		1		1	20090821	『考古学ジャーナル』2009年10月号への引用
106	D	個人	博多遺跡群出土貿易陶磁器					-	『貿易陶磁研究』第29号(2009)
107	A	国立歴史民俗博物館・花巻市博物館	柏原遺跡土器片ほか	17			17	20090918	企画展「縄文はいつから!?一1万5千年前になにが」
108	B	慶北大学校人文大学考古人類学科	吉武遺跡S一9号墳出土龍文大刀・遺構		4		4	20090918	日本列島出土の大伽耶文物の図録(不販売)掲載

註) A:遺物貸出、B:写真貸出、C:その他の貸出、D:図面・写真等の使用、E:遺物撮影

件数	区分	申請者	資料名	点数				貸出日	備考
				遺物	写真	他	計		
109	B	株式会社新泉社	博多遺跡群遺構・遺物		55		55	20090904	『中世日本最大の貿易都市・博多遺跡群』
110	E	日本放送協会制作局文化福祉	博多遺跡群出土品とセンター展示室ほか					20090918	ETV特集「日本と朝鮮半島2000年第7回東シナ海の・・」
111	B	国立歴史民俗博物館	板付遺跡遠景		1		1	20090908	平成21年度国立歴史民俗博物館国際研究集会研究発表
112	A	今津公民館	博多遺跡群出土陶磁器	11			11	20090924	今津公民館主催歴史講座資料
113	B	株式会社 日本標準	弥生時代の田下駄・石包丁・田舟		3		3	20090915	『楽しく調べる日本の歴史』の第1巻(旧石器～古墳時代)
114	B	福岡大学人文学部	博多遺跡群出土墨書陶磁器		1		1	20090915	福大歴史学科編『歴史はもっとおもしろい』西日本新聞社
115	B	新潮社出版	板付遺跡出土弥生時代前期の土器		1		1	20090915	『進化考古学の大冒険』参考図版
116	A	高取商店街振興組合	藤崎遺跡第35次出土陶磁器・窯道具	27			27	20090925	高取ミニ博物館(文化センター高取館内に設置)への展示
117	A	高取商店街振興組合	藤崎遺跡第35次出土皿・小皿・盤他	27			27	20090925	高取ミニ博物館(文化センター高取館内に設置)への展示
118	B	株式会社 吉川弘文館	雀居遺跡の土器		1		1	20090918	『史跡で読む日本歴史1列島文化のはじまり』
119	B	福岡市博物館市史編さん室	上広瀬遺跡28区落とし穴SK36他		2		2	20090918	「市史だより fukuoka」第10号
120	B	伊都国歴史博物館	今宿五郎江遺跡出土銅鐸形土製品他		2		2	20090930	平成21年度秋季特別展図録掲載
121	B	(株)淡交社	博多39次・44次出土天目碗		2		2	20091007	『淡交』別冊第56号「天目」
122	C	基山町教育委員会	博多遺跡群木棺墓実測図他			4	4	20091007	『基山町史』通史編 上巻
123	C	個人	福岡城17次・20次図面ファイル			2	2	20091009	福岡市埋蔵文化財発掘調査報告書制作資料
124	A	個人	博多遺跡62次・65次出土瓦	2			2	20091010	研究調査の資料
125	A	個人	博多遺跡第35次出土動物遺存体	1			1	20091010	国立科学博物館所蔵資料との照合作業
126	B	(株)大塚巧藝新社	博多遺跡第104次出土景徳鎮青磁菊皿		1		1	20091015	九州古代国宝展グッズ作成資料
127	B	北陸中日新聞白山支局	京ノ隈京塚出土黄釉銹花蓮花文洗		1		1	20091015	北陸中日新聞の記事中の参考写真
128	B	公園緑地管理財団吉野ヶ里公園管理センター	金隈遺跡頭骨		1		1	20091016	特別企画展「よみがえる邪馬台国～吉野ヶ里と倭人伝・・」
129	B	日外アソシエーツ株式会社	福岡市埋蔵文化財センター外観		1		1	20091021	『考古学博物館辞典』センター紹介頁
130	B	個人	下月隈C遺跡出土琴他		9		9	20091023	「音楽考古学の報告書を読む」芸術工学研究11号
131	B	(株)パルスクリエイティブハウス	板付遺跡の水田跡・弥生人の足跡		2		2	20091023	小学生向け社会教材「社会科資料集 6年」
132	B	株式会社 学研教育みらい	石斧・石包丁		2		2	20091107	大学受験生向けマークシート形式の模擬試験掲載
133	A	福岡市博物館学芸課	井尻B遺跡第17次出土壺形土器他	15			15	20091127	部門別展示「祀りの考古学」展
134	B・C	福岡市博物館学芸課	吉武高木遺跡大型建物復原模型他		2	1	3	20091107	部門別展示「ふくおか塔ものがたり」
135	B	(株)フォト・オリジナル	板付遺跡出土石包丁他		2		2	20091112	(株)文理刊「中学実力錬成テキスト 歴史」
136	B	株式会社 メルプランニング	板付遺跡出土石包丁他		3		3	20091112	『時代別日本の歴史』1巻「大むかしのくらし」
137	B	福岡市博物館学芸課	井尻B遺跡第17次調査SE05他		3		3	20091112	「祀りの考古学」展示パネル・リーフレット
138	A	福岡市博物館学芸課	橋本一丁田遺跡出土浅鉢・壷他	5			5	20091112	「考古資料からたどる日韓交流」展
139	A	九州国立博物館	鴻臚館痕出土ヘラ書き須恵器(大甕)	1			1	20091208	文化交流展「海の道、アジアの路」
140	A・B	神戸市立博物館	吉武S9号墳出土龍文環頭大刀他	6	6		12	20091224	特別展「海の回廊」
141	B	大野城市教育委員会	比恵遺跡		2		2	20091121	古代山城サミット関連資料・展示資料
142	B	個人	那珂八幡古墳 三角縁画文帯五神四獣鏡		1		1	20091121	論文「三角縁神獣鏡の製作技術」
143	B	株式会社帝国書院	鴻臚館跡出土青磁褐彩の水注ほか		5		5	20091203	社会科教材
144	B	NHK奈良放送局	比恵遺跡群出土壺型土器		1		1	20091114	クローズアップ現代「謎の古代都市は邪馬台国か?」に放映
145	A	福岡市文化財部	三苫遺跡出土剥片尖頭器ほか	763			763	20091112	福岡市・釜山広域市交流20周年記念企画展
146	B	福岡市文化財部	野芥大藪遺跡遠景写真		3		3	20091212	福岡市埋蔵文化財調査報告書作成
147	B	(株)パルスクリエイティブハウス	板付遺跡出土壺型土器ほか		4		4	20091218	社会科教材
148	C	個人	博多遺跡群出土滑石製石鍋ほか			3	3	20091224	長崎石鍋記録会「調査報告」に掲載
149	A・C	福岡市文化財部	鴻臚館跡図面			1	1	20091203	福岡市埋蔵文化財調査報告書作成
150	C	福岡市文化財部	大日本帝国陸地測量部地図			1	1	20091210	福岡市埋蔵文化財調査報告書作成
151	A・B	福岡市博物館学芸課	雀居遺跡出土木製短甲ほか	75	1		76	20091215	平成21年度部門別展示「てつのよろい」
152	A	高取商店街振興組合	藤崎遺跡出土陶器	21			21	20091222	高取ミニ博物館にて展示
153	B	社団法人 日本陶磁協会	博多遺跡出土サンカローク鉄絵瓶		1		1	20100115	機関誌「陶説」に掲載
154	B	ベネッセコーポレーション	板付遺跡出土壺		1		1	20100120	社会科教材
155	B	グループ・コロンブス有限会社	金武城田遺跡出土細線式獣帯鏡		1		1	20100120	社会科教材
156	D	福岡市博物館市史編さん室	比恵遺跡他出土甕					20100121	市史編さん事業のための資料調査
157	B	ベネッセコーポレーション	板付遺跡出土壺		1		1	20100127	社会科教材
158	B	エー・アール・ティ株式会社	板付遺跡出土壺		1		1	20100127	『月刊九州王国』2010年3月号「九州の農業の歴史」に掲載
159	C	奈良文化財研究所	雀居遺跡出土壺ほか			3	3	20100123	電子顕微鏡による調査
160	C	広島市健康づくりセンター健康科学館	板付遺跡足型			1	1	20100205	企画展「足にまつわる健康展 今・昔」
161	B	広島市健康づくりセンター健康科学館	那珂君休遺跡出土木製履物		1		1	20100203	企画展「足にまつわる健康展 今・昔」
162	A	奈良国立博物館	鴻臚館跡出土遺物	25			25	20100319	平城遷都1300年記念「大遣唐使展」
163	B	奈良国立博物館	鴻臚館跡出土遺物		25		25	20100210	平城遷都1300年記念「大遣唐使展」
164	D	学研パブリッシング	名島城跡					-	歴史群像シリーズ55『石田三成』
165	B	福岡市文化財部	博多遺跡群出土メダイ他		4		4	20100209	『海路』
166	A	福岡市文化財部	博多遺跡群出土瓦	2			2	20100212	百道公民館主催歴史講座資料
167	B	(株)雄山閣	雀居遺跡出土石斧		1		1	20100217	『季刊考古学』111号「弥生石器の生産と流通」
168	C	日本放送局	板付遺跡出土壺			1	1	20100220	「爆笑問題のニッポンの教養」考古学
169	B	日本第四紀学会	板付遺跡		2		2	20100303	『デジタルブック最新第四紀学』
170	A	西区よかとこ案内人平群倶楽部	上篠遺跡出土土器	6			6	20100305	平群倶楽部主催の遺跡案内で使用
171	B	株式会社ランズ	吉武高木遺跡		1		1	20100305	『21世紀 大日本史～通史』第1巻古代
172	B	世界塩の探検館ソルトクルーズ	海の中道遺跡出土玄界灘式製塩土器				0	20100306	写真展示・情報誌に掲載
173	A・B	福岡市文化財部	有田遺跡出土ナイフ形石器他	53	30		83	20100309	戸切人権まちづくり館主催地域発見歴史講座資料
174	B	福岡市文化財部	梅林古墳他		33		33	20100311	市内所在遺跡説明板改修のため
175	B	国立歴史民俗博物館	橋本一丁田遺跡出土方形浅鉢		1		1	20100311	「歴博のめざすもの事例集1」
176	B	パルスクリエイティブハウス	板付遺跡出土炭化米		1		1	20100312	社会科教材
177	A	九州国立博物館	雀居遺跡出土彩文土器	1			1	20100324	文化交流展示室に展示
178	B	海鳥社	博多遺跡出土メダイ		3		3	20100313	『海路』9号
179	A	福岡市文化財部	雀居遺跡出土木製案他	26			26	20100318	指定文化財の告示に向けた記者発表資料
180	B	(株)雄山閣	今山遺跡		1		1	20100318	『季刊考古学』111号に掲載
181	B	株式会社 小学館	博多遺跡出土同安窯系青磁碗		1		1	20100319	小学館出版局ウェブサイトに掲載
182	A	福岡市文化財部	浦江谷遺跡群出土青磁碗	10			10	20100324	福岡市埋蔵文化財調査報告書作成
183	D	富山市教育委員会	拾六町ツイジ遺跡出土木製広鍬		3		3	20100325	「越中と美濃を結ぶ考古展 記念講演録」掲載
184	A	福岡市博物館学芸課	鴻臚館跡出土軒丸瓦	34			34	20100401	企画展「シカン時代の福岡」
185	A	高取商店街振興組合	藤崎遺跡出土陶器	39			39	20100327	高取ミニ博物館にて展示
186	D	ディレクションズ	鴻臚館跡出土ちゅうぎ		3		3	20100325	NHK教育「シャキーン!」で使用
187	D	株式会社東京美術	城の原遺跡出土朱彩広口壺		1		1	20100325	『もっと知りたい 日本のやきもの～鑑定入門(仮)』
188	D	個人	福岡城跡出土土器		1		1	20100330	『Potters and Patrons in Edo Japan』
189	B	奈良国立博物館	鴻臚館跡		2		2	20100318	『平城遷都1300年記念　大遣唐使展』

註) A：遺物貸出、B：写真貸出、C：その他の貸出、D：図面・写真等の使用、E：遺物撮影

3．保　存　処　理

（1）はじめに

当センターでは昭和57年の開館以来、市内出土埋蔵文化財のうち腐蝕や劣化により資料としての取り扱いや、通常の保管が困難なもの（主に対象となるのは木製品と金属製品）について、保存のための科学的処置を講じている。当初は直接的な処置のための限られた機器で作業を行ってきたが、平成11年度の増築により事前調査機器や大型の処理装置などが導入され、幅広い資料に対応が可能となっている。増築前後の施設の内容については、年報の第15号（増築前）、18号（増築後）をそれぞれ参照されたい。

（2）出土木製品（有機物）

1）処理の概要

今年度処理を行ったのは20遺跡251点で、柱根や礎板、建築材といった大型品が中心である。詳細は一覧表の通り。この内、下月隈C遺跡6～8次出土の120点は国庫補助事業によるものである。処理法は資料の形態、材質、劣化度などを考慮し、PEG含浸法を中心に主に3つの処理法を用いている。PEG含浸法は一般的な小型・中型の木製品、糖アルコール含浸法は、PEG含浸法では処理が困難な漆器や墨書の施された木簡類、或いは展示など活用のスケジュールに合わせて短期間での処理が必要な資料、真空凍結乾燥法はPEGを100%含浸すると、重くて取り扱いが困難な大型材や変形を期す恐れのある広葉樹芯持ち材というように、資料の種類に応じて使い分けをしている。

2）処理工程

各処理法による作業は、資料の洗浄、処理前の写真撮影、処理カードの作成といった共通作業以降、次のような工程で行った。

なお処理後の資料は温湿度管理された特別収蔵庫において保管している。

◆PEG含浸法（172点）

①資料の梱包…不織布で梱包し、メッシュのコンテナなどに納める。

②PEG含浸…専用の含浸装置に梱包した資料を入れ、注水、加熱（60℃）。温度が安定したら初期濃度10%より置換開始。PEGは処理槽の容量から算出した計画表に基づき、日々適量を投入し（写真W-1）、同時に水分蒸発により濃度上昇を図った。濃度は一週間に一度溶液を採取し、溶液の重量と水分蒸発後の重量比較により算出。5月後半に置換を開始し、約8ヶ月後の2月初旬に100%に至り、その後更に数週間含浸。

W-1　PEG投入作業

③取り上げ…溶液から資料を取り出した後、温水で表面を洗浄し、自然乾燥（PEGの固化）。

④脱色及び表面処理…湯煎したアルコールによる表面洗浄。

⑤処理後観察…変形、破損の有無を点検し、処理前と比較した上で処理カードに記入。

⑥修復（破損資料のみ）…エポシキ系接着剤による折損部の接合、エポシキ系接着剤にマイクロバルーンを混入した材料による、欠損の復元。

◆真空凍結乾燥法

①予備凍結…資料を大型凍結乾燥機に入れ、装置を作動。約－60℃下で凍結させる。

②乾燥…資料内の水分が十分に凝結したら、チャンバーを真空にし昇華による乾燥を図る。

◆糖アルコール（ラクチトール）含浸法（77点）

①溶液の準備…容器に初期濃度約30%のラクチトール水溶液を作製。恒温乾燥機を70℃に設定し、加熱。

②ラクチトール含浸…資料を溶液に浸し、資料が溶液の底に沈むことでその濃度が含浸されたと判断する。蓋をずらして水分蒸発により溶液濃度の上昇を図り、資料が浮いてきたら再度蓋を閉める。70℃での限界濃度（約80%）まで含浸させる。期間は小型資料で10日～2週間。

③結晶化…資料を溶液から取り出し、表面を温湯で洗浄後、余分な水分をきれいに拭き取る。表面にラクチトールの粉末をまぶし、ラクチトール結晶を核として結晶化を資料内部まで進め固化させる。資料は50℃に設定した恒温乾燥機に入れるが、この際、温風が資料に直接あたらないように注意する（過乾燥の防止）。結晶化の時間は他施設での実績や経験的なもので判断している（小型資料で1週間～10日）。

④洗浄…表面に固着しているラクチトールの結晶を筆や竹串で軽く除去した後、水で洗浄。

⑤乾燥…再び50℃の乾燥機で乾燥させる。

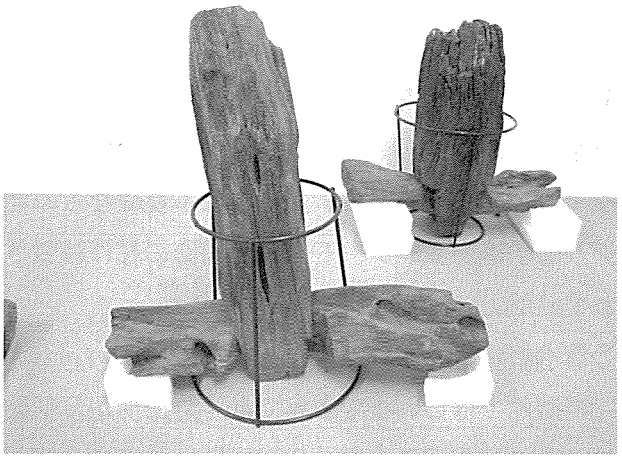
3）処理木製品紹介

今年度処理を行った博多区下月隈C遺跡6～8次、比恵遺跡87次、中央区鴻臚館跡16次、西区元岡・桑原遺跡群42次の木器を紹介する。

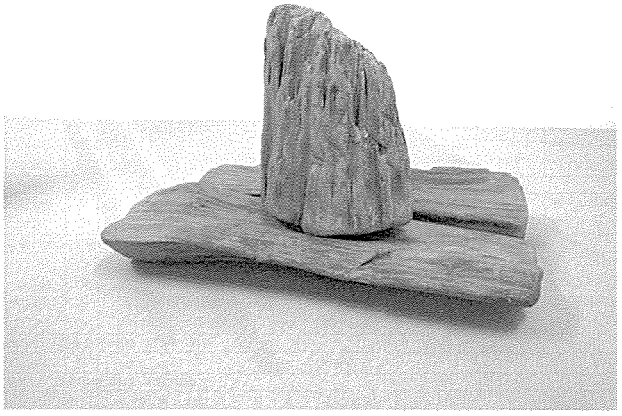
◇弥生時代の建物の柱と礎板（下月隈C遺跡6～8次）

下月隈C遺跡は福岡空港南側に広がる遺跡で、調節池建設のために1998年から2003年にかけて約8万㎡の敷地を発掘調査した。弥生時代から中世までの集落や水田が発見され、大量の土器や石器のほか様々な木製品が出土し、これまで数年かけて保存処理を行ってきている。21年度は6・7・8次調査の柱や礎板、建築材を中心に保存処理を行った。

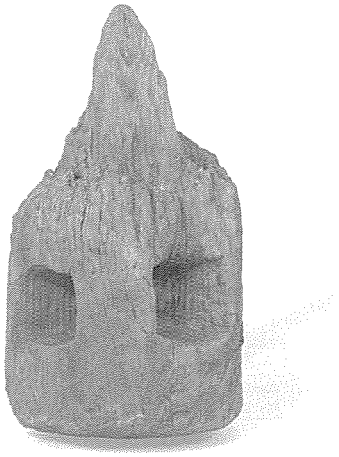
礎板とは軟弱な地面に直接柱を立てると沈み込むので、接地面積を大きくし、柱が沈まないようにするために柱の下に据えた板のことである。礎板には1枚の板を据えた一木型、細めの丸太を半



W-2　半裁型礎板



W-3　組み合わせ式礎板



W-4　鼻緑のある柱根

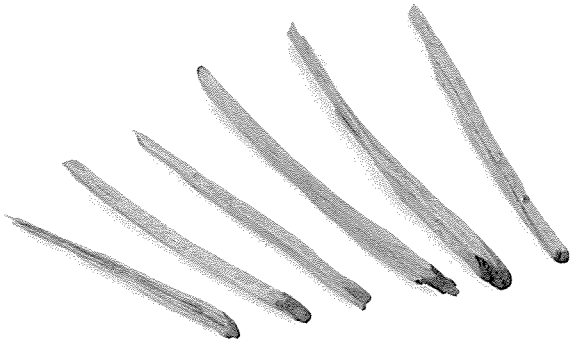
裁して据える半裁型、鉄アレイ形の礎板に凹みを設けた柱を噛み合わせる組み合わせ式の３種類が認められた。半裁型や組み合わせ式の礎板には、大きな材がなくても柱の沈下を防ごうとした弥生時代の人々の工夫があらわれている。

下月隈Ｃ遺跡出土の柱根の太いものの中には２つの穴が穿たれ、貫通しているものがある。これは木を伐採地から運搬する際に穴に縄を通して地上を引っ張ったり、河川で筏を組んだりした鼻繰（はなぐり）の痕跡である。運搬後は不要になるので切り離す事が多いが、下月隈Ｃ遺跡の柱には残されていた。

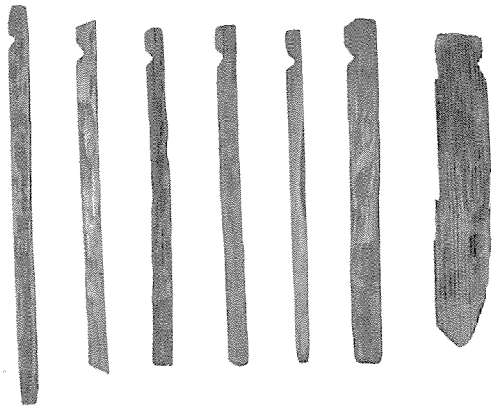
◇籌木（鴻臚館跡 16 次調査）

鴻臚館ではこれまで南館でトイレ遺構が３基発見されていた。その後、2003 年に北館でも新たにトイレ遺構が２基発見された。籌木はおしりを拭くヘラで、現代のトイレットペーパーにあたる。トイレ遺構 SK1124 の穴から大量に出土した。中には木簡を再利用したものもあった。そのほか、先端が炭化している棒も多数発見された。夜間に明かりをつけるのに使ったとみられている。

W-5　籌木



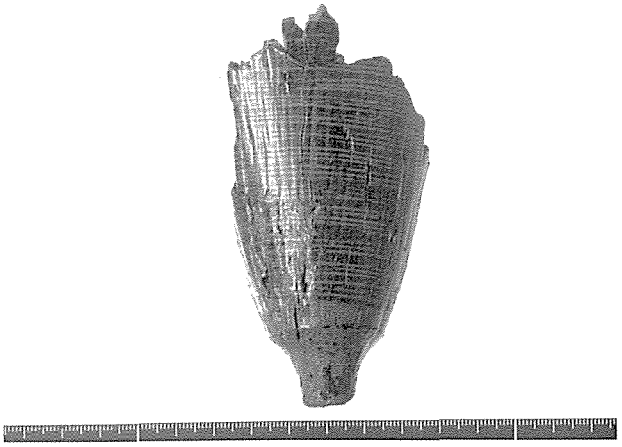
W-6　火付け木



W-7　木簡を転用した籌木

◇漆塗り容器（元岡・桑原 42 次調査）

2004 年九州大学伊都キャンパスの建設予定地の発掘現場から、黒地に赤い細線が入った美しいワイングラス形の漆器が出土した。赤い線が一定の太さでまっすぐに引かれており、ろくろなどの回転を利用して書かれたようである。同様の細線赤漆の漆器はこれまで西区の今宿五郎江遺跡や博多区の雀居遺跡、下月隈Ｃ遺跡でも見つかっている。近年韓国釜山の古村遺跡でも類似した漆器の出土が報告されている。土器や石器だけではなく、木製品でも技術の交流・製品の流通などが朝鮮半島との間で行われていた事が伺える。

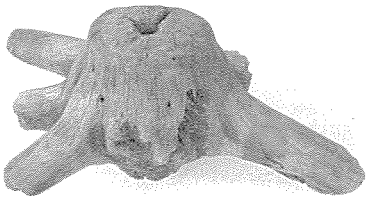


W-8　漆塗容器

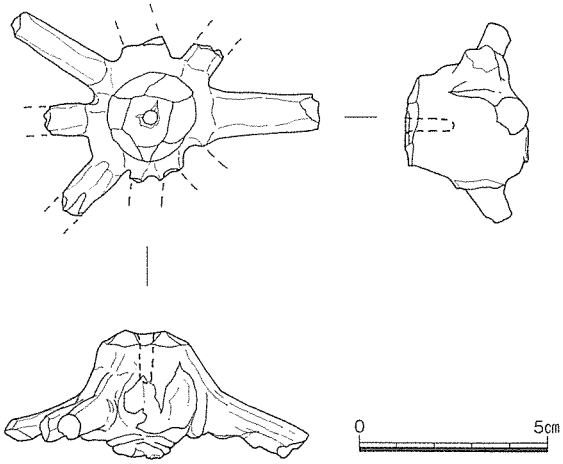
◇蓋（きぬがさ）の腕木（比恵87次調査）

弥生時代中期末の井戸SE12から蓋の腕木の軸部と思われるものが出土した。報告書未掲載資料であるので、実測図と共に紹介する。中心の幹部には上から径5mmほどの孔が1.5cmの深さであけられている。同じ場所から８本の枝が出ており、腕木にしたと考えられるが欠損しており、長さは不明。

市内では他に拾六町ツイジ遺跡で鏡板と考えられる部材が出土している。



W-9　蓋の腕木



W-10　蓋の腕木実測図（1／2）

平成21（2009）年度保存処理木製品一覧

処理No.	区分	遺物No.	資料名	材質	時代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
高畑7次（調査番号：8138　市報83集）								
27167	市	40007	桜皮	木	古墳前期	-	-	糖アルコール
27196	市	40007	編縄	木	古墳前期	-	-	糖アルコール
吉武2次（調査番号：8234　市報675集）								
27182	市	58010	木器	木	縄文後期初頭	Fig.38	Pl.25	糖アルコール
27168	市	58011	柱材	木	縄文中期	Fig.38	Pl.25	糖アルコール
27169	市	58013	木器	木	縄文中期	Fig.38	Pl.25	糖アルコール
27183	市	58014	木器	木	縄文中期	Fig.38	Pl.25	糖アルコール
27170	市	58015	板材	木		-	Pl.25	糖アルコール
27171	市	78009	杭	木	平安	Fig.42	Pl.29	糖アルコール
博多22次（調査番号：8327　市報118集）								
27232	市	50181	仏具か？	木	近世	-	-	糖アルコール
27233	市	50182	漆椀	木・漆	近世	-	-	糖アルコール
27234	市	50183	櫛	木	近世	-	-	糖アルコール
27235	市	50184	漆椀	木・漆	近世	-	-	糖アルコール
27236	市	50185	漆椀	木・漆	近世	-	-	糖アルコール
27237	市	50186	漆椀	木・漆	近世	-	-	糖アルコール
27238	市	50187	漆椀	木・漆	近世	-	-	糖アルコール
27239	市	50188	漆椀	木・漆	近世	-	-	糖アルコール
27240	市	50189	漆椀	木・漆	近世	-	-	糖アルコール
27241	市	50190	仏具か？	木	近世	-	-	糖アルコール
27230	市	70201	皮製品	皮	近世	-	-	糖アルコール
27231	市	70202	皮製品	皮	近世	-	-	糖アルコール
博多築港線3次（調査番号：8404　市報204集）								
27172	市	9557	漆器	木・漆	14C	-	-	糖アルコール
27173	市	9563	漆器	木・漆	15C前半	-	-	糖アルコール
27174	市	9564	漆器	木・漆	15C前半	-	-	糖アルコール
博多33次（調査番号：8618　市報526集）								
27175	市	435	漆椀	木・漆	16C	-	-	クリーニング・強化
博多61次（調査番号：8962　市報252集）								
27176	市	6020	漆器	木・漆	13C後半	-	-	糖アルコール
27177	市	6024	漆器椀	木・漆	13C中頃	-	-	糖アルコール
博多63次（調査番号：8974　市報286集）								
27178	市	60001	漆器	木・漆		-	-	糖アルコール
雀居4次（調査番号：9241　市報748集）								
26958	市	60486	礎板	木	弥生後期後半	-	-	PEG（3m槽）
26959	市	60487	礎板	木	弥生後期後半	-	-	PEG（3m槽）
26960	市	60488	礎板	木	弥生後期後半	-	-	PEG（3m槽）
26961	市	60489	礎板	木	弥生後期後半	-	-	PEG（3m槽）
26962	市	60490	礎板	木	弥生後期後半	-	-	PEG（3m槽）
26963	市	60559	礎板	木	弥生後期後半	-	-	PEG（3m槽）
26964	市	60560	礎板	木	弥生後期後半	-	-	PEG（3m槽）
26965	市	60565	礎板	木	弥生後期後半	-	-	PEG（3m槽）
26966	市	60568	礎板・柱	木	弥生後期後半	-	-	PEG（3m槽）
26967	市	60589	礎板	木	弥生後期後半	-	-	PEG（3m槽）
26968	市	60590	礎板	木	弥生後期後半	-	-	PEG（3m槽）
下月隈C1次（調査番号：9404　市報457集）								
26969	市	20001	礎板	木	弥生後期	Fig.70-20001	-	PEG（3m槽）
26970	市	20002	礎板	木	弥生後期	Fig.70-20002	-	PEG（3m槽）
26971	市	20003	柱痕	木	弥生後期	Fig.70-20003	-	PEG（3m槽）
26972	市	20004	礎板	木	弥生後期	Fig.70-20004	-	PEG（3m槽）
26973	市	20005	不明	木	弥生後期	Fig.72-20005	-	PEG（3m槽）
五十川3次（調査番号：9538　市報570集）								
27189	市	40001	曲物底板？	木	14～15C	-	-	糖アルコール
27190	市	40002	蓋	木	14～15C	-	-	糖アルコール
高畑17次（調査番号：9833　市報676集）								
27184	市	2020	棒状木製品	木	縄文晩期	-	-	糖アルコール
27185	市	2021	棒状木製品	木	縄文晩期	-	-	糖アルコール
27186	市	2022	棒状木製品	木	縄文晩期	-	-	糖アルコール
27187	市	2023	棒状木製品	木	縄文晩期	-	-	糖アルコール
コノリ3次（調査番号：9839　市報728集）								
27188	市	1694	桶材	木	15C後半～16C前半	-	-	糖アルコール
寺島1次（調査番号：0012　市報753集）								
27191	市	75	農具未製品	木	弥生終末	Fig.24-75	-	糖アルコール
27192	市	76	棒杭	木	弥生終末	Fig.24-76	-	糖アルコール
27193	市	77	木片	木	弥生終末	Fig.24-77	-	糖アルコール
27194	市	78	杭	木	弥生終末	Fig.24-78	-	糖アルコール
下月隈C6次（調査番号：0018　市報839集）								
26974	補	53003	建築材	木	弥生中期～終末	Fig.101-w52	PL.96-w52	PEG（3m槽）
26975	補	53005	建築材	木	弥生中期～終末	Fig.102-w57	PL.96-w57	PEG（3m槽）
26976	補	53006	建築材	木	弥生中期～終末	Fig.101-w50	PL.96-w50	PEG（3m槽）
26977	補	53007	建築材	木	弥生中期～終末	Fig.101-w53	-	PEG（3m槽）
26978	補	53009	建築材	木	弥生中期～終末	Fig.102-w58	-	PEG（3m槽）
26979	補	53014	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.99-w46	PL.96-w46	PEG（3m槽）
26980	補	53016	建築材	木	弥生中期～終末	Fig.102-w55	PL.96-w55	PEG（3m槽）
26981	補	53017	杭	木	弥生中期～終末	Fig.101-w54	-	PEG（3m槽）
26982	補	53033	板材	木	弥生中期～終末	Fig.167-w67	-	PEG（3m槽）
26983	補	53034	板材	木	弥生中期～終末	Fig.167-w68	-	PEG（3m槽）
26984	補	53037	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.86-w4	-	PEG（3m槽）
26985	補	53038	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.86-w5	-	PEG（3m槽）
26986	補	53039	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.86-w9	-	PEG（3m槽）
26987	市	53040	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG（3m槽）
26988	補	53041	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.86-w6	-	PEG（3m槽）
26989	市	53042	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG（3m槽）
26990	補	53043	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.86-w2	-	PEG（3m槽）
26991	補	53044	柱根	木	弥生中期～終末	Fig.86-w1	-	PEG（3m槽）
26992	補	53045	柱根	木	弥生中期～終末	Fig.86-w3	-	PEG（3m槽）
26993	市	53046	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG（3m槽）
26994	市	53047	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG（3m槽）
26995	補	53048	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.87-w25	-	PEG（3m槽）
26996	補	53049	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.87-w23	-	PEG（3m槽）

処理No.	区分	遺物No.	資料名	材質	時代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
26997	補	53050	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.87-w26	-	PEG(3m槽)
26998	補	53051	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.87-w24	-	PEG(3m槽)
26999	市	53052	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27000	市	53053	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27001	市	53054	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27002	市	53055	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27003	補	53056	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.87-w27	PL.86-w27	PEG(3m槽)
27004	補	53057	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.87-w28	PL.86-w28	PEG(3m槽)
27005	補	53058	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.87-w29	PL.86-w29	PEG(3m槽)
27006	補	53059	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.87-w31	PL.86-w31	PEG(3m槽)
27007	補	53060	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.87-w30	PL.86-w30	PEG(3m槽)
27008	市	53061	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27009	補	53062	柱根	木	弥生中期～終末	Fig.88-w32	-	PEG(3m槽)
27010	補	53063	柱根	木	弥生中期～終末	Fig.86-w10	-	PEG(3m槽)
27011	補	53064	柱根	木	弥生中期～終末	Fig.86-w16	-	PEG(3m槽)
27012	補	53065	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.86-w15	-	PEG(3m槽)
27013	補	53066	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.86-w13	-	PEG(3m槽)
27014	補	53067	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.86-w12	-	PEG(3m槽)
27015	市	53068	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27016	補	53069	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.86-w11	-	PEG(3m槽)
27017	補	53073	柱根	木	弥生中期～終末	Fig.86-w14	-	PEG(3m槽)
27018	市	53078	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27019	市	53079	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27020	市	53080	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27021	市	53081	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27022	補	53082	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.87-w17	-	PEG(3m槽)
27023	補	53083	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.87-w19	-	PEG(3m槽)
27024	補	53084	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.87-w18	-	PEG(3m槽)
27025	補	53085	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.87-w20	-	PEG(3m槽)
27026	補	53086	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.87-w21	-	PEG(3m槽)
27027	市	53087	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27028	市	53088	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.87-w22	-	PEG(3m槽)
27029	市	53089	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27030	市	53090	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27031	補	53091	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.88-w33	-	PEG(3m槽)
27032	補	53092	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.88-w36	-	PEG(3m槽)
27033	補	53093	柱	木	弥生中期～終末	Fig.88-w35	-	PEG(3m槽)
27034	補	53094	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.88-w38	-	PEG(3m槽)
27035	補	53095	柱根	木	弥生中期～終末	Fig.88-w37	-	PEG(3m槽)
27036	補	53096	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.88-w40	-	PEG(3m槽)
27037	補	53097	柱根	木	弥生中期～終末	Fig.88-w39	-	PEG(3m槽)
27038	補	53098	柱根	木	弥生中期～終末	Fig.88-w41	-	PEG(3m槽)
27039	補	53099	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.88-w34	-	PEG(3m槽)
27040	補	53100	礎板	木	弥生中期～終末	Fig.88-w42	-	PEG(3m槽)
27041	市	53101	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27042	市	53102	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27043	補	53103	柱根	木	弥生中期～終末	Fig.88-w43	-	PEG(3m槽)
27044	市	53104	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27045	市	53105	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27046	市	53106	杭	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27047	市	53107	杭	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27048	市	53108	杭	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27049	市	53115	柱片？	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27050	市	53117	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27051	市	53118	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
27052	市	53131	礎板	木	弥生中期～終末	-	-	PEG(3m槽)
下月隈C7次(調査番号:0115 市報881集)								
27053	補	90096	不明	木	弥生後期後半～古墳前期	Fig.80-w23	PL.95-w23	PEG(3m槽)
27054	補	90111	杭	木	弥生後期後半～古墳前期	Fig.81-w29	PL.95-w29	PEG(3m槽)
27055	補	90112	又杭	木	弥生後期後半～古墳前期	Fig.81-w28	PL.95-w28	PEG(3m槽)
27056	補	90132	杭	木	弥生後期後半～古墳前期	Fig.84-w38	-	PEG(3m槽)
27057	補	90133	建築材	木	弥生後期後半～古墳前期	Fig.84-w40	PL.96-w40	PEG(3m槽)
27058	補	90137	杭	木	弥生後期後半～古墳前期	Fig.85-w42	-	PEG(3m槽)
27059	補	90161	柱材	木	弥生中期後半～終末	Fig.110-w70	PL.99-w70	PEG(3m槽)
27060	補	90162	柱材	木	弥生中期後半～終末	Fig.110-w75	PL.99-w75	PEG(3m槽)
27061	補	90165	礎板	木	弥生中期後半～終末	Fig.111-w80	PL.98-w80	PEG(3m槽)
27062	市	90167	礎板	木	弥生中期後半～終末	Fig.111-w77	PL.97-w77	PEG(3m槽)
27063	市	90174	礎板	木	弥生中期後半～終末	Fig.111-w81	PL.98-w81	PEG(3m槽)
下月隈C8次(調査番号:0219 市報932集)								
27064	補	6053	棒状	木	弥生後期	Fig.120-w60	-	PEG(3m槽)
27065	市	6054	不明	木	奈良	Fig.33-w4	-	PEG(3m槽)
27066	市	6055	不明	木	弥生早～前期	Fig.120-w61	PL.101-w61	PEG(3m槽)
27067	補	6056	不明	木	弥生早～前期	Fig.120-w62	-	PEG(3m槽)
27068	補	6057	不明	木	弥生後期後半～古墳前期	Fig.71-w40	図版13-(2)	PEG(3m槽)
27069	補	6058	杭	木	弥生後期後半～古墳前期	Fig.71-w43	図版13-(2)	PEG(3m槽)
27070	補	6059	杭(建築部材か)	木	弥生後期後半～古墳前期	Fig.71-w44	PL.99-w44	PEG(3m槽)
27071	補	6061	板状	木	弥生後期後半～古墳前期	Fig.71-w42	図版13-(2)	PEG(3m槽)
27072	補	6062	不明	木	弥生後期後半～古墳前期	Fig.71-w41	PL.99-w41	PEG(3m槽)
27073	補	6063	建築部材	木	弥生後期後半～古墳前期	Fig.71-w46	PL.100-w46	PEG(3m槽)
27074	補	6064	板状	木	弥生後期後半～古墳前期	Fig.71-w39	PL.99-w39	PEG(3m槽)
27075	補	6066	杭	木	弥生後期後半～古墳前期	Fig.71-w45	-	PEG(3m槽)
27076	補	6068	不明	木	弥生後期後半	Fig.84-w50	PL.100-w50	PEG(3m槽)
27077	補	6070	板状	木	弥生後期後半	Fig.79-w49	PL.100-w49	PEG(3m槽)
27078	補	6072	杭	木	弥生～古墳前期	Fig.128-w71	-	PEG(3m槽)
27079	補	6073	杭	木	弥生～古墳前期	Fig.128-w72	-	PEG(3m槽)
27080	補	6074	杭	木	弥生後期後半～古墳前期	Fig.84-w51	PL.100-w51	PEG(3m槽)
27081	補	6075	杭	木	弥生後期後半～古墳前期	Fig.84-w56	PL.100-w56	PEG(3m槽)
27082	補	6076	杭	木	弥生後期後半～古墳前期	Fig.84-w53	PL.100-w53	PEG(3m槽)
27083	補	6077	建築部材	木	弥生後期後半～古墳前期	Fig.84-w55	PL.101-w55	PEG(3m槽)
27084	補	6078	不明	木	弥生後期後半～古墳前期	Fig.84-w54	PL.100-w54	PEG(3m槽)

処理No.	区分	遺物No.	資料名	材質	時代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
27085	補	6079	建築部材	木	弥生～古墳前期	Fig.128-w73	PL.102-w73	PEG(3m槽)
27086	補	6080	柱	木	弥生～古墳前期	Fig.58-w1	PL.96-w1	PEG(3m槽)
27087	補	6081	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.58-w2	PL.96-w2	PEG(3m槽)
27088	補	6082	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.58-w3	PL.96-w3	PEG(3m槽)
27089	補	6083	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.58-w7	PL.96-w7	PEG(3m槽)
27090	補	6084	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.58-w5	PL.96-w5	PEG(3m槽)
27091	補	6085	柱	木	弥生～古墳前期	Fig.58-w4	PL.96-w4	PEG(3m槽)
27092	補	6086	柱	木	弥生～古墳前期	Fig.60-w25	PL.98-w25	PEG(3m槽)
27093	補	6087	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.58-w6	PL.96-w6	PEG(3m槽)
27094	補	6088	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.58-w9	PL.96-w9	PEG(3m槽)
27095	補	6089	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.58-w8	PL.96-w8	PEG(3m槽)
27096	補	6090	柱	木	弥生～古墳前期	Fig.58-w10	PL.97-w10	PEG(3m槽)
27097	補	6091	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.58-w11	PL.97-w11	PEG(3m槽)
27098	補	6092	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.59-w14	PL.97-w14	PEG(3m槽)
27099	補	6093	柱	木	弥生～古墳前期	Fig.59-w17	PL.97-w17	PEG(3m槽)
27100	補	6094	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.59-w18	PL.97-w18	PEG(3m槽)
27101	補	6095	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.127-w65	PL.101-w65	PEG(3m槽)
27102	補	6096	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.127-w66	PL.101-w66	PEG(3m槽)
27103	補	6097	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.59-w16	PL.97-w16	PEG(3m槽)
27104	補	6098	柱	木	弥生～古墳前期	Fig.59-w21	PL.98-w21	PEG(3m槽)
27105	補	6099	柱	木	弥生～古墳前期	Fig.59-w22	PL.98-w22	PEG(3m槽)
27106	補	6100	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.60-w28	PL.98-w28	PEG(3m槽)
27107	補	6101	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.60-w27	PL.98-w27	PEG(3m槽)
27108	補	6102	柱	木	弥生～古墳前期	Fig.60-w26	PL.98-w26	PEG(3m槽)
27109	補	6103	柱	木	弥生～古墳前期	Fig.60-w29	PL.98-w29	PEG(3m槽)
27110	補	6104	柱	木	弥生～古墳前期	Fig.60-w34	PL.102-w34	PEG(3m槽)
27111	補	6105	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.59-w15	PL.97-w15	PEG(3m槽)
27112	補	6106	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.59-w13	PL.97-w13	PEG(3m槽)
27113	補	6107	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.59-w12	PL.97-w12	PEG(3m槽)
27114	補	6108	柱	木	弥生～古墳前期	Fig.60-w23	PL.98-w23	PEG(3m槽)
27115	補	6109	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.60-w24	PL.98-w24	PEG(3m槽)
27116	補	6110	板材か	木	弥生～古墳前期	Fig.60-w35	-	PEG(3m槽)
27117	市	6111	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.60-w30	PL.99-w30	PEG(3m槽)
27118	市	6112	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.60-w31	PL.99-w31	PEG(3m槽)
27119	市	6113	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.60-w32	PL.99-w32	PEG(3m槽)
27120	補	6114	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.60-w33	PL.99-w33	PEG(3m槽)
27121	補	6115	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.59-w19	PL.98-w19	PEG(3m槽)
27122	補	6116	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.59-w20	-	PEG(3m槽)
27123	補	6117	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.127-w63	PL.101-w63	PEG(3m槽)
27124	補	6118	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.127-w64	PL.101-w64	PEG(3m槽)
27125	補	6119	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.127-w67	PL.102-w67	PEG(3m槽)
27126	補	6120	礎板	木	弥生～古墳前期	Fig.127-w68	PL.101-w68	PEG(3m槽)
27127	補	6121	柱	木	弥生～古墳前期	Fig.127-w69	PL.99-w69	PEG(3m槽)
27128	補	6122	柱	木	弥生～古墳前期	Fig.127-w70	PL.102-w70	PEG(3m槽)
27129	補	6123	柱	木	弥生～古墳前期	Fig.61-w36	PL.99-w36	PEG(3m槽)
福岡城址50次(鴻臚館跡16)(調査番号:0309 市報875集)								
27130	市	22040	火付け木	木	奈良	-	Ph.71-61	糖アルコール
27131	市	22041	火付け木	木	奈良	-	Ph.71-62	糖アルコール
27132	市	22042	火付け木	木	奈良	-	Ph.71-63	糖アルコール
27133	市	22043	火付け木	木	奈良	-	Ph.71-64	糖アルコール
27134	市	22044	火付け木	木	奈良	-	Ph.71-65	糖アルコール
27135	市	22045	火付け木	木	奈良	-	Ph.71-66	糖アルコール
27136	市	22046	火付け木	木	奈良	-	Ph.71-67	糖アルコール
27137	市	22047	火付け木	木	奈良	-	Ph.71-68	糖アルコール
27138	市	22048	火付け木	木	奈良	-	Ph.71-69	糖アルコール
27139	市	22049	火付け木	木	奈良	-	Ph.71-70	糖アルコール
27140	市	22051	籌木	木	奈良	-	Ph.73-32	糖アルコール
27141	市	22052	籌木	木	奈良	-	Ph.73-33	糖アルコール
27142	市	22053	籌木	木	奈良	-	Ph.73-34	糖アルコール
27143	市	22054	籌木	木	奈良	-	Ph.73-35	糖アルコール
27144	市	22055	籌木	木	奈良	-	Ph.73-36	糖アルコール
27145	市	22056	火付け木	木	奈良	-	Ph.73-37	糖アルコール
27146	市	22057	火付け木	木	奈良	-	-	糖アルコール
27147	市	22058	火付け木	木	奈良	-	-	糖アルコール
27148	市	22059	火付け木	木	奈良	-	-	糖アルコール
27149	市	22060	火付け木	木	奈良	-	-	糖アルコール
27150	市	22061	火付け木	木	奈良	-	-	糖アルコール
27151	市	22062	火付け木	木	奈良	-	-	糖アルコール
27152	市	22063	火付け木	木	奈良	-	-	糖アルコール
27153	市	22064	木片	木	奈良	-	-	糖アルコール
27154	市	22065	棒状木製品	木	奈良	-	-	糖アルコール
27155	市	22066	板状木製品	木	奈良	-	-	糖アルコール
27156	市	22067	板状木製品	木	奈良	-	-	糖アルコール
27157	市	22068	木片	木	奈良	-	-	糖アルコール
27158	市	22069	板状木製品	木	奈良	-	-	糖アルコール
27159	市	22070	棒状木製品	木	奈良	-	-	糖アルコール
27160	市	22071	木片	木	奈良	-	-	糖アルコール
27161	市	22072	棒状木製品	木	奈良	-	-	糖アルコール
27162	市	22073	棒状木製品	木	奈良	-	-	糖アルコール
27163	市	22075	木片	木	奈良	-	-	糖アルコール
27164	市	22076	木片	木	奈良	-	-	糖アルコール
27179	市	22081	鼈甲？	鼈甲？	奈良	-	-	樹脂含浸
27165	市	22086	棒状木製品	木	奈良	-	-	糖アルコール
27166	市	22087	木片	木	奈良	-	-	糖アルコール
比恵87次(調査番号:0353 市報857集)								
27180	市	3040	蓋腕木	木	弥生中期末	-	-	糖アルコール
元岡・桑原42次(調査番号:0451 未報告)								
27181	市		高坏状漆器	木	弥生後期			糖アルコール
博多176次(調査番号:0728 市報1043集)								
27195	市	561	木桶	木	13～14C	-	-	糖アルコール

【区分の補は国庫補助事業、市は市単費による】

（3）金属器・その他の遺物

今年度、木製品以外で何らかの作業を行った資料は、12遺跡247点である。その内容は別表に示すとおりである。金属器類の保存処理は一部例外を除き、概ね以下の工程により行っている。

●**事前調査**：保存処理はしばしば人間の医療に喩えられるが、事前調査は病院の診察に当たる重要な工程である。肉眼による表面観察が基本となるが、その限界を補うために顕微鏡や透過X線など様々な理化学装置が用いられる。資料の腐食や劣化の状態を知ることを主目的として行われるが、それに付随して資料の材質、構造、付着物といった、考古学的に有益な情報も得られる。

●**クリーニング**：埋土や余分な腐食層の除去を目的とする。鉄製品はグラインダーやエアブラシを使用。銅、青銅製品の一部や、これを基調とする金銅製品、ガラス製品など、表面層がデリケートな資料は、顕微鏡下でのアルコール洗浄やメス等を用いたクリーニングを行っている。

●**安定化**：金属製品のメタル部分は塩化物や硫化物イオンにより、著しく腐食が進行することが知られており、特にメタルが残存する資料はこれらの不活性化や除去が必要とされる。銅・青銅製品については、ベンゾ・トリ・アゾールにより塩類の不活性化を図っている。鉄製品については、内部にメタルが残存し全てが錆に置き換わっていない資料について、水酸化リチウムのアルコール溶液やセスキ炭酸ナトリウムの水溶液に浸漬する方法により脱塩処理を行う場合がある。

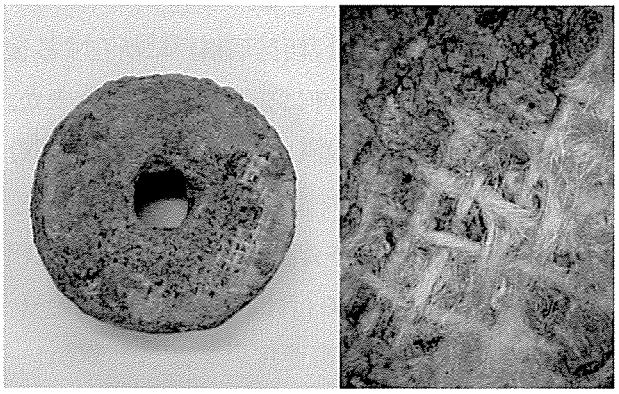
●**樹脂含浸**：資料の強化や腐食の要因物質からの隔離を目的として、合成樹脂を含浸し保護膜の形成を行う。いずれもアクリル樹脂を使用しているが、塗膜の厚さ等を考慮し、鉄製品にはパラロイドNAD-10を、銅・青銅製品にはパラロイドB-72を用いている。内部まで樹脂を浸透させる必要がある資料については50cmHg程度の減圧含浸を実施。

●**修復**：接着については、特に強度を必要としないものはセルロース系、強度を要する場合はエポキシ系の接着剤を使用。欠損の補填を行う場合、接着剤にマイクロバルーンを混ぜて粘度を高めたものや、鉄粉入りのエポキシ樹脂（国際ケミカル：ポップメタル）などを使用している。

以上の工程を経た後も、決して安心はできない。温度や湿度などの周辺環境は資料の保全に影響を及ぼすものであり、処置後の資料もできる限り安定した環境で保管されることが望まれる。そこで埋蔵文化財センターでは、金属器等の資料については24時間温湿度調整を行っている特別収蔵庫にて保管している他、必要に応じて特殊な材質の袋に脱水、脱酸素の機能を持った薬剤と共に資料を封入する方法（三菱ガス化学：RPシステム）での保管も行っている。

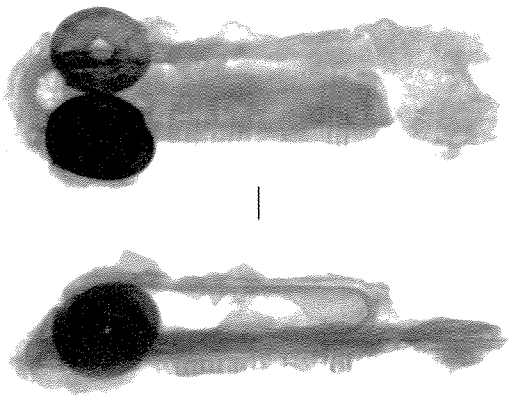
次に、今年度作業を行った中で主要な資料について報告する。

箱崎62次調査地点は箱崎遺跡の南西縁辺部に位置し、近世墓群が調査された。銅銭・和鋏・毛抜・キセル・櫛などの副葬品が出土し、それらの保存処理を行った。銅銭の大多数は江戸時代の寛永通宝であり、6枚が錆でひとかたまりにくっついた状態で出土する事例がかなり多い。俗に「三途の川の渡し賃」といわれる六道銭を副葬する風習が江戸時代には広く行われていたことがわかる。一方、中世段階の渡来銭は1、2枚での出土であり、まだ六道銭の風習は見られない。和鋏・毛抜・櫛・銅銭が錆によって互いにくっついた状態で出土した事例の割合もかなり高い。それらの表面を実体

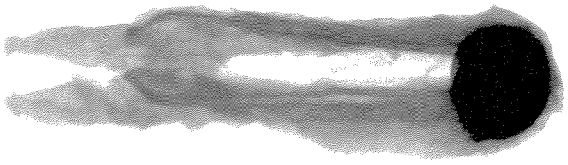


銅銭に残る布目痕跡（箱崎62次）

顕微鏡で観察すると、平織りされた繊維（布目痕跡）が確認できた。これらの品をいわゆる頭陀袋に入れて埋葬したことがわかる。



27318



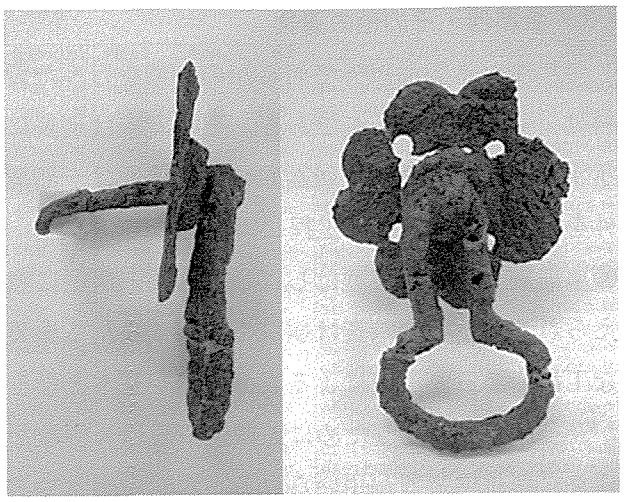
27334

副葬品のＸ線写真（箱崎62次）

ほかにも箱崎遺跡、博多遺跡群で出土した遺物が持ち込まれ、銅銭などのクリーニング・Ｘ線による文字の判読・保存処理を行った。

報告書作成に伴う、近年調査した遺物の保存処理のほかに、センターに収蔵されている遺物についても保存処理を行っている。

羽根戸古墳群Ｎ群は、西区羽根戸に所在する後期群集墳である。1985年に発掘調査が行なわれた。劣化はさほど進んでいないが、良好な資料でありながらクリーニングが行われていなかったので、再整理・保存処理を行った。８号墳出土品には円環状の轡、鞍に帯を取り付けるためのしおで金具、壺鐙の吊金具、雲珠、帯金具が確認でき、馬具一式が副葬されていたことがわかった。



しおで金具（羽根戸古墳群Ｎ群）

（４）その他の作業について

この他、発掘現場からの保存科学的作業の依頼については例年通り、逐次対応している。今年度は、徳永Ｂ遺跡における古墳時代土坑墓の刀剣類の取り上げ作業などを行った。

また、上角が国立奈良文化財研究所の保存科学講習（有機質遺物過程・無機物遺物過程）に参加した。

埋蔵文化財センターにおいて平成11年度に導入された文化財用事前調査機器類は、前にも記したように考古学的に有益な情報も得ることができる。これらの装置をまとまって揃えている施設は九州内でも限られており、周辺自治体の関連部署からは機器の使用が求められてきた。そこで、外部からの利用については、平成12年度に策定された利用基準（巻末参照）に依拠した作業を行っている。平成21年度は福岡県内の市町村を中心に、九州各地の自治体、大学などの研究期間から使用許可申請が提出され、それに基づいて対応した。

元岡遺跡出土木製鞍のレプリカ製作

元岡・桑原遺跡群第18次調査で馬鞍の部品である木製居木(いぎ)が出土している。包含層からの出土で、時期は古墳時代末（7世紀中頃）と推定されている。現在のところ、わが国で唯一の出土品であり、古墳時代の鞍を復元するにあたって非常に重要な資料である。

しかしながら、展示の際、居木のみではこの遺物がいったい何であるのか、理解しにくい。そこで、この居木をもとに鞍全体の復元レプリカを製作し、居木と共に展示することにした。

○研究史

既往の古墳時代木製鞍の復元例として、神谷正弘氏による百舌鳥陵南遺跡出土木製鞍の事例がある（神谷正弘1987「大阪府堺市百舌鳥陵南遺跡出土木製鞍の復元」『考古学雑誌』72-3)。この復元例では、前輪(まえわ)・後輪(しずわ)が残存し、それらとの接合の具合から、居木は長方形の扁平な板を左右に2枚ずつ、合わせて4枚使う4枚居木に復元されている。このタイプの4枚居木は正倉院所蔵の木製鞍にも見られる形態で和鞍と呼ばれている。

また、福島県文化財センター白河館「まほろば」の復元研究プロジェクトチームによって、木製鞍を含む笊内古墳群出土馬具一式の復元が行われている（福島県文化財センター白河館復元研究プロジェクトチーム2002「福島県内出土古墳時代金工遺物の研究－笊内古墳群出土馬具・武具・装身具等、真野古墳群A地区20号墳出土　金銅製双魚佩の研究復元製作」『福島県文化財センター白河館研究紀要2001』)。居木の構造については古谷毅氏、桃崎祐輔氏が中心となり復元されているが、本例では厚みのある2枚居木に復元されている。

元岡遺跡で居木が出土した以降では、神谷正弘氏が元岡遺跡例について触れられている。「前・後輪直立鞍」の形式とし、推定復元図が示してある（神谷正弘2005「古墳時代集落出土木製鞍再論」『埴生の宿－田代克己さん追悼録－』)。

○居木の特徴

出土した居木は2枚居木の形式である。後方から見て左側の居木がほぼ完形の状態で出土している。長さ41cm、最大幅13cm、厚さ約4.5cmを測る。

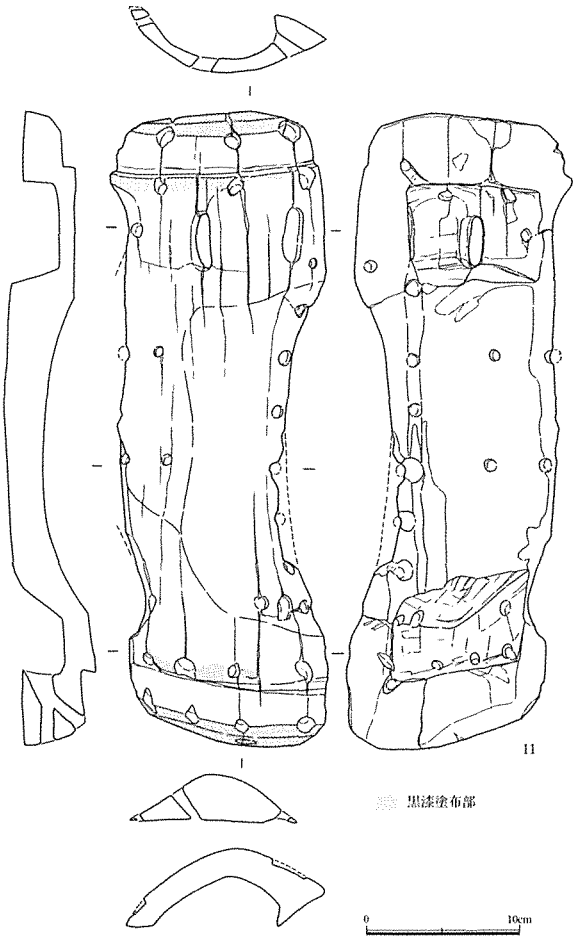


Fig.5　第18次調査出土遺物実測図

元岡18次調査出土 居木実測図

居木の形状は細長い枕状で、中央の人が座る部分を滑らかにくぼめている。座部は実測図下側に若干寄っており、図上側の座部脇の位置に長さ5cm程度の細長い楕円形孔を2つ穿っている。これは鐙の力革を通す孔と考えられるので、こちらが前になる。

前輪・後輪と接する部位は、幅2.5cm・高さ5～7mm程度を一段低く彫り込んでいる。前輪

側の段は垂直だが、後輪側はわずかにオーバーハングし後方に向かって立ち上がる。この段の前後に紐を通す孔が２つ１対で前輪側に３対、後輪側に４対穿たれる。ほかにも居木側縁を中心に小孔が穿たれているが、これは座部に革や繊維の敷物を革紐で固定するための穴であろう。

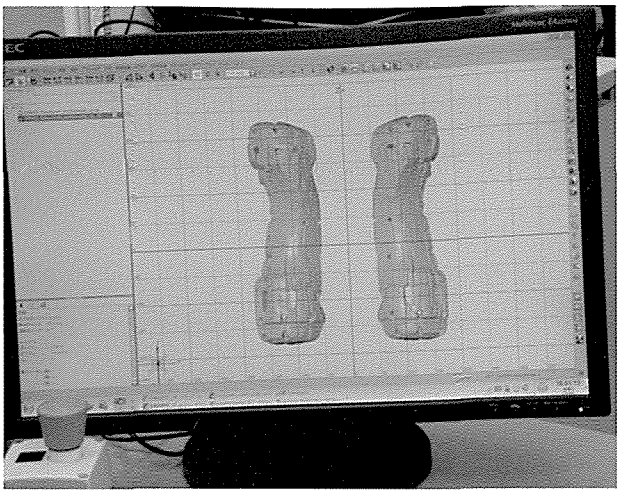
次に居木を寝かせた状態で前後からみると、三日月状を呈し、ちょうど金銅製鞍の磯金具と同様の形状である。この居木先の面だけに黒漆が付着している。また、後輪側の居木先中央には円形の孔が穿ってあり、居木裏面から４×8cm 程度の長方形に彫り込んだ窪みにつき抜けている。しおで金具を通す穴である。同様の居木裏面からの掘り込みは前輪側にも見られる。

居木と鞍橋（くらぼね）（前輪・後輪）との接合の仕方について推察すると、その接する部位が幅 2.5cm ほどで一段低く彫り窪められ、その両側に孔があることから、この段差の部分に鞍橋を置き、それを革紐で結ぶことによって固定したことは確実である。釘ではなく革紐で固定するのは鞍については一般的に見られる。釘を使用すると、柔軟性がなく壊れやすいからである。居木先は鞍橋によって隠されるのではなく、鞍正面に露出する。よって居木先にだけ黒漆が塗布されている。百舌鳥陵南遺跡例や正倉院鞍とは異なった構造である。

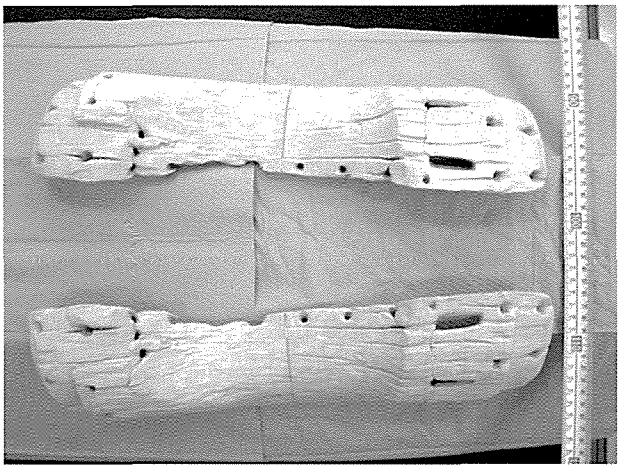
○レプリカ製作

１）居木のＸ線 CT 撮影・原型づくり

居木は PEG 処理法によって保存処理を行った。居木は本来左右一対であるが、片側しか残っていない。そこでコンピュータの画像処理で左右を反転して、もう片方を復元することを考えた。九州国立博物館の協力を得て、Ｘ線 CT スキャナを使用して、居木の３次元計測を行った。それを反転処理してもう片方も復元し、それらの原寸大の石膏レプリカを製作してもらった。小孔や表面の木の割れまで精巧に写し取ったものである。



Ｘ線ＣＴによる反転



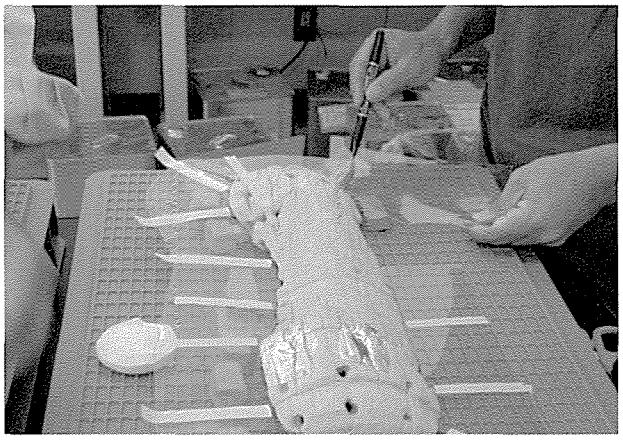
復元した石膏レプリカ

２）居木の型取り

石膏レプリカは壊れやすいので、これを原型として合成樹脂製のレプリカを製作した。まず型取りであるが、遺物表面の凹凸を精巧に転写する素材としてシリコーン樹脂が使用される。シリコーンは２種類の液を混合することで化学反応が起こり、最終的にゴムのような柔らかい固体になる。最初は半液体のため遺物の微細な凹凸に入り込むことができ、転写力に優れている。またシリコーンは他の物質とはくっつかない性質を持つ。そのため離型にも優れる。ただし、土器や木器の場合は表面の微細な空隙にシリコーンが浸みこんで、離型の際に遺物の表面が傷む場合がある。また、金属遺物は、シリコーンの化学反応の際に酸が少量生じるため、変色する可能性がある。これらの遺物のレプリカを製作するときは、事前にすず箔

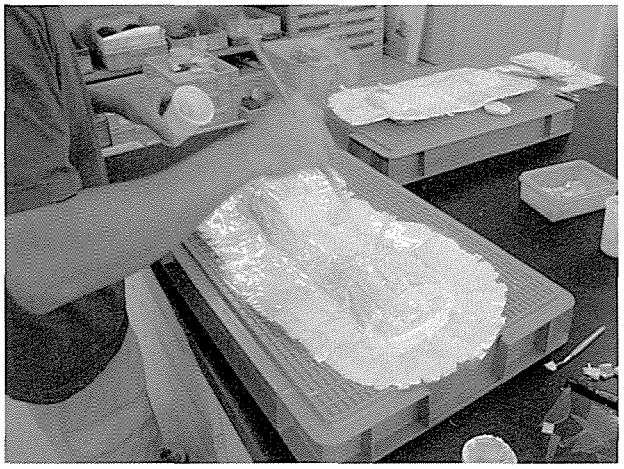
等で表面を覆うなど、養生が必要である。今回はモメンティブ製のシリコーン樹脂TSE350と硬化剤CE621を使用した。

居木は比較的扁平なので、型は上下の２つのパーツに分割することにした。まず居木の側面中ほどにプラスチックの板で分割面を作る。



分割面の設定

次にシリコーン樹脂を石膏レプリカの上に流しかけ、表面全体を確実に覆うように筆で延ばしていく。シリコーンが固まったら、細かく切ったガーゼをその上に置き、さらにその上からシリコーンを流しかけ筆で伸ばす。この作業を３度繰り返す。ガーゼを間に入れるのはシリコーンの膜が破れにくくするためである。



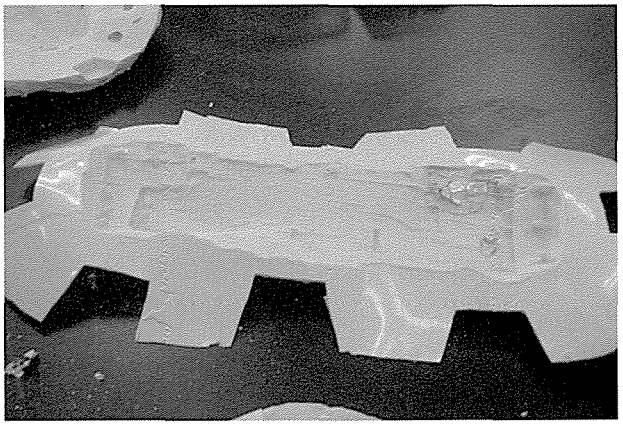
シリコーン樹脂の塗布

シリコーンの膜は薄いので、これだけではレプリカ作製の際に型崩れしてしまう。形状を保持するための土台として、石膏を裏打ちする。石膏には麻糸を混ぜ込んで割れにくいように強化する。翌日、石膏が固まったのを確認して、今度は居木の裏面に同様の処理をする。

分割面のプラスチック板の部分に刃物を入れ、まず石膏を取り外す。次にシリコーンを破れないように注意しながら慎重に剥いでいく。こうして居木の型ができあがった。

出来あがった型を開く

シリコーンを慎重に剥ぐ



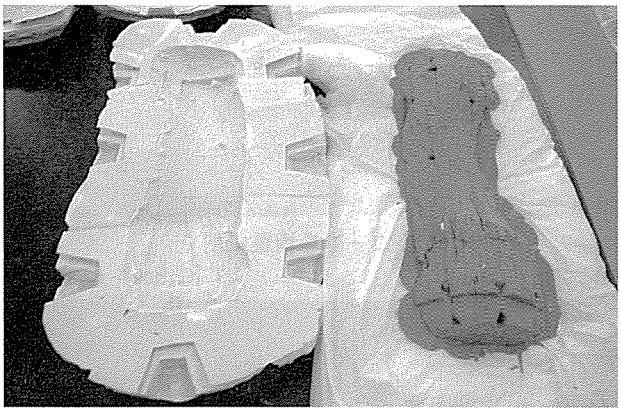
シリコーンの型が完成

いよいよ居木の型取りである。今回はエポキシ樹脂を使用し、人が座れるように繊維強化プラス

チック（FRP）をその内部に埋め込んで強化した。樹脂のかさ増し、粘度の調整のためにタルク、エロジールも混ぜた。上下の型にそれぞれエポキシ樹脂を塗布して固めたあと、最後に合わせ目にパテ状のエポキシ樹脂を塗ってから型を合わせ、C形クランプでしっかりと締めてから固まるのを待つ。翌日、型をはずして、レプリカを取り出した。

型から取り出した居木レプリカはバリをはずし、孔をしっかり穿ったり、欠損部や木の裂け目にエポキシ樹脂を補填・修復して仕上げる。

エポキシ樹脂を塗布



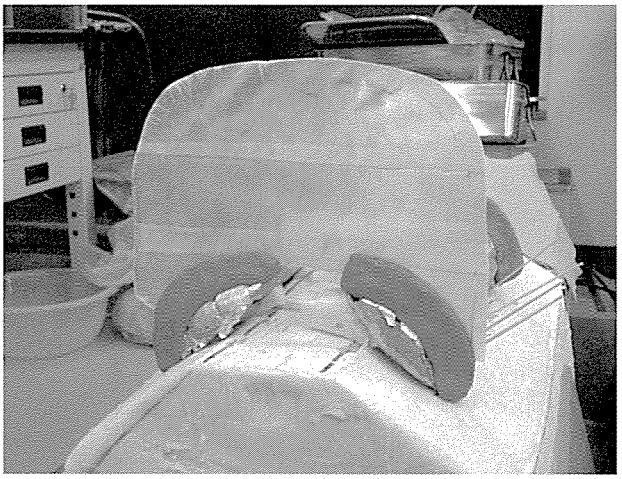
シリコーン型の完成

3）前輪・後輪の製作

前輪・後輪の形態は、金銅装鞍に見られるような古墳時代のものと、正倉院鞍に代表される古代以降のそれ、との間で大きく異なっており、系譜的に断絶があるのではと感じるほどである。正面からみた形は、古墳時代のものが上面から側面にかけてのラインがかまぼこ形を呈するのに対し、古墳時代以降のものは馬膚が長く延び上辺部の幅が狭い、三角おむすび形を呈する。また、横から見ると、古墳時代は後輪も直立する「前・後輪直立鞍」であるのに対して、古代以降は後輪が後方に傾斜する「後輪傾斜鞍」に変化する。また古代の後輪は扁平な板状ではなく、臀部を包むように緩やかな丸みをもつ。

前輪・後輪は残存しないので、類例を参考に復元した。木製の出土品は数が少なく、本例と同様に居木と組合うタイプのものがなかった。そこで居木先が金銅製鞍の磯金具の形態に酷似することから、古墳時代の金銅製鞍を参考にした。ただし、後輪については居木の組み合う部分の段差のラインを真上からみると、やや湾曲し、横から見ると、わずかに後方に傾斜する。よって、古代以降の後方傾斜鞍になると推測した。

出土居木は、居木先にだけに黒漆を塗布している。反面、金銅製鞍では居木先に金銅製磯金具を鋲で留めて装飾している。よって、前輪・後輪は金銅装ではなく、黒漆を塗っただけであっただろう。木製鞍である。



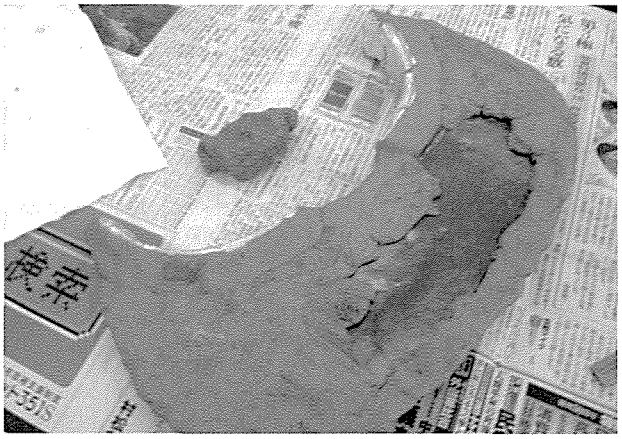
プラ板で形を検討

まず馬の背の形に似せた土台を発泡ウレタンでつくり、そこに居木のレプリカを置いて、居木の傾き・相互の離れ具合を決めた。金銅製鞍の実測図から居木の間隔を類推できると予想し試みたが、金銅製鞍に準ずると、居木の間が開きすぎて全体のバランスが非常に悪い。そこで間隔をひとまわり小さくして、感覚的にちょうどよいと思った位

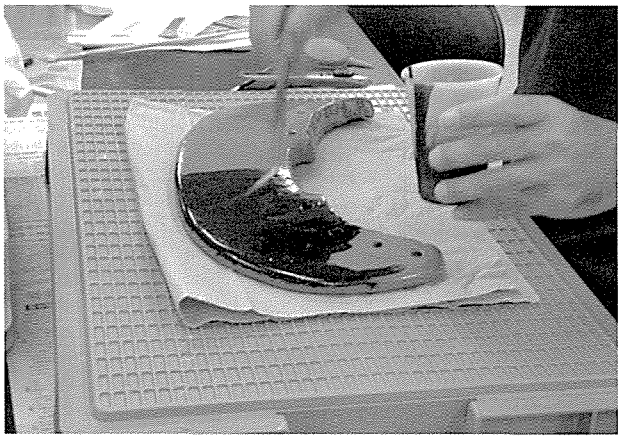
置に決定した。

次に居木レプリカの上にプラスチック板を置いて前輪・後輪のおおまかな大きさ・形状を検討した。その後、そのプラ板にエポキシ樹脂と樹脂粘土を肉付けした。

樹脂粘土が乾燥したあと、余分をナイフで切り落として形を整え、表面をグラインダーのやすりで研磨、革紐を通す穴を開けた。さらに表面にエポキシ樹脂を薄く塗って光沢を出し、黒色顔料を塗って、黒漆の感じを表現した。



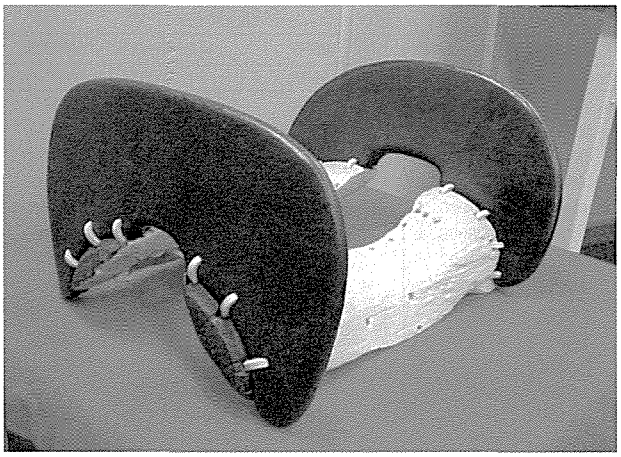
エポキシ樹脂と樹脂粘土で肉付け



黒色顔料を塗り黒漆を表現

4）組み立て

居木と前輪・後輪の固定には革紐を用いた。実際に紐を通してみると、居木裏面の２つの長方形の刳り込みの用途が分かった。紐が緩まないように紐の両端に結ぶ目をつくる。これがちょうどこの刳り込みに収まって都合がよい。この刳り込みがなかったら結び目が馬の背に食い込んで痛いかもしれない。



完成した鞍レプリカ

後輪は後方に傾斜する

復元した木製鞍は、平成２２年度秋の保存処理成果展にて展示を行った。今回の復元作業の結果、元岡出土木製鞍は、基本的に古墳時代的な形態をしているものの、後輪がやや後方に傾斜し、真上から見たとき扁平な板状ではなく若干弧状にカーブする点に、古代の鞍との共通点が見られる（今回のレプリカでは後輪の曲面をうまく表現できなかったが）。年代は古墳時代末の７世紀中頃と考えられている。現在、古墳時代鞍と古代以降の鞍との間の形態的な断絶がみられる。今回の復元が妥当であるならば、この中間をつなぐ形態として注目される。

平成21(2009)年度保存処理金属器一覧

処理番号	遺物番号	資料名	材質	時代	報告書fig.
箱崎６２次(調査番号:０８２５　市報1093集)					
27242	3001	銭貨	青銅	近世	未図化
27243	3002	銭貨	青銅	中世	48-11
27244	3003	銭貨	青銅	近世	未図化
27245	3004	銭貨	青銅	近世	48-5
27246	3005	銭貨	青銅	近世	未図化
27247	3006	銭貨	青銅	近世	未図化
27248	3007	銭貨	青銅	近世	48-8
27249	3008	銭貨	青銅	近世	未図化
27250	3009	銭貨	青銅	近世	未図化
27251	3010	銭貨	青銅	近世	未図化
27252	3011	銭貨	青銅	近世	未図化
27253	3012	銭貨	青銅	近世	49-12
27254	3013	銭貨	青銅	近世	未図化
27255	3014	銭貨	青銅	近世	未図化
27256	3015	銭貨	青銅	近世	未図化
27257	3016	銭貨	青銅	近世	未図化
27258	3017	銭貨	青銅	近世	未図化
27259	3018	銭貨	青銅	近世	未図化
27260	3019	銭貨	青銅	近世	未図化
27261	3020	銭貨	青銅	近世	未図化
27262	3021	銭貨	青銅	近世	未図化
27263	3022	銭貨	青銅	近世	未図化
27264	3023	銭貨	青銅	近世	未図化
27265	3024	銭貨	青銅	近世	未図化
27266	3025	銭貨	青銅	近世	未図化
27267	3026	銭貨	青銅	近世	未図化
27268	3027	銭貨	青銅	近世	未図化
27269	3028	銭貨	青銅	近世	未図化
27270	3029	銭貨	青銅	近世	未図化
27271	3030	銭貨	青銅	近世	未図化
27272	3031	銭貨	青銅	近世	未図化
27273	3032	銭貨	青銅	近世	未図化
27274	3033	銭貨	青銅	近世	49-1
27275	3034	銭貨	青銅	中世	48-9
27276	3035	銭貨	青銅	近世	未図化
27277	3036	銭貨	青銅	近世	未図化
27278	3037	銭貨・毛抜	鉄・青銅	近世	未図化
27279	3038	銭貨・毛抜・櫛	鉄・青銅	近世	未図化
27280	3039	銭貨	青銅	近世	49-2～5
27281	3040	銭貨	青銅	近世	未図化
27282	3041	銭貨	青銅	近世	未図化
27283	3042	銭貨	青銅	近世	未図化
27284	3043	銭貨	青銅	近世	未図化
27285	3044	銭貨	青銅	近世	未図化
27286	3045	銭貨	青銅	近世	未図化
27287	3046	銭貨	青銅	近世	未図化
27288	3047	銭貨	青銅	近世	未図化
27289	3048	銭貨	青銅	中世	48-2
27290	3049	銭貨	青銅	近世	未図化
27291	3050	銭貨	青銅	近世	49-6・7
27292	3051	銭貨	青銅	近世	未図化
27293	3052	銭貨	青銅	中世	48-12
27294	3053	銭貨	青銅	中世	48-4
27295	3054	銭貨	青銅	近世	未図化
27296	3055	銭貨	青銅	近世	49-8～11
27297	3056	銭貨	青銅	中世	48-6
27298	3057	銭貨	青銅	中世	48-3
27299	3058	銭貨	青銅	近世	未図化
27300	3059	銭貨	青銅	中世	48-10
27301	3060	銭貨	青銅	近世	未図化
27302	3061	銭貨	青銅	近世	未図化
27303	3062	銭貨	青銅	近世	未図化
27304	3063	銭貨	青銅	中世	48-7
27305	3064	銭貨・毛抜	鉄・青銅	近世	未図化
27306	3065	銭貨	青銅	近世	48-1
27307	3066	銭貨	青銅	近世	未図化
27308	3067	銭貨	青銅	近世	未図化
27309	3068	銭貨	青銅	近世	未図化
27310	3069	銭貨	青銅	近世	未図化
27311	3070	銭貨	青銅	近世	未図化
27312	3071	銭貨	青銅	近世	未図化
27313	3072	和鋏・毛抜	青銅	近世	未図化
27314	3073	キセル	青銅	近世	未図化
27315	3074	キセル	青銅	近世	未図化
27316	3075	キセル	青銅	近世	未図化
27317	3076	キセル・銭貨	青銅	近世	未図化
27318	3077	和鋏・毛抜・櫛	鉄	近世	46-1
27319	3078	キセル・銭貨	青銅	近世	未図化
27320	3079	キセル	青銅	近世	未図化
27321	3080	キセル	青銅	近世	未図化
27322	3081	銭貨・和鋏・毛抜・櫛	鉄・青銅	近世	45-3
27323	3082	銭貨・毛抜	鉄・青銅	近世	未図化
27324	3083	銭貨・和鋏・毛抜	鉄・青銅	近世	未図化
27325	3084	銭貨・和鋏・毛抜	鉄・青銅	近世	45-7
27326	3085	キセル	青銅	近世	未図化
27327	3086	キセル	青銅	近世	未図化
27328	3087	キセル	青銅	近世	未図化
27329	3088	銭貨・和鋏	鉄・青銅	近世	45-5
27330	3089	銭貨・和鋏	鉄・青銅	近世	未図化
27331	3090	銭貨・毛抜	鉄・青銅	近世	未図化
27332	3091	銭貨・和鋏・毛抜・櫛	鉄・青銅	近世	45-1・2
27333	3092	銭貨・板状鉄製品	鉄・青銅	近世	未図化
27334	3093	銭貨・和鋏・毛抜	鉄・青銅	近世	45-4
27335	3094	銭貨・和鋏	鉄・青銅	近世	未図化
27336	3095	手鏡	青銅	近世	46-4
27337	3096	キセル	青銅	近世	未図化
27338	3097	銭貨・和鋏・櫛	鉄・青銅	近世	未図化
27339	3098	銭貨	青銅	近世	未図化
27340	3099	キセル	青銅	近世	未図化
27341	3100	キセル	青銅	近世	未図化
27342	3101	銭貨	青銅	近世	47-3・4
27343	3102	銭貨・キセル・和鋏など	鉄・青銅	近世	47-1
27344	3103	銭貨・和鋏・毛抜・櫛	鉄・青銅	近世	45-6
27345	3104	キセル	青銅	近世	未図化
27346	3105	キセル	青銅	近世	未図化
27347	3106	針金状	青銅	近世	未図化
27348	3107	鈴	青銅	近世	46-2
27349	3108	針金状	青銅	近世	未図化
27350	3109	銅鉦	青銅	近世	46-3
27351	3110	針金状	青銅	近世	未図化
27352	3111	一銭銅貨	青銅	近世	未図化
27353	3112	不動明王像	青銅	近世	未図化
27354	3113	玉	ガラス	近世	50-1
27355	3114	玉	ガラス	近世	50-2
27356	3115	玉	ガラス	近世	50-3
27357	3116	玉	ガラス	近世	50-4
27358	3122	キセル	青銅	近世	47-2
27359	3123	銭貨	青銅	近世	未図化
27360	4025	和鋏	鉄	近世	未図化
27361	4031	和鋏	鉄	近世	未図化
27362	4074	和鋏	鉄	近世	未図化
27363	4077	不明	鉄	近世	未図化
27364	4091	和鋏・毛抜	鉄	近世	未図化
27365	4098	不明	鉄	近世	未図化
27366	4104	毛抜	鉄	近世	未図化
27367	4105	和鋏	鉄	近世	未図化
27368	4102	和鋏・櫛	鉄	近世	未図化
27369	4110	不明	鉄	近世	未図化
27370	4124	和鋏・櫛	鉄	近世	未図化
27371	4137	毛抜・釘	鉄	近世	未図化
27372	4147	和鋏	鉄	近世	未図化
27373	4148	和鋏	鉄	近世	未図化
27374	4152	銭貨・和鋏・毛抜・櫛	鉄・青銅	近世	未図化
27375	4155	釘	鉄	近世	未図化
27376	4167	不明	鉄	近世	未図化
27377	4168	釘	鉄	近世	未図化
27378	4171	和鋏・釘	鉄	近世	未図化
博多１８２次(調査番号:０８１２　市報1087集)					
27379	20003	箸か	鉄	中世	21-206
27380	20002	鎌	鉄	中世	21-205
27381	20001	鎌	鉄	中世	21-204
27382	20007	銭貨（永楽通寶）	青銅	中世	22-210
27383	20005	銭貨（皇宋通寶）	青銅	中世	22-208

処理番号	遺物番号	資料名	材質	時代	報告書fig.
27384	20008	銭貨（永楽通寶）	青銅	中世	22-211
27385	20009	銭貨	青銅	中世	未図化
27386	20004	銭貨（開元通寶）	青銅	中世	22-207
27387	20006	銭貨（□元□寶）	青銅	中世	22-209
有田１３７次（調査番号：８８３４　未報告）					
27388		盤状	鉄		未報告
千里１次（調査番号：０９１３　未報告）					
27389		鈴	青銅	古代	未報告
箱崎６３次（調査番号：０８２６　市報1094集）					
27390	5	銭貨（至道元寶）	青銅	中世	5-5
27391	18	銭貨（唐国通寶）	青銅	中世	7-18
27392	19	銭貨（政和通寶）	青銅	中世	7-19
27393	193	銭貨（嘉□□□）	青銅	中世	25-193
27394	137	銭貨（永楽通寶）	青銅	中世	22-137
27395	514	銭貨（嘉祐元寶）	青銅	中世	38-514
27396	513	銭貨（至和通寶）	青銅	中世	38-513
27397	519	銭貨（元豊通寶）	青銅	中世	38-519
27398	525	銭貨	青銅	中世	未図化
27399	511	銭貨（皇宋通寶）	青銅	中世	38-511
27400	521	銭貨（紹聖元寶）	青銅	中世	38-521
博多１８７次（調査番号：０８４７　市報1091集）					
27401		銭貨（皇宋通寶）	青銅	中世	未図化
27402		銭貨（き寧元寶）	青銅	中世	未図化
27403		銭貨（元豊通寶）	青銅	中世	未図化
27404		銭貨（元豊通寶）	青銅	中世	未図化
27405		銭貨（紹聖元寶）	青銅	中世	未図化
27406		銭貨（元符通寶）	青銅	中世	未図化
27407		銭貨	青銅	中世	未図化
27408		銭貨（□□□寶）	青銅	中世	未図化
27409		銭貨（宣和通寶）	青銅	中世	未図化
27410		銭貨	青銅	中世	未図化
27411		銭貨（寛永通寶）	青銅	近世	未図化
27412		銭貨	青銅	近世	未図化
27413		銭貨	青銅	近世	未図化
27414		銭貨	青銅	近世	未図化
27415		銭貨	青銅	近世	未図化
27416		キセル	青銅	近世	未図化
箱崎６１次（調査番号：０８１１　市報1092集）					
27417	1004	銭貨（祥符通寶）	青銅	中世	27-282
27418	1002	銭貨（元祐通寶）	青銅	中世	27-280
27419	1003	銭貨（元豊通寶）	青銅	中世	27-281
27420	1001	銭貨（至道元寶）	青銅	中世	27-279
27421	1005	銭貨（元祐通寶）	青銅	中世	27-283
27422	1006	銭貨（寛永通宝）	青銅	近世	27-284
27423	1007	銭貨（寛永通宝）	青銅	近世	27-285
27424		鉄片	鉄	中世	未図化
27425		鉄片	鉄	中世	未図化
27426		鉄片	鉄	中世	未図化
27427	1008	紡錘車	鉄	中世	27-278
都地８次（調査番号：０８２４　市報1100集）					
27428		銭貨（寛永通寶）	青銅	近世	8-15
四箇古川４次（調査番号：０８４３　市報1077集）					
27429		不明	鉄		未図化
27430		釘	鉄		未図化
27431		板状	鉄		未図化
27432		不明	鉄		未図化
鴻臚館23次（調査番号：０５０２　市報1022集）					
27433	60009	小札	鉄		未図化
27434	60010	小札	鉄		未図化
博多１８０次（調査番号：０７５４　市報1045集）					
27435	481	ボタン状銅製品	青銅	中世	Ph38-271
27436	486	銭貨（太平通寶）	青銅	中世	Ph54-402
27437	488	銭貨（洪武通寶）	青銅	中世	未図化
27438	496	銭貨（皇宋通寶）	青銅	中世	Ph10-48
27439	497	銭貨（政和通寶）	青銅	中世	Ph10-49
27440	498	銭貨（き寧元寶）	青銅	中世	未図化
27441	502	銭貨（元豊通寶）	青銅	中世	未図化
27442	504	銭貨（崇寧重寶）	青銅	中世	Ph14-83
27443	515	巡方	青銅	古代	Ph57-453
27444	518	ベルトの留め金？	青銅	古代	Ph62-484
27445	520	銭貨（元豊通寶）	青銅	中世	未図化
27446	521	銭貨（咸淳元寶）	青銅	中世	未図化

処理番号	遺物番号	資料名	材質	時代	報告書fig.
羽根戸古墳群Ｎ群（調査番号：８５２９　市報180集）					
27447	0122	雲珠	鉄	古墳	未図化
27448	0124	馬具（金具）	鉄	古墳	未図化
27449	0126	鏃	鉄	古墳	未図化
27450	0131	雲珠	鉄	古墳	未図化
27451	0135	しおで金具	鉄	古墳	未図化
27452	0138	しおで金具	鉄	古墳	未図化
27453	0141	鉸具	鉄	古墳	未図化
27454	0142	しおで金具	鉄	古墳	未図化
27455	0144	馬具（金具）	鉄	古墳	未図化
27456	0146	馬具（金具）	鉄	古墳	未図化
27457	0152	馬具（金具）	鉄	古墳	未図化
27458	0155	刀子	鉄	古墳	未図化
27459	0158	馬具（金具）	鉄	古墳	未図化
27460	0160	馬具（金具）	鉄	古墳	未図化
27461	0162	轡	鉄	古墳	未図化
27462	0163	馬具（金具）	鉄	古墳	未図化
27463	0175	鉸具	鉄	古墳	未図化
27464	0118	鏃	鉄	古墳	未図化
27465	0120	刀子	鉄	古墳	未図化
27466	0120	引き手金具	鉄	古墳	未図化
27467	0120	轡	鉄	古墳	未図化
27468	0123	大刀	鉄	古墳	未図化
27469	0125	轡	鉄	古墳	未図化
27470	0136	馬具	鉄	古墳	未図化
27471	0140	しおで金具片	鉄	古墳	未図化
27472	0154	馬具	鉄	古墳	未図化
27473	0156	鉸具	鉄	古墳	未図化
27474	0520	不明	鉄	古墳	42-2
27475	0522	刀装具	鉄	古墳	42-1
27476	0638	刀子	鉄	古墳	50
27477	0874	鍛造鉄斧	鉄	古墳	未図化
27478	0927	轡	鉄	古墳	62-1
27479	0928	しおで金具	鉄	古墳	62-2
27480	0929	しおで金具	鉄	古墳	62-3
27481	0931	轡	鉄	古墳	未図化
27482	0932	鏃	鉄	古墳	未図化
27483	0933	鏃	鉄	古墳	未図化
27484	0934	刀子ほか	鉄	古墳	未図化
27485	0935	刀	鉄	古墳	未図化
27486	0928・0929	鐙金具	鉄	古墳	62-2・3
27487	1031	鏃	鉄	古墳	未図化
27488	1032	鏃	鉄	古墳	未図化

博多遺跡群第172次調査出土のガラス・ガラス製作関連遺物について

1．はじめに

博多遺跡群では、これまでに約90の調査地点から、古墳時代～近代以降の資料を含む約1100点のガラス関連資料が出土している。これらのガラス関連資料には、共伴遺物や坩堝として使用されている中国製無釉陶器の年代観から、12～13世紀代と比定されるものが含まれており、それらの材質については分析の結果、カリウム鉛ガラスが多く含まれていることが判明している〔比佐2008、比佐2009〕。

博多遺跡群から出土したガラス関連資料には、製品だけでなく、未製品やガラスの付着した坩堝と考えられるものも多く、当地でガラスの溶融と製品加工がおこなわれたことが指摘されている〔比佐2008〕。

2007年に発掘調査がおこなわれた博多区冷泉町に位置する博多遺跡群第172次調査地点では、近年の博多遺跡群発掘調査の中では、調査面積が広域であったこともあってか、ガラス製品やガラス製作関連遺物の出土が多い点が特徴としてあげられる。ガラスの製作に関連するような遺構は発見されなかったが、ガラス製品や未製品、坩堝、ガラスの滓などは300点以上出土しており、そのうちの118点については図化されており、福岡市埋蔵文化財センターで蛍光X線分析装置を使用した材質調査がおこなわれ、報告されている〔池崎・本田編2010〕。

本次調査での多量のガラス製品・ガラス製作関連遺物の出土から、調査地点周辺でガラスの生産が行われた可能性が強く指摘でき、中世の博多遺跡群でのガラス生産を考えるにあたって、今後重要な役割を果たすものと考える。

本稿では、博多遺跡群におけるガラス関連資料の蓄積を目的に、未図化資料の材質分析も含めて、再度博多遺跡群第172次調査出土のガラス製品・ガラス製作関連資料の調査をおこない、遺物の概要と材質調査の結果をまとめた。なお、既に報告書に掲載された図化資料についても、再度その調査成果を掲載した。また、資料中には、鉄滓なども一部に含まれていたが、それらについても、表に掲載している。

2．資料の分析

これまで福岡市埋蔵文化財センターでは、ガラス製品や金属製品などを中心に、エネルギー分散型蛍光X線分析装置を使用した材質調査をおこなっており、成果をあげている〔比佐ほか2003など〕。博多172次調査出土のガラス関連資料についても、この装置を使用した図化資料の材質を分析しており、今回の追加調査についても同じ装置を使用しておこなった[1]。

発掘調査報告書には90点のガラス製品・未製品、28点の坩堝が掲載され、そのうち6点を除いた112点の材質分析をおこなった。その結果、一部の石英や陶磁器片、ソーダ石灰ガラスやカリ石灰ガラスと思われる新しい時期のガラス以外は、カリウム鉛ガラスと呼ばれるガラスの一種であると推測される元素を検出した〔池崎・本田編2010〕。今回の追加調査では、未図化資料約100点の分析をおこなった。ガラス関連資料と思われる資料の中には、鉄滓などの別の生産関係の遺物も混在しており、それらについては、肉眼観察で明らかにガラス関連資料ではないものを除外し、種別が不明な資料については分析をおこなってその材質を検討した。

分析の結果、鉄滓や鉛の塊、陶磁器片なども含まれていたが、ガラスに関しては、一部近代のものと思われるソーダ石灰ガラスもみられたもののその主体は先の調査同様、カリウム鉛ガラスと思われる資料で占められていることが分かった。

カリウム鉛ガラス（K_2O-PbO-SiO_2）は、中国宋代に開発されたガラスの一種で、日本では平安時代が初現であり、江戸時代まで用いられたことが確認されている〔肥塚1999、比佐2008〕。博

多遺跡群出土のガラス関連資料の時期については先述したが、共伴遺物の年代観や坩堝として使用された無釉陶器の時期から12世紀～13世紀に該当すると考えられている〔比佐2008、比佐2009〕。その製作については、博多遺跡群ではガラス生産に関する遺構が検出されていない点から、ガラス自体の製作ではなく、ガラスの再溶融と製品への加工である可能性が指摘されている。

以下にガラス製品・未製品と坩堝・その他のガラス製作関連遺物に大別して、博多遺跡群第172次調査出土のガラス製品・ガラス製作関連遺物の特徴をまとめる。

（1）ガラス製品・未製品

博多遺跡群第172次調査では、玉・棒状・璧状・おはじき状・容器状・塊状など多様な形態のガラスが出土している。その中で特に玉類の出土が多い。玉類は、径5㎜～10㎜未満の小玉、10㎜以上～15㎜程度の大型の丸玉のほか、平玉や蜜柑玉、大型の玉に小型の玉を融着させたものなどが出土している。小玉や丸玉は側面観が真球に近いもののほか、扁球形、潰れた滴下状を呈するものがあり、扁球形と潰れた滴下状のものが多い。潰れた滴下状の玉は厚みが一定でなく台形様で、孔を中心に渦巻くような段差または気泡筋が入り、孔部周辺にバリや突起がのこっている。連玉状の資料も同様の特徴を持つものが見られる点から、芯に連続して熔けたガラスを巻きつけて連玉をつくり、分割して小玉を製作していた可能性が考えられる。台形様の潰れた滴下状の玉や表面の段差は、連玉製作時の巻きつけをおこなった際の痕跡であると思われる。本次調査では2連～7連の連玉が出土している。

玉類以外の形状のガラスは、玉類に比較して出土点数が少ない。棒状資料は、断面円形や楕円形の直線的に伸びるものや、断面三角形状の屈曲するもの、直線的に伸びるが途中から細くすぼむものが見られる。途中から細くすぼむ棒状のガラスの中には、太い部分に途中まで孔が見られるものがあり、これらの資料は、巻き付け技法による玉の製作時の素材片である可能性が考えられる。円盤状のガラスは、これまでの博多遺跡群の発掘調査でも出土しており、本次調査でも璧状やおはじき状のものが出土している。特に璧状ガラスについては、宋人とのかかわりが指摘されており、今後もその出土は注目されるであろう〔佐藤2008、比佐2010〕。

容器などの用途をもつ可能性がある薄手の破片資料も多く見られる。いずれも厚みが1、2mm程度の薄い小片・細片が多く、厚手の破片や容器と断定できるような大型の破片は出土していない。しかしながら、口縁端部と思われる破片や小型容器の蓋が数点出土している。蓋は、巻き付け技法によって受け部をつくり、頂部につまみを有するタイプで、このような形態の小型容器の蓋は、博多遺跡群では、79次、85次、115次、118次調査で発見されており、徐々に出土事例が増えている。小型容器の蓋は、2点が報告書で図化報告されているが、このほかにも蓋の破片である可能性の高い資料を見つけることができた。蓋の色調は、透明な緑色、乳白色や薄緑色のものが多いが、未図化の蓋の破片は透明度の高い淡青色で色調が異なっていた。しかし、分析の結果、この資料もカリウム鉛ガラスであると判断できる結果であった。

（2）坩堝・その他のガラス製作関連遺物

博多遺跡群出土のガラス坩堝は、壺形のものが使用されており、その中で中国製陶器の水注を転用したⅠ類と、器壁が厚く粗製の把手や注口のないⅡ類に大きく分類でき、両者は同時期に混在して使用されたと考えられている〔比佐2008〕。博多遺跡群第172次調査では、坩堝片が約160点含まれており、部位ごとに口縁部片16点、頸部片17点、胴部片76点、底部片15点、分類不能の小片37点に分類でき、底部片の点数から10点以上の完形の坩堝が存在していたものと想定できる。

坩堝片を観察すると、薄手のものが主体で、全体像が復元できる資料については、把手や注口があり、大部分が中国製無釉盤口水注と呼ばれるⅠ-a型式で占められることが判明しており、未図化資料についても図化資料と同様に中国製無釉盤口水柱を転用している状況であるようである〔池崎・本田編2010〕。今回、未図化資料を観察する中で、黒色の釉薬が施された陶器の口縁部片や土師皿片に緑色ガラスが厚く付着した資料も発見でき、中国製無釉盤口水注以外の器種についても坩堝ないし取瓶などとして使用された可能性も指摘できる。

博多遺跡群172次調査地点からは、ガラス滓のような資料も出土している。透明度の低い緑色の1～2cm熔け固まったガラス粒と焼土塊も出土している。焼土塊は幅約10cm、厚さ5～7cmほどで、硬化しており、表面や内部に緑色ガラスが付着している。付着したガラスも蛍光X線分析をおこなったところ、カリウム鉛ガラスのチャートと類似する結果であった。高温の熱を受けている点から、ガラスの溶融に関係した資料であるようで、生産遺構を推定する上で重要な資料になるものと思われる。

3．まとめ

博多遺跡群第172次調査から出土したガラス製品・ガラス製作関連遺物について未図化資料を中心に再度、資料の概要についてまとめた。

一部に近代の遺物が含まれているものの、未図化資料についてもその多くは、博多遺跡群で最も出土するカリウム鉛ガラスである結果となった。

資料には、溶融したガラスを含む焦土塊など、これまでの調査であまり注目されていなかった生産残滓と思われる資料も新たに発見されており、今後、資料の検討をさらにおこなうことで、これらの資料と博多遺跡群におけるガラス生産についてより明らかになるものと思われる。

1）エダックス社製エネルギー分散型蛍光X線分析装置（Eagle μprobe／対陰極：モリブデン（Mo）／検出器：半導体検出器／印加電圧：20kV・電流値400～805μA／測定雰囲気：真空／測定範囲0.3mmφ／測定時間120秒）。なお、今回の分析も非破壊の定性分析をおこなった。分析は全ての資料を対象におこないたかったが、大型品や、厚みの差が著しい資料に関しては、資料室の構造上、調査が困難であったため、分析できなかった。

【参考文献】

肥塚隆保　1999「ガラスの調査研究」
『日本の美術』No.400　至文堂

比佐陽一郎　2009「博多遺跡群161次調査で出土したガラス資料と156次調査出土の権について」
『博多126－博多遺跡群第161次調査報告－』
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1038集　福岡市教育委員会

比佐陽一郎　2008「ガラス」
『中世都市博多を掘る』　海鳥社

比佐陽一郎・片多雅樹　2003「今宿遺跡3次調査出土ガラス小玉の保存科学的調査」
『今宿遺跡2－第3次調査の概要－』
福岡市埋蔵文化財調査報告書第738集　福岡市教育委員会

佐藤一郎　2008「博多居留宋人が遺したもの」
『福岡市博物館研究紀要』第18号　福岡市博物館

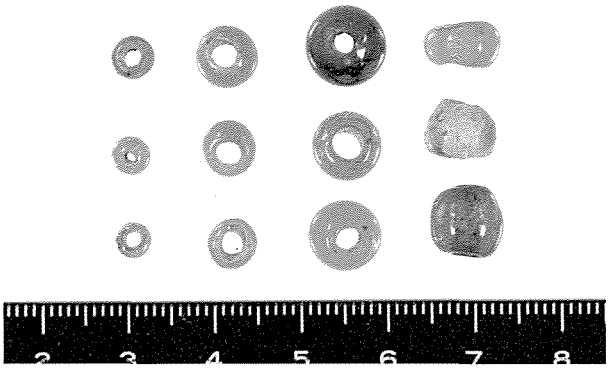
池崎譲二・本田浩二郎編　2010
『博多135－博多遺跡群第172次調査報告－』
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1086集　福岡市教育委員会

遺物番号	報告書 Fig.	出土地点 註記	資料名	ガラス	坩堝	坩堝部位 口縁部	頸部	胴部	底部	小片	その他	色調	種別
00638	56-30	A2区SK168	坩堝	0	1	0	0	0	0	0	0		未分析
90001	282-1	A1区2面No.1 S32	丸玉（装飾付）	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明	カリウム鉛ガラス
90002	282-2	A1区2面No.3 P301	容器　蓋	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色半透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90003	282-3	A1区2面No.3　遺構検出	不明装飾	0	0	0	0	0	0	0	1	白色	磁器？
90004	282-4	A1区2面 SK303	容器　蓋	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
90005	282-5	A1区2面 SD254	円盤（おはじき状）	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色～白色	カリウム鉛ガラス
90006	282-6	A2区攪乱42	円盤（璧状）	1	0	0	0	0	0	0	0	青色-半透明　一部白色	カリウム鉛ガラス？
90007	282-7	A区攪乱31	不明塊	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明	ソーダ石灰ガラス
90008	282-8	A1区2面No.3	未製品？（棒状）	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90009	282-9	A区2面No.4 SK368	円盤（おはじき状）	1	0	0	0	0	0	0	0	白色	カリウム鉛ガラス
90010	282-10	A1区2面No.3 SD240	棒状（素材？）	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-不透明	カリウム鉛ガラス
90011	282-11	A1区2面 SD240	棒状（素材？）	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90012	282-12	A区攪乱13	球状	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明	ソーダ石灰ガラス
90013	282-13	A区北東トレンチ	不明塊	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明	ソーダ石灰ガラス
90014	282-14	A区4面No.1	連玉（3ヶ）	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90015	282-15	A区2面No.3 S362	連玉（7ヶ）	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-不透明	カリウム鉛ガラス
90016	282-16	A1区2面No.1 SD264	連玉（3ヶ）	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90017	282-17	A1区2面No.1 SD264	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90018	282-18	A1区2面No.1 SD264	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90019	282-19	A1区2面No.1 SK312	連玉（4ヶ）	2	0	0	0	0	0	0	0	白色　灰色	カリウム鉛ガラス
90020	282-20	A1区2面No.1 SK312	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	白色　灰色	未分析
90021	282-21	A区3面No.2 SK388	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90022	282-22	A2区2面No.6	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
90023	282-23	A1-2面No.1	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明	カリウム鉛ガラス
90024	282-29	A2・3面No.15	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-不透明	カリウム鉛ガラス
90025	282-25	A1区2面	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	白色	カリウム鉛ガラス
90026	282-26	A区4面No.1（No.2）	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明	カリウム鉛ガラス
90027	282-27	A1区2面No.3　遺構検出	小玉片	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-不透明　一部灰色	カリウム鉛ガラス
90028	282-28	A2区2面No.5 SK265	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明	カリウム鉛ガラス
90029	282-24	A1・2面SK134南脇	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-不透明	カリウム鉛ガラス
90030	282-30	A区2面No.3 S362	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-不透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90031	282-31	A区2面No.3 P301	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	白色	カリウム鉛ガラス
90032	282-32	A区排土	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90033	282-33	A1区2面No.1 SD264	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	白色	カリウム鉛ガラス
90034	282-34	A区埋甕5掘り方	小玉片	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
90035	282-35	A区2面No.2 S364	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-不透明	カリウム鉛ガラス
90036	282-36	A1区2面No.11	小玉片	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-不透明	カリウム鉛ガラス
90037	282-37	A区2面No.4 SK368	小玉片	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-不透明　白色	カリウム鉛ガラス
90038	282-38	B区2面No.2　P462	連玉(2ヶ)	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-透明	カリウム鉛ガラス
90039	282-39	B区2面No.1 SD007SX409脇	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
90040	282-40	B区2面No.1 SD007SX409脇	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
90041	282-41	B区2面No.3	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	白色　一部黒色	カリウム鉛ガラス
90042	282-42	B区1面No.1 P388	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
90043	282-43	B区2面No.1	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	白色	カリウム鉛ガラス
90044	282-45	B区1面No.2 P462	連玉（2ヶ）	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-不透明	カリウム鉛ガラス
90045	282-44	B区2面No.2 SD379	小玉片	2	0	0	0	0	0	0	0	白色	カリウム鉛ガラス
90046	282-46	B区3面No.1	棒状	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
90047	282-47	B区2面No.3 SD007	円盤（璧状）	1	0	0	0	0	0	0	0	白色	カリウム鉛ガラス
90048	284-91	A1区2面SK224土師溜り	坩堝　肩部片	0	1	0	1	0	0	0	0	緑色-半透明　白色	未分析
90049	284-98	A区3面No.12 SD213	坩堝　口縁部片	0	1	1	0	0	0	0	0	白色	カリウム鉛ガラス
90050	284-93	A2区SK147	坩堝　胴部片	0	1	0	0	1	0	0	0	緑色-透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90051	284-94	A区2面No.3 S274	坩堝　底部片	0	1	0	0	0	1	0	0	緑色-透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90052	284-95	A1区2面No.1	坩堝　胴部片	0	1	0	0	1	0	0	0	緑色-透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90053	284-96	A1区2面No.1	坩堝　胴部片	0	1	0	0	1	0	0	0	緑色-半透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90054	284-97	A1区2面No.1	坩堝　胴部片	0	1	0	0	1	0	0	0	緑色-半透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90055	284-92	A2区2面No.14 遺構検出	坩堝　底部片（土師）	0	1	0	0	0	1	0	0	緑色-不透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90056	未図化	A区墓2	小玉	3	0	0	0	0	0	0	3	透明　一部白色、橙色	ソーダ石灰ガラス
90057	未図化	A1面SD-099	鉄滓？ガラス質	0	0	0	0	0	0	0	1	灰色、暗緑色	鉄滓
90058	未図化	A2区SK113　攪乱1面	ガラス滓、不明	1	0	0	0	0	0	0	1	緑色-不透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90059	未図化	A1面SK129	小玉	2	0	0	0	0	0	0	0	緑色-不透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90060	未図化	A1区SK135土師器溜り	ガラスの滓か？ガラス片	2	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90061	未図化	A2区2面SK135	坩堝　小片	0	7	0	0	0	0	7	0	白色-光沢	カリウム鉛ガラス
90062	未図化	A2区SK147	ガラス片 坩堝胴・小片	2	3	0	0	1	0	2	0	緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
90063	未図化	A2SE149(井)掘方	容器片？	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90064	未図化	A2面SE160本体	容器片？	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90065	未図化	A1区2面SK162	坩堝　胴部片	0	1	0	0	1	0	0	0	白色-光沢	カリウム鉛ガラス
90066	未図化	A2区2面No.7　SK180	坩堝　胴部片	0	1	0	1	0	0	0	0	淡緑色-不透明　白色光沢	カリウム鉛ガラス
90067	未図化	A2面SD212ベルトNo.12	坩堝　底部付近	0	1	0	0	1	0	0	0	緑色-透明　一部白色、褐色	カリウム鉛ガラス
90068	未図化	A2区2面SD213　No.13	坩堝　胴部片	0	1	0	0	1	0	0	0	白色　灰色	カリウム鉛ガラス
90069	未図化	A1区2面SD235	ガラス片	1	0	0	0	0	0	0	0	薄緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
90070	未図化	SD240　上面	棒状	1	0	0	0	0	0	0	0	薄緑色-半透明、一部白色	カリウム鉛ガラス
90071	未図化	A1区2面SK241	引き伸ばしの玉？	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90072	未図化	A1区2面SD254	小玉片	0	0	0	0	0	0	0	2	白色-不透明	不明
90073	未図化	A1区2面No.1 SD264	鉄滓？	0	0	0	0	0	0	0	1	黒色-光沢	鉄滓
90074	未図化	A2区2面SE283掘方	ガラス丸玉片	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明	カリウム鉛ガラス
90075	未図化	A1区2面No.11SK303	ガラスの滓？塊	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明、灰褐色-不透明	カリウム鉛ガラス
90076	未図化	A1区2面No.1　SK310	坩堝　胴部片	0	5	0	0	3	0	2	1	緑色-透明	カリウム鉛ガラス
90077	未図化	A1区2面SK312	ガラス片、不明品	1	0	0	0	0	0	0	1	緑色－透明、灰色－不透明	カリウム鉛ガラス
90078	未図化	A1区2面SK316No.1	坩堝　胴部片	0	1	0	0	1	0	0	0	緑色-透明	カリウム鉛ガラス
90079	未図化	A1区2面No.1　SK317	坩堝　胴部片？	0	6	0	0	0	0	6	0	緑色-透明　一部白色	カリウム鉛ガラス

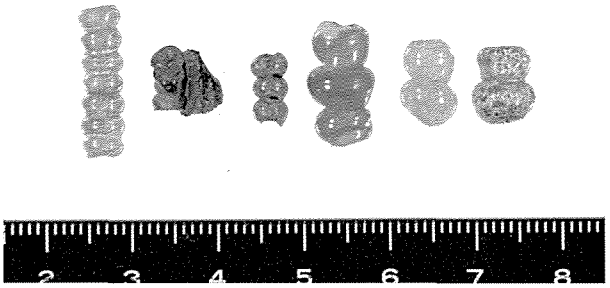
遺物番号	報告書Fig.	出土地点 註記	資料名	ガラス	坩堝	坩堝部位 口縁部	頸部	胴部	底部	小片	その他	色調	種別
90080	未図化	A区2面SK331	小玉、坩堝　胴部片	1	1	0	0	0	0	1	0	小玉･･･灰色-不透明/坩堝･･･薄緑色･･･不透明・白色	カリウム鉛ガラス
90081	未図化	B区2面No.2 SD379 SX-384	礫？滓？	0	0	0	0	0	0	0	1	白色　一部黒色	礫の可能性
90082	未図化	A3区No.2　SE397	ガラス片	2	0	0	0	0	0	0	0	薄緑色-半透明、茶色-半透明	カリウム鉛ガラス
90083	未図化	A区3面No.1 SK404	ガラス片	1	0	0	0	0	0	0	0	青緑色-透明	カリウム鉛ガラス
90084	未図化	B区3面4面混SK458No.2	坩堝　口縁部片	0	1	1	0	0	0	0	0	白色-不透明	カリウム鉛ガラス
90085	未図化	A3面No.11SE469堀片	坩堝　胴部片	0	1	0	0	1	0	0	0	白色-不透明	カリウム鉛ガラス
90086	未図化	B区4面No.1　SK532	坩堝　胴部片	0	1	0	0	1	0	0	0	白色	カリウム鉛ガラス
90087	未図化	A区1面P-141	坩堝　小片	0	1	0	0	0	0	1	0	橙色	カリウム鉛ガラス
90088	未図化	A区2面No.3　P-245	坩堝　小片	0	1	0	0	1	0	0	0	白色-不透明	カリウム鉛ガラス
90089	未図化	A区2面P-413	鉄滓？	0	0	0	0	0	0	0	1	灰色　黒色　乳白色	未分析
90090	未図化	B区1面No.4	坩堝　小片	0	1	0	0	1	0	0	0	灰色、黄褐色	カリウム鉛ガラス
90091	未図化	A1区2面　No.1	坩堝　胴部片	0	2	0	0	2	0	0	0	淡緑色-不透明　一部灰色	カリウム鉛ガラス
90092	未図化	A1区2面No.10遺跡No.1	塊状ガラス片	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90093	未図化	A1区2面　No.11	棒状3本熔着	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-不透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
90094	未図化	A1区2面遺構検出No.2	坩堝　胴部片	0	3	0	0	3	0	0	0	緑色-半透明　白色	カリウム鉛ガラス
90095	未図化	A1区2面遺構検出No.4	坩堝　胴部片	0	1	0	1	0	0	0	0	淡緑色-不透明　白色	カリウム鉛ガラス
90096	未図化	A1区2面遺構検出No.5	坩堝　胴部、底部片	0	6	0	0	4	2	0	0	灰橙色-不透明	カリウム鉛ガラス
90097	未図化	A1区2面遺構検出No.10	ガラス片	1	0	0	0	0	0	0	0	青色-不透明　一部白色 内面　銅色光沢	カリウム鉛ガラス
90098	未図化	A1区2面遺構検出No.12	滓？	0	0	0	0	0	0	0	1	黒色-光沢	未分析
90099	未図化	A2区2面No.5遺構検出	ガラスの滓？　坩堝頸部片	1	6	1	1	1	0	3	0	灰橙色-不透明	カリウム鉛ガラス
90100	未図化	A2区2面No.6遺構検出	坩堝　胴部片	0	2	0	0	2	0	0	0	灰橙色-不透明、淡緑色ー不透明　白色	カリウム鉛ガラス
90101	未図化	A2区2面以降検出	坩堝　胴部片	0	2	0	0	2	0	0	0	灰橙色-不透明	カリウム鉛ガラス
90102	未図化	A区撹乱2	容器片？	1	0	0	0	0	0	0	0	灰緑色-半透明　一部白色	ソーダ石灰ガラス？
90103	未図化	A区撹乱34	鉄滓？	0	0	0	0	0	0	0	1	黒色-光沢、赤褐色	未分析
90104	未図化	A区撹乱43	鉄滓？	0	0	0	0	0	0	0	1	濃緑色、黒色	未分析
90105	未図化	A2区1面　撹乱45	容器　蓋？	1	0	0	0	0	0	0	0	淡青色-透明	カリウム鉛ガラス
90106	未図化	A1区拡張部　掘り下げ	ガラス玉　ビー玉？	1	0	0	0	0	0	0	0	黄緑色透明	ソーダ石灰ガラス
90107	未図化	A区排土	ガラス片	1	0	0	0	0	0	0	0	青緑色-透明	カリウム鉛ガラス
90108	未図化		容器　小玉	4	0	0	0	0	0	0	0	容器･･･淡緑色ー透明、透明 小玉･･･透明	カリウム鉛ガラス
98001	283-48	C区SK311	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
98002	283-49	C区2面下掘り下げ	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
98003	283-50	C区SK598	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-透明	カリウム鉛ガラス
98004	283-51	C区1面下掘り下げ	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
98005	283-56	C区SK781	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明	カリウム鉛ガラス
98006	283-57	C区1面下掘り下げ	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明	カリウム鉛ガラス
98007	283-58	C区SK596	小玉片	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-不透明　白色	カリウム鉛ガラス
98008	283-65	C区SK604	丸玉片	1	0	0	0	0	0	0	0	透明　一部白色	カリウム鉛ガラス？
98009	283-62	C区2面SK247	丸玉片	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
98010	283-63	C区1面下掘り下げ	丸玉片	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-不透明	カリウム鉛ガラス
98011	283-66	C区2面SK405	丸玉片	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-不透明	カリウム鉛ガラス
98012	283-67	C区2面SK405	蜜柑玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
98013	283-64	C区1面下掘り下げ	丸玉片	1	0	0	0	0	0	0	0	半透明	カリウム鉛ガラス
98014	283-52	C区1面下掘り下げ	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	灰橙色-不透明	カリウム鉛ガラス
98015	283-53	C区1面下掘り下げ	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	灰緑色-不透明	カリウム鉛ガラス
98016	283-55	C区1面下掘り下げ	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	灰緑色-不透明	カリウム鉛ガラス
98017	283-54	C区2面SK361	連玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明　一部赤色	カリウム鉛ガラス
98018	283-59	C区1面下掘り下げ	棒状	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明	カリウム鉛ガラス
98019	283-60	C区表土	指輪？	1	0	0	0	0	0	0	0	青色-透明	カリ石灰ガラス？
98020	283-61	C区2面下掘り下げNo.5	容器片？	14	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
98021	284-99	C区1面下掘り下げ	坩堝　口縁部片	0	1	1	0	0	0	0	0	白色	未分析
98022	284-100	C区1面下掘り下げ	坩堝　口縁部片	0	1	1	0	0	0	0	0	白色	カリウム鉛ガラス
98023	284-101	C区1面下掘り下げ	坩堝　口縁部片	0	1	1	0	0	0	0	0	白色	未分析
98024	284-102	C区2面下掘り下げ	坩堝　肩部片	0	1	0	1	0	0	0	0	淡緑色-不透明	カリウム鉛ガラス
98025	284-108	C区2面下掘り下げ	坩堝　胴部片	0	1	0	0	1	0	0	0	緑色-不透明	カリウム鉛ガラス
98026	284-104	C区SK599(判読困難)	坩堝　底部片	0	1	0	0	0	1	0	0	白色	カリウム鉛ガラス
98027	284-106	C区SK599(判読困難)	坩堝　肩部片	0	1	0	1	0	0	0	0	白色	カリウム鉛ガラス
98028	284-107	C区SK599(判読困難)	坩堝　胴部片	0	1	0	0	1	0	0	0	白色	カリウム鉛ガラス
98029	284-105	C区SK599(判読困難)	坩堝　底部付近	0	1	0	0	1	0	0	0	淡緑色-半透明　白色	カリウム鉛ガラス
98030	284-103	C区SE133	坩堝　肩部片	0	1	0	1	0	0	0	0	緑色-透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
98031	未図化	C区SK185	ガラスの滓か？ガラス片	1	0	0	0	0	0	0	0	青緑色-不透明、薄緑色-不透明、白色	カリウム鉛ガラス
98032	未図化	C区600（判読困難）	ガラスの滓か？球形ガラス	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-不透明　灰色	カリウム鉛ガラス
98033	未図化	C区SE636	ガラスの滓か？滴下状ガラス	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明、薄緑色-不透明	カリウム鉛ガラス
98034	未図化	C区SK651	鉄滓か？流動	0	0	0	0	0	0	0	1	黒色-光沢	鉄滓
98035	未図化	C区1面下掘り下げ	ガラス片、礫、鉄滓か？	1	0	0	0	0	0	0	2	ｶﾞﾗｽ片…銀色-光沢、滓？…黒色-光沢、礫状…灰色、薄紫色、赤色	カリウム鉛ガラス
98036	未図化	C区1面防空壕	鉄滓か？流動	0	0	0	0	0	0	0	1	黒色-光沢	鉄滓
98037	未図化	C区SK127	坩堝　胴部片	0	1	0	0	1	0	0	0	薄緑色-不透明、一部白色	未分析
98038	未図化	C区SK403	坩堝　底部付近	0	1	0	0	1	0	0	0	乳白色、一部灰色	未分析
98039	未図化	C区SK404	坩堝？　肩部片	0	0	0	1	0	0	0	1	肌色-光沢　乳白色	カリウム鉛ガラス
98040	未図化	C区SK436	坩堝　胴部片	0	2	0	0	0	0	2	0	乳白色、一部灰色　灰褐色	未分析
98041	未図化	C区SE531　井筒	坩堝　底部付近	0	1	0	0	1	0	0	0	緑色-不透明　一部白色	未分析
98042	未図化	C区SK599	坩堝　肩部、胴部片	0	7	0	1	2	0	4	0	白色　一部薄緑色-不透明	未分析

遺物番号	報告書Fig.	出土地点註記	資料名	ガラス	坩堝	坩堝部位					その他	色調	種別
						口縁部	頸部	胴部	底部	小片			
98043	未図化	C区SK617	坩堝　小片	0	1	0	0	0	0	1	0	薄緑色-不透明、一部白色	未分析
98044	未図化	C区1面下掘り下げ	坩堝　口縁部片など	0	3	1	1	1	0	0	3	乳白色、一部灰色　灰褐色	カリウム鉛ガラス
98045	未図化	C区2面下掘り下げ	坩堝　口縁部片など	0	1	0	0	1	0	0	3	黒色、暗緑色-不透明	カリウム鉛ガラス
98046	未図化	C区2面下掘り下げNo.5	坩堝　底部片	0	1	0	0	0	1	0	0	乳白色-光沢	カリウム鉛ガラス
98047	未図化	C区2面下掘り下げNo.5-6	坩堝　小片	0	1	0	0	0	0	1	0	緑色-透明　一部白色	未分析
98048	未図化	C区2面下掘り下げNo.5,6,9	坩堝　胴部片	0	1	0	1	0	0	0	0	乳白色-不透明、一部薄橙色	未分析
98049	未図化	C区SK517	坩堝　胴部片	0	1	0	0	1	0	0	0	乳白色-不透明	未分析
98050	未図化	C区1面SK87	不明	0	0	0	0	0	0	0	1	赤褐色、白色、灰色	未分析
98051	未図化	C区SK403	不明	0	0	0	0	0	0	0	1	赤褐色、白色、灰色、黒色	未分析
98052	未図化	C区SK594	不明	0	0	0	0	0	0	0	1	白色、灰色、黄褐色	カリウム鉛ガラス
98053	未図化	C区SK676	不明	0	0	0	0	0	0	0	1	赤褐色、黄褐色、灰色	未分析
98054	未図化	C区SE686　掘方	送風管??	0	0	0	0	0	0	0	1	橙色、灰色	未分析
98055	未図化	C区SK721	不明	0	0	0	0	0	0	0	1	乳白色、黄褐色、灰色、黒色-金属光沢	未分析
98056	未図化	C区SK762	不明	0	0	0	0	0	0	0	1	赤褐色、灰色	未分析
98057	未図化	C区SK781	不明	0	0	0	0	0	0	0	2	赤褐色、灰色	未分析
98058	未図化	C区3面下掘り下げNo.5,6,9	送風管??	0	0	0	0	0	0	0	1	灰黄褐色、肌色、灰色、白色	未分析
98101	283-69	D区1面下掘り下げNo.3	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
98102	283-70	D区SK532	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	薄緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
98103	283-74	D区2面下掘り下げNo.9,10	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明	カリウム鉛ガラス
98104	283-76	D区1面SK73	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明	カリウム鉛ガラス
98105	283-77	D区SK673	丸玉片	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
98106	283-71	D区1面No.9SK336	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明	カリウム鉛ガラス
98107	283-72	D区1面No.10・9廃棄土坑	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
98108	283-73	D区359	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
98109	283-82	D区2面下掘り下げNo.15	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明	カリウム鉛ガラス
98110	283-83	D区ＳＥ338	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
98111	283-84	D区2．5面下掘り下げ	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-半透明	石英？
98112	283-85	D区1面No.10・9廃棄土坑	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
98113	283-75	D区2面下掘り下げNo.6	小玉	1	0	0	0	0	0	0	0	白色-不透明	カリウム鉛ガラス
98114	283-81	D区SD24下層	連玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明	カリウム鉛ガラス
98115	283-80	D区1面SK259	連玉	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-不透明　灰色	カリウム鉛ガラス
98116	283-78	D区1面下掘り下げ	丸玉片	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
98117	283-79	D区1面28下層	丸玉片	1	0	0	0	0	0	0	0	青色-不透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
98118	283-87	D区3面ＳＫ935	平玉片	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明	カリウム鉛ガラス
98119	283-68	D区2．5面SK755	破片	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明	カリウム鉛ガラス
98120	283-88	D区ＳＫ337	破片	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明	カリウム鉛ガラス
98121	283-89	D区ＳＫ337	棒状	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明	カリウム鉛ガラス
98122	283-86	D区1面下掘り下げNo.5	破片	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
98123	283-90	D区2．5面SK495	棒状	1	0	0	0	0	0	0	0	淡緑色-不透明	カリウム鉛ガラス
98124	284-112	D区SK932	坩堝　口縁部片	0	1	1	0	0	0	0	0	白色	カリウム鉛ガラス
98125	284-113	D区SK73	坩堝　口縁部片	0	1	1	0	0	0	0	0	緑色-半透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
98126	284-116	D区SK73	坩堝　底部片	0	1	0	0	0	1	0	0	淡緑色-不透明　白色光沢	未分析
98127	284-117	D区ＳＰ45	坩堝　底部片	0	1	0	0	0	1	0	0	黒色-光沢　一部白色	カリウム鉛ガラス
98128	284-118	D区1面382	坩堝　底部片	0	1	0	0	0	1	0	0	緑色-半透明　一部白色	カリウム鉛ガラス
98129	284-106	D区3面SK935	坩堝　口縁部片	0	1	1	0	0	0	0	0	淡緑色-不透明	カリウム鉛ガラス
98130	284-114	D区3面SK935	坩堝　底部片	0	1	0	0	0	1	0	0	白色-光沢	カリウム鉛ガラス
98131	284-115	D区3面SK935	坩堝　底部付近	0	2	0	0	1	0	1	0	白色	カリウム鉛ガラス
98132	284-109	D区3面SK935	坩堝　胴部片	0	1	0	0	1	0	0	0	白色-光沢	カリウム鉛ガラス
98133	284-111	D区1面下掘り下げ	緑釉？三彩？底部	0	0	0	0	0	0	0	1	釉　緑色-半透明　地　肌色	鉛釉(緑釉？三彩？)
98134	未図化	D区1面SD21掘り下げ	ガラス容器片？	1	0	0	0	0	0	0	0	青緑色-不透明	カリウム鉛ガラス
98135	未図化	D区SK22	不明	0	0	0	0	0	0	0	1	乳白色、一部灰色	鉄滓？
98136	未図化	D区684	不明	0	0	0	0	0	0	0	1	黒色-金属光沢	鉄滓？
98137	未図化	D区2面下褐色砂層No.15	ガラス容器片？	1	0	0	0	0	0	0	0	薄緑色-半透明、一部白色	カリウム鉛ガラス
98138	未図化	D区2面下掘り下げNo.6	ガラス容器片？	1	0	0	0	0	0	0	0	緑色-透明	カリウム鉛ガラス
98139	未図化	D区SK139	板状ガラス片（大）	1	0	0	0	0	0	0	0	暗緑色-透明	ソーダ石灰ガラス
98140	未図化	D区337	ガラス片	1	0	0	0	0	0	0	0	薄緑色-不透明、一部白色	カリウム鉛ガラス？
98141	未図化	D区SK20	坩堝　胴部片	0	1	0	0	1	0	0	0	薄緑色-透明、白色、灰色	未分析
98142	未図化	D区SD21	坩堝　口縁付近破片	0	1	1	0	0	0	0	0	乳白色-不透明	未分析
98143	未図化	D区1面SX28下層	坩堝　底部片	0	1	0	0	0	1	0	0	緑色-透明、薄緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
98144	未図化	D区SX28最下層	坩堝　底部片	0	1	0	0	0	1	0	0	緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
98145	未図化	D区1面SK73	坩堝　胴部片	0	2	0	0	2	0	0	0	緑色-透明、白色、灰黄褐色-不透明	未分析
98146	未図化	D区SK199	坩堝　胴部片	0	1	0	0	1	0	0	0	薄緑色-不透明、一部白色	未分析
98147	未図化	D区1面SK231	坩堝　肩部片	0	1	0	1	0	0	0	0	灰橙色-不透明	未分析
98148	未図化	D区SK287	坩堝　底部片	0	1	0	0	0	1	0	0	灰橙色-不透明、灰色	未分析
98149	未図化	D区SK333	坩堝　胴部片	0	1	0	0	1	0	0	0	乳白色-不透明	未分析
98150	未図化	D区337	坩堝　肩部、胴部片	0	2	0	1	0	0	1	0	乳白色-不透明	未分析
98151	未図化	D区SK385	坩堝　小片	0	1	0	0	0	0	1	0	緑色-不透明　一部白色	未分析
98152	未図化	D区SK475	坩堝　胴部下部	0	1	0	0	1	0	0	0	内面/乳白色-不透明、外面/薄緑色-半透明、橙色-不透明、乳白色	カリウム鉛ガラス
98153	未図化	D区529	坩堝　小片	0	1	1	0	0	0	0	0	内面/赤褐色、乳白色、外面/明橙色	カリウム鉛ガラス
98154	未図化	D区SE578	坩堝　胴部下部	0	1	0	0	1	0	0	0	内面/乳白色-不透明、薄灰色、外面/橙色、乳白色	未分析
98155	未図化	D区SK628	坩堝　胴部片など	0	3	1	0	2	0	0	1	内面/赤褐色、乳白色、外面/灰色のものも	不明
98156	未図化	D区SK695	土製品？？	0	0	0	0	0	0	0	1	外面に赤銅色-金属光沢	カリウム鉛ガラス
98157	未図化	D区SE751	坩堝　底部付近	0	1	0	0	1	0	0	0	薄緑色-不透明、一部白色	未分析
98158	未図化	D区SK765	坩堝　小片	0	2	0	0	0	0	2	0	白色	未分析
98159	未図化	D区SK765	坩堝　口縁付近	0	1	0	1	0	0	0	0	青緑色-半透明、一部白色	未分析

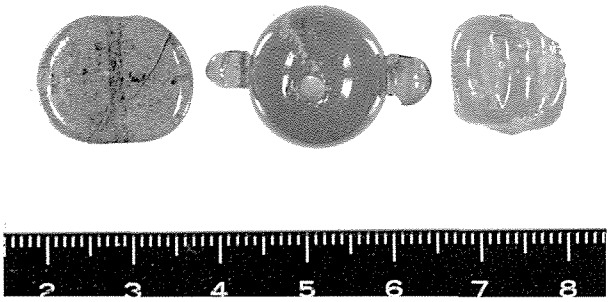
遺物番号	報告書Fig.	出土地点註記	資料名	ガラス	坩堝	坩堝部位					その他	色調	種別
						口縁部	頸部	胴部	底部	小片			
98160	未図化	D区SK780	坩堝　口縁部片	0	1	1	0	0	0	0	0	内面　赤色-光沢、緑色-半透明	カリウム鉛ガラス
98161	未図化	D区794	土製品？？	0	0	0	0	0	0	0	1	黒色-光沢	不明
98162	未図化	D区SK856	坩堝　胴部片	0	2	0	0	2	0	0	0	乳白色-不透明	未分析
98163	未図化	D区SK867	坩堝？　胴部片	0	0	0	0	0	0	0	1	乳白色-不透明、薄緑色-不透明	カリウム鉛ガラス
98164	未図化	D区1面遺構検出	坩堝　口縁部片 底部片など	0	17	2	1	12	2	0	2	乳白色-不透明、薄緑色-不透明	カリウム鉛ガラス
98165	未図化	D区1面掘り下げ	坩堝　胴部片など	0	8	0	1	6	0	1	1	乳白色-不透明	カリウム鉛ガラス
98166	未図化	D区No.5 1面下掘り下げ	坩堝　肩部片	0	1	0	1	0	0	0	0	乳白色-不透明	未分析
98167	未図化	D区1.5面検出	坩堝？　底部片	0	0	0	0	0	0	0	1	内面/灰色、黒色、乳白色、外面/赤褐色、乳白色	カリウム鉛ガラス
98168	未図化	D区2面No.6　遺構検出	坩堝　肩部片など	0	1	0	1	0	0	0	1	内面/乳白色-不透明、薄緑色-不透明、外面/乳白色-不透明	カリウム鉛ガラス
98169	未図化	D区2面下掘り下げ	坩堝　胴部片	0	2	0	0	2	0	0	0	乳白色-不透明、一部薄橙色、薄緑色-不透明	未分析
98170	未図化	D区2面下掘り下げNo.6	坩堝　小片	0	1	0	0	1	0	0	0	乳白色-不透明、一部薄橙色	未分析
98171	未図化	3面イルカ頭骨周辺　図入り	坩堝　小片	0	1	0	0	0	0	1	0	緑色-透明、一部乳白色	未分析
98172	未図化	D区1面SK202	小片	0	0	0	0	0	0	0	1	黒色　白色-不透明	未分析
98173	未図化	D区SK229下層	不明塊	0	0	0	0	0	0	0	1	灰色　黒色　乳白色	鉄関連遺物？
98174	未図化	D区3面SK240最下層	不明塊	0	0	0	0	0	0	0	1	白色　灰色	鉄関連遺物？
98175	未図化	D区SK432	不明塊	0	0	0	0	0	0	0	1	白色、灰色、赤褐色	鉄関連遺物？
98176	未図化	D区SP687	ガラスの滓	0	0	0	0	0	0	0	1	赤褐色　緑色-半透明　灰色	未分析
98177	未図化	D区SK689	不明塊	0	0	0	0	0	0	0	1	黒色　灰色	鉄関連遺物？
98178	未図化	D区SE751	不明塊	0	0	0	0	0	0	0	1	赤褐色　白色　灰色	鉄関連遺物？
98179	未図化	D区SK752	不明塊	0	0	0	0	0	0	0	1	赤褐色　白色　灰色	鉄関連遺物？
98180	未図化	D区2面SK754	不明塊	0	0	0	0	0	0	0	1	赤褐色　白色　灰色	鉄関連遺物？
98181	未図化	D区SK794	不明塊	0	0	0	0	0	0	0	1	赤褐色　白色　灰色	未分析
98182	未図化	D区1面下掘り下げ	不明塊			0	0	0	0	0		赤褐色　緑色-透明　灰色	未分析
98183	未図化	D区No.5 1面下掘り下げ	ガラスの滓	0	0	0	0	0	0	0	2	赤褐色　緑色-透明　灰色	未分析



小玉



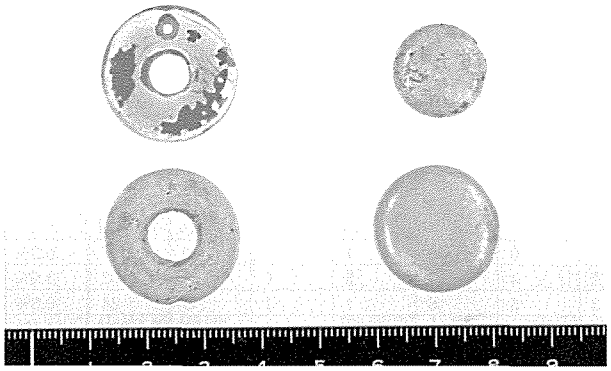
連玉状



特殊な形態の玉類

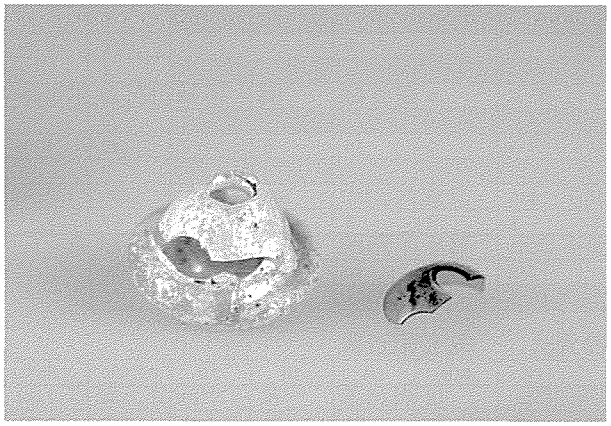
棒状

博多遺跡群第172次調査出土ガラス・ガラス製作関連遺物（1）

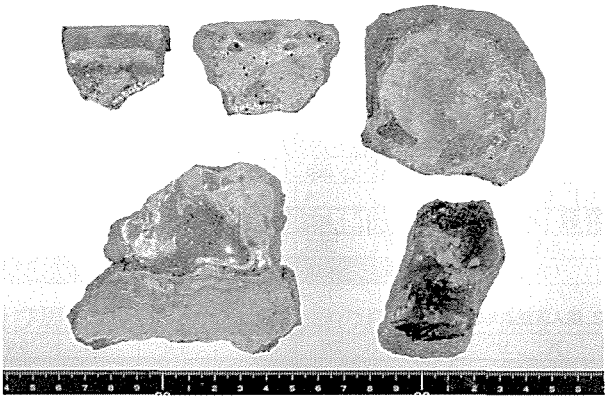


円盤状（左：璧状、右：おはじき状）

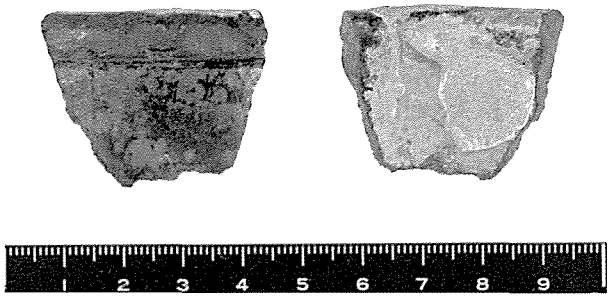
容器か？



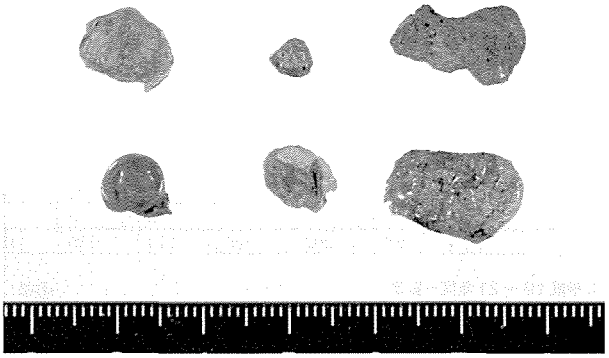
小型容器蓋



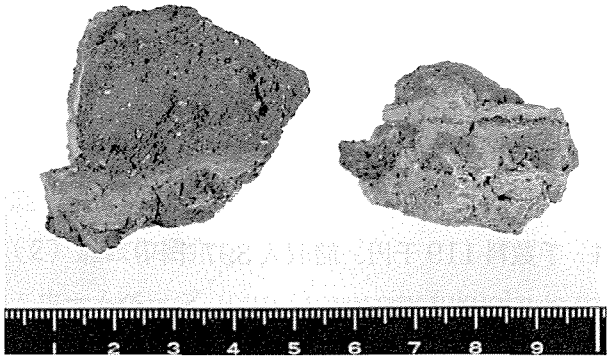
坩堝片



ガラスが付着する陶磁器（坩堝？取瓶か？）



不定形のガラス粒



ガラスが付着する焦土塊（1）

ガラスが付着する焦土塊（2）

博多遺跡群第172次調査出土ガラス・ガラス製作関連遺物（2）

4．入館者数

1. 入館者総数報

区分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)
		(日)	26	27	15	27	26	26	27	25	24	24	24	26	297	
個人	一般	男	126	129	107	125	176	112	144	137	128	128	219	242	1,773	61.4%
		女	49	48	57	66	70	45	45	46	47	55	127	140	795	27.5%
		小計	175	177	164	191	246	157	189	183	175	183	346	382	2,568	88.9%
	学生	小学生	10	20	8	10	18	7	4	10	11	4	11	15	128	4.4%
		中学生	4	2	0	2	35	3	1	5	1	2	1	3	59	2.0%
		高校生	0	1	0	0	5	0	0	0	0	1	0	0	7	0.2%
		大学生	2	2	8	4	34	17	1	4	7	3	6	14	102	3.5%
		その他	1	0	0	3	1	0	3	5	6	1	1	3	24	0.8%
		小計	17	25	16	19	93	27	9	24	25	11	19	35	320	11.1%
	合計(a)		192	202	180	210	339	184	198	207	200	194	365	417	2,888	100.0%
団体	一般		45	244	43	179	183	191	304	290	79	202	331	151	2,242	73.4%
	(団体数)		3	3	3	3	7	2	7	4	3	3	6		44	
	小学生		236	19	231	0	0	0	72	156	0	0	53		767	25.1%
	(団体数)		2	1	2				2	1			1	0	9	
	中学生		0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0.2%
	(団体数)					1									1	
	高校生		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	(団体数)														0	
	大学生		0	0	0	0	13	8	0	0	0	19	0	0	40	1.3%
	(団体数)						1	1				1			3	
	合計(b)		281	263	274	185	196	199	376	446	79	221	384	151	3,055	100.0%
	(団体数計)		5	4	5	4	8	3	9	5	3	4	7	0	57	
総計(a+b)			473	465	454	395	535	383	574	653	279	415	749	568	8,185	
出前授業			905	965	812	470	0	365	536	243	120	10	0	0	4,426	
(学校数)			9	12	9	7	0	5	5	3	1	1	0	0	52	

2. 個人入館者年齢区分

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)
0～19才	15	23	8	15	65	10	9	20	18	9	13	19	224	7.8%
20～29才	10	23	20	13	65	35	19	18	30	20	26	33	312	10.8%
30～39才	28	43	31	34	41	23	34	24	38	32	62	78	468	16.2%
40～49才	58	44	65	70	68	51	46	55	44	51	139	147	838	29.0%
50～59才	42	43	42	49	60	35	42	40	46	52	82	84	617	21.4%
60～69才	28	24	9	21	30	23	38	33	16	21	32	41	316	10.9%
70～79才	10	2	5	7	10	5	10	14	8	9	10	14	104	3.6%
80才以上	1	0	0	1	0	2	0	3	0	0	1	1	9	0.3%
計	192	202	180	210	339	184	198	207	200	194	365	417	2,888	100.0%

3. 個人入館者住所区分

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)
福岡市	111	135	119	160	196	120	110	137	109	132	302	310	1,941	67.2%
福岡県内	50	50	29	26	48	34	60	35	36	29	38	48	483	16.7%
県外	28	17	25	21	95	27	23	31	49	33	25	54	428	14.8%
国外	3	0	7	3	0	3	5	4	6	0	0	5	36	1.2%
計	192	202	180	210	339	184	198	207	200	194	365	417	2,888	100.0%

4. 平成19～21年度一覧表

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	半期計	合計
平成19年度	635	1,116	1,087	485	472	672	859	358	454	282	577	452	4,467	7,449
平成20年度	314	993	594	500	345	623	824	859	276	279	490	426	3,369	6,523
平成21年度	473	465	454	395	535	383	574	653	279	415	749	568	2,705	5,943
区分 (日)	26	27	15	27	26	26	27	25	24	24	24	26		
各月一日平均(人)	18.2	17.2	30.3	14.6	20.6	14.7	21.3	26.0	11.6	17.3	31.2	21.8		
H21年度累計(人)	473	938	1,392	1,787	2,322	2,705	3,279	3,932	4,211	4,626	5,375	5,943		
閉館以降累計(人)	328,467	328,932	329,386	329,781	330,316	330,699	331,273	331,926	332,205	332,620	333,369	333,937		

5. 平成21年度　当初予算

（1） 歳入

自主財源8,102千円（国庫補助金7,586千円、使用料・手数料119千円、諸収入397千円）

（2） 歳出

68,342千円（自主財源60,240千円）内訳：管理運営費40,653千円、事業費27,689千円

Ⅱ　埋蔵文化財センターの概要

1．組織と職員

（1） 福岡市文化財行政の組織

教育委員会―教育長―教育次長―文化財部長

文化財管理課	管理係	部の総括、予算・決算、庶務・経理、文化施設の管理及び整備
	主　査	文化財行政の企画
文化財整備課	整備第１係	史跡の保存・整備・活用・現状変更、文化財保護審議会
	整備第２係	福岡城跡及び鴻臚館跡の調査・整備
	課　長	文化財調査
埋蔵文化財第１課	調査係	第１・２課の予算・決算、課の庶務、東部地区に係る埋蔵文化財の発掘調査及び保存
	事前審査係	公共及び民間開発事業の埋蔵文化財に係る事前審査
埋蔵文化財第２課	調査第１係	国庫補助事業総括、課の庶務、西部地区に係る埋蔵文化財の発掘調査及び保存
	調査第２係	九大移転地及び周辺部に係る埋蔵文化財の発掘調査・保護
埋蔵文化財センター	運営係	施設の管理運営、考古学的資料の収集・保存・展示・教育普及

（2） 埋蔵文化財センターの職員（平成21年度）

所　長　力武　卓治	運営係長　河野　正 運営係長(10月より)　坂口　茂	文化財主事　田上勇一郎 文化財主事　星野　惠美 文化財主事　上角　智希	嘱託　石井千絵里 （保存処理指導員）
	主任文化財主事　荒牧　宏行		

2．施 設

（1） 施設の概要

当センターは敷地面積4,000㎡、鉄筋コンクリート造３階建（建築面積1,015㎡、延床面積1,992㎡）の規模で昭和57年２月開館した。その後、昭和61年３月に収蔵庫を主とした増築（増建築面積1,035㎡、増延床面積1,994㎡）を行った。さらに平成９年度から大規模な増築・改造を実施し、平成11年４月にリニューアルオープンの運びとなった。現在、敷地面積7,481㎡、建築面積3,987㎡、延床面積10,713㎡の施設規模である。

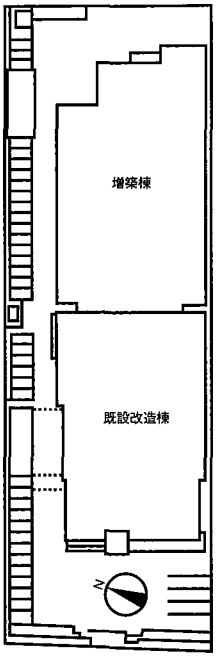
（2）施設の紹介

ホームページ（http://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/）には施設概要のほか前年度の事業実績、年度毎の保存処理の具体例、収蔵遺物などを掲載している。また、講座案内・申し込み受付も行っている。

（2）主な施設

施設区分	室　　名	床面積(㎡)
教育普及	第１展示室	167.00
	第２展示室	127.00
	第３展示室	61.00
	研修室	140.00
	図書室・図書コーナー	181.00
	貸出準備室	85.00
	資料閲覧室	58.00
収　　蔵	収蔵庫	5,601.00
	特別収蔵庫	547.00
	記録類収蔵庫	192.00
	荷解・搬入室	65.00
	消毒室	23.00

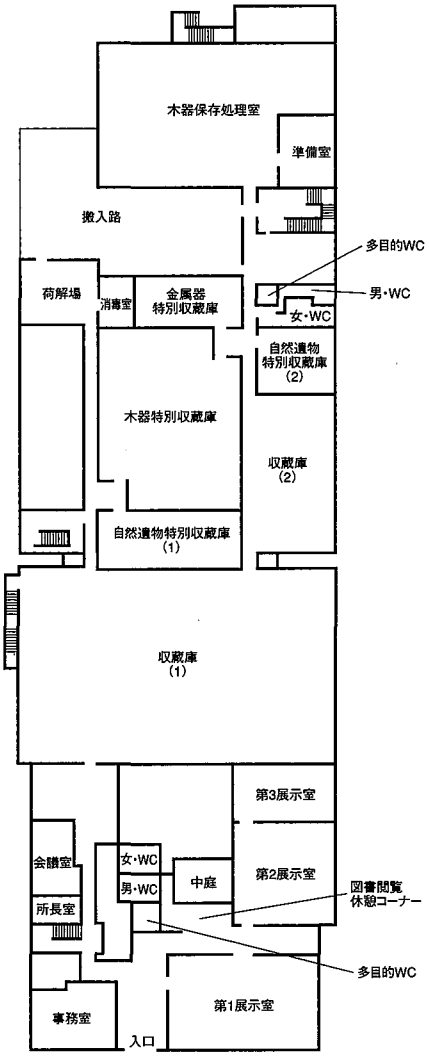
施設区分	室　　名	床面積(㎡)
保存処理	木器保存処理室	426.00
	金属器処理室	156.00
	分析室（光学機器室）	154.00
資料整理	洗浄室	37.00
	資料整理室	235.00
	写場・暗室	63.00
管　　理	倉庫	58.00
	事務・会議室等	140.00
	警備・機械室等	258.00
	通路・エレベーター等	1,434.00
その他	庇・トラックヤード等	505.00
計		10,713.00



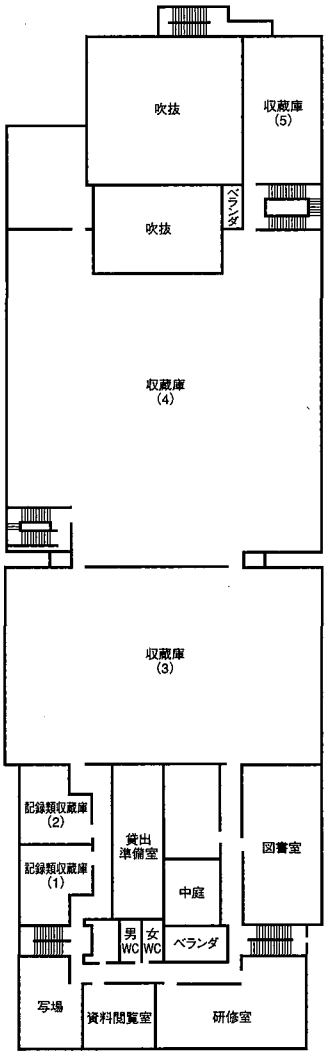
建物配置図 ▶

正面入口

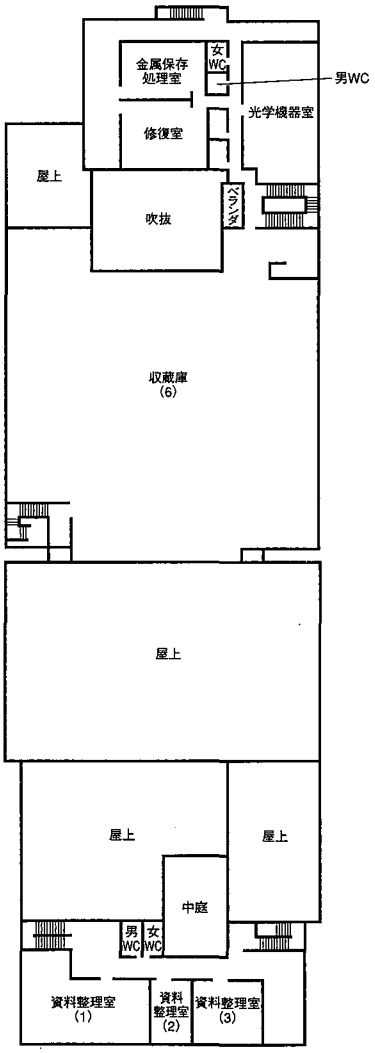
▼ 施設平面図



〔1階〕



〔2階〕



〔3階〕

付１　福岡市埋蔵文化財センター条例等

福岡市埋蔵文化財センター条例

（昭和56年12月21日 条例第66条）

（設置）

第１条　発掘調査等で出土した考古学的資料（以下「資料」という。）の保存と活用を図り、もって市民文化の向上に資するため、福岡市埋蔵文化財センター（以下「センター」という。）を福岡市博多区井相田二丁目に設置する。

（事業）

第２条　センターは、次の各号に掲げる事業を行う。

(1) 資料の収集、整理及び保存に関すること。

(2) 資料を展示し、公開すること。

(3) 資料の専門的調査研究を行うこと。

(4) 前３号に掲げるもののほか、センターの設置の目的達成に必要なこと。

（職員）

第３条　センターに所長その他必要な職員を置く。

（入館の制限）

第４条　教育委員会は、次の各号いずれかに該当する者に対し、入館を拒み、又は退去を命ずることができる。

(1) センターの管理上必要な指示又は指導に従わない者。

(2) センターの管理上支障があると認められる者。

（資料の貸出し）

第５条　教育、学術若しくは文化に関する機関若しくは団体又は学術研究のため特に資料を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けて資料の貸出しを受けることができる。

２　前項の貸出しは、資料の保管について安全が確保できると認められる場合に限り行うものとする。

（損害賠償）

第６条　資料の観覧者又は貸出しを受けた者が、その責めに帰すべき事由によりセンターの建物若しくは施設又は資料を破損し、滅失し、又は汚損して本市に損害を与えたときは、これらを現状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

（委任）

第７条　この条例に定めるもののほか、センターの管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附　則

この条例は、公布の日から起算して３月を越えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。

（昭和57年教規則第３号により昭和57年２月22日から施行）

福岡市埋蔵文化財センター条例施行規則

（昭和57年１月25日 教育委員会規則第４号）

改正　昭和61年一教規則２、平成３年一教規則７、平成４年一教規則３、平成11年一教規則１

（趣旨）

第１条　この規則は、福岡市埋蔵文化財センター条例（昭和56年福岡市条例第66号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（組織）

第２条　福岡市埋蔵文化財センター（以下「センター」という。）の事務を行うため、センターに運営係を置く。

（職員）

第３条　センターに所長、係長、吏員その他の職員を置く。

２　前項の職員のほか、特定事務を担当させるため、センターに主任文化財主事及び文化財主事を置くことができる。

３　所長、係長、主任文化財主事及び文化財主事は、吏員のうちから命ずる。

４　係長又は主任文化財主事のうちから総括係長を命ずることがある。

５　所長及び係長は、上司の命を受けてセンター又は係の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

６　主任文化財主事及び文化財主事は、上司の命を受けて担当事務を処理する。

７　吏員その他の職員は、上司の命を受けて分担する事務を処理する。

（職務権限の代行）

第４条　所長に事故がある場合又は所長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、係長がその係に属する事務について所長の職務権限を代理して行う。ただし、重要又は異例な事務については、文化財部長の指揮を受けなければならない。

２　前項の規定により所長の職務権限を代理して行う者がいないときは、文化財部長が行う。

（開館時間）

第５条　センターの開館時間は、午前９時から午後５時までとする。ただし、教育長は、必要があると認める場合には、これを変更することができる。

（休館日）

第６条　センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育長は必要と認める場合には、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(1) 毎週月曜日

(2) 12月28日から翌年１月４日まで

（入館者の心得）

第７条　センターに入館する者は、次の各号に掲げる事項を守らねばならない。

(1) 所定の場所以外の場所で飲食し、喫煙し、又は

火気を使用しないこと。
(2) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
(3) 危険物又は動物を持ち込まないこと。
(4) 所定の場所以外に立ち入らないこと。
(5) 職員が行う管理上必要な指示又は指導に従うこと。

(貸出し)

第8条　条例第5条第1項の規定による資料の貸出しを受けようとする者は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可申請書（様式第1号）を教育長に提出しなければならない。

2　条例第5条第1項の規定による資料の貸出しの許可は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可書（様式第2号）を交付して行う。

(寄贈等)

第9条　センターに資料を寄贈し、又は寄託しようとする者は、教育委員会に申し出なければならない。

2　寄託を受けた資料の貸出しは、寄託者の承諾を得て行うものとする。

(委任)

第10条　この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附　則

この規則は、昭和57年2月22日から施行する。
この規則は、昭和61年4月1日から施行する。
この規則は、平成3年4月1日から施行する。
この規則は、平成4年4月1日から施行する。
この規則は、平成11年4月1日から施行する。

保存処理設備機器の外部使用許可基準

1．基本的使用許可基準

外部に対する保存処理設備機器の使用許可に際しては、下記要件を満たすものであることを原則とする。

(1) 本市の保存処理業務に支障をきたすおそれがないこと。
(2) 文化財保護の観点から重要性があり、本市の文化財保護行政に寄与するものであること。

2．その他の許可基準

(1) 使用は、センター職員の指導・助言のもと、原則として外部担当職員が行うものとする。
(2) 使用に際して必要となる原材料・作業員等は使用者側（外部）の負担とする。
(3) 一括委託等請負的な処理は許可しないこととする。
(4) 民間業者等営利を目的とする団体からの依頼については許可しないこととする。
(5) 緊急性のある場合や特殊なものを除いて、通常の保存処理については受け付けないものとする。
(6) 使用に際しては、事前にセンター職員と協議のうえ申請書を提出し、許可を得ることを必要とする。
(7) 使用にあたってはセンター職員の指示に従うこと。また指示以外の行為により機器を破損した場合は、使用者側の責任において原状回復すること。

3．対象機器一覧

本基準を適用する保存処理機器は、別紙一覧表の通りとする。

4．許可基準の理由（略）

本基準は平成12（2000）年3月1日より施行する。

(別紙) ＊主な保存処理機器の品名のみを列記

大型PEG含浸槽、一体型PEG含浸槽、真空凍結乾燥機、小型真空凍結乾燥機、有機遺物処理装置、減圧含浸装置、工業用電子天秤、偏光顕微鏡、実体顕微鏡、ビデオマイクロスコープ、赤外線カメラ、画像ファイリング装置、分析用電子天秤、赤外線分水計、大型滑走式ミクロトーム、蛍光X線分析装置、微小部蛍光X線分析装置、X線回析装置、走査電子顕微鏡、顕微赤外分光光度計、透過X線撮影装置、分析用試料作成装置、マグネチックスターラー、ドラフトチャンバー、精密噴射加工機（エアブラシ）、精密グラインダー、送風定温乾燥機、大型送風定温乾燥機、真空乾燥機、卓上電気炉、純水製造装置、超音波洗浄機、真空デシケーター、攪拌機、真空脱泡用デシケーター、シーラー、バキュームシーラー、ホットエアーガン

埋蔵文化財センターにおける有料複写サービス取り扱い要項

(目的)

第1　この要領は、教育委員会文化財部埋蔵文化財センターにおいて、埋蔵文化財センター図書室所蔵発掘調査報告書等行政資料のサービスを行う際の取り扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

(複写サービスの申し込み)

第2　複写サービスの申し込みは、口頭で受けるものとする。

(複写手数料)

第3　複写サービスについては、福岡市手数料条例（昭和35年条例第11号）第2条第2項に基づき実費を徴収するものとし、その複写サービス料金は次の通りとする。なお、手数料については利用者が見やすいところに掲示するものとする。

(1) 用紙の規格は日本工業規格B列5番からA列3番までとし、1枚につき10円とする。

(複写手数料の納入等)

第4　行政資料複写の申し込みがあった場合は、申込者に対して複写手数料の金額を告知し、現金による納入を受けた後、金銭登録機で打出した領収票又は現金領収帳による領収書を交付するものとする。

付則

この要項は平成12年4月5日から施行する。
この要項は平成14年8月1日から施行する。
この要項は平成15年1月7日から施行する。

付2　平成21年度刊行福岡市埋蔵文化財調査報告書・年報一覧

1065集　博多134 ～博多遺跡群第175次調査の報告（調査番号0714）
1066集　今宿五郎江8 ～第12次調査の報告（調査番号0655）
1067集　有田・小田部47 ～第132・137・221・223・228・229・231・232次調査の報告
（調査番号8749・8804・0549・0565・0814・0816・0848・0858）
1068集　有田・小田部48 ～有田遺跡群第230次調査の報告（調査番号0836）
1069集　板付10 環境整備遺構確認調査 ～環濠の調査～板付遺跡54次・59次（調査番号8866・8990）
1070集　入部ⅩⅢ～東入部遺跡群第2次調査報告（4）～（調査番号9168）
1071集　笠抜遺跡２ ～第3次調査報告～（調査番号0803）・大橋Ｅ遺跡7 ～第11次調査報告～
都市計画道路長浜太宰府線関係埋蔵文化財調査報告（調査番号0752）
1072集　香椎Ａ遺跡3 ～一般国道3号博多バイパス建設に伴う調査2（調査番号0737）
1073集　蒲田水ヶ元遺跡2 ～蒲田水ヶ元遺跡第2次調査報告（調査番号0817）
1074集　蒲田部木原10 ～蒲田部木原遺跡第12次調査報告（調査番号0845）
1075集　コノリ遺跡群4 ～第6次調査報告～（調査番号0819）
1076集　山王4 ～山王遺跡第5次調査報告（調査番号0823）
1077集　四箇古川遺跡1 ～第3次・第4次調査報告～（調査番号0764・0843）
1078集　田島Ｂ1 ～福岡市城南区～（調査番号7807）
1079集　拾六町ツイジ2 ～拾六町ツイジ遺跡第3次調査報告（調査番号0830）
1080集　田村16 ～田村遺跡第22次調査、第23次調査報告（調査番号0747・0838）
1081集　市道戸切通線工事に伴う発掘調査報告書2 戸切遺跡第3次調査（調査番号0839）
戸切遺跡第4次調査（調査番号0829）・兵庫遺跡第2次調査（調査番号0828）
戸切巡り町遺跡第2次調査（調査番号0847）
1082集　那珂56 ～那珂遺跡群第97次調査（調査番号0414）・第114次調査報告（調査番号0627）～
1083集　那珂57 ～那珂遺跡群第123次調査報告（調査番号0854）～
1084集　名島城跡3 ～第4・5・6次調査報告～（調査番号0633・0732・0808）
1085集　野芥大藪2 ～野芥大藪遺跡第2次調査報告～（調査番号0804）
1086集　博多135 ～博多遺跡群第172次調査報告～（調査番号0705）
1087集　博多136 ～博多遺跡群第182次調査報告～（調査番号0812）
1088集　博多137 ～博多遺跡群第183次調査報告～（調査番号0815）
1089集　博多138 ～博多遺跡群第184次調査報告～（調査番号0820）
1090集　博多139 ～博多遺跡群第186次調査報告～（調査番号0840）
1091集　博多140 ～博多遺跡群第187次調査報告～（調査番号0842）
1092集　箱崎39 ～箱崎遺跡第61次調査報告～（調査番号0811）
1093集　箱崎40 ～箱崎遺跡第62次調査報告～（調査番号0825）
1094集　箱崎41 ～箱崎遺跡第63次調査報告～（調査番号0826）
1095集　羽根戸原Ｂ1 ～第3次調査の報告～（調査番号0810）
1096集　比恵57 ～比恵遺跡群第114次調査報告～（調査番号0801）
1097集　比恵58 ～比恵遺跡群第115次調査報告～（調査番号0818）
1098集　比恵59 ～比恵遺跡群第116次調査報告～（調査番号0822）
1099集　ヒワタシ遺跡1 ～ヒワタシ遺跡第1次調査報告～（調査番号0841）
1100集　都地遺跡5 ～第8次調査報告～（調査番号0824）
1101集　麦野Ｃ遺跡7 ～麦野Ｃ遺跡第13次調査報告～（調査番号0805）
1102集　元岡・桑原遺跡群16 ～第18次調査の報告2～（調査番号9946）
九州大学統合移転用地内埋蔵文化財発掘調査報告書
1103集　元岡・桑原遺跡群17 ～第31次調査の報告～（調査番号0242）
九州大学統合移転用地内埋蔵文化財発掘調査報告書
1104集　草場古墳群2 ～第2次調査報告～（調査番号7320）

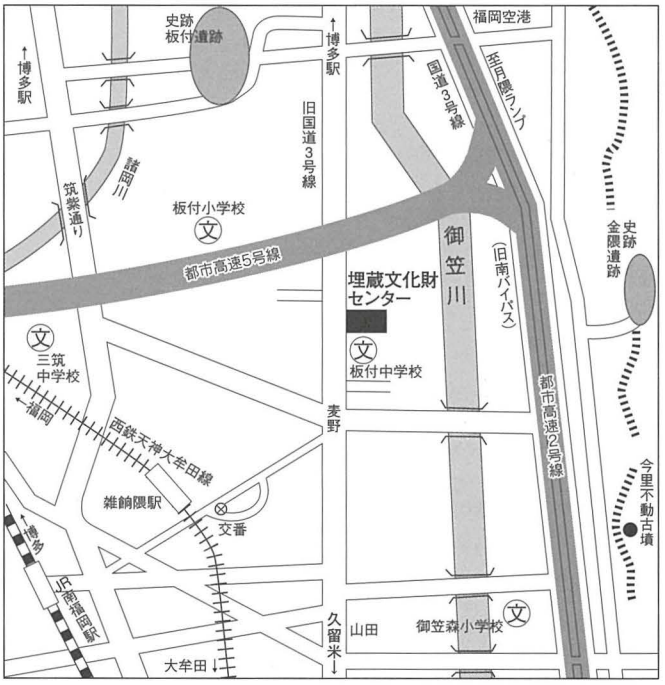
福岡市埋蔵文化財年報Ｖｏｌ.23 ～平成２０（2008）年度版～
上日佐遺跡第1次調査（0809）・麦野Ｃ遺跡第14次調査（0835）
原遺跡第24次調査（0836）・南八幡遺跡第16次調査（0837）
五十川遺跡第17次調査（0846）・西ノ堤池遺跡第1次調査（0850）
浜の町貝塚第1次調査（0852）・井尻Ｂ遺跡第33次調査（0859）

福岡市埋蔵文化財センター年報　第29号
2011年3月16日
発行　福岡市教育委員会
福岡市博多区井相田2—1—94
印刷　九州チューエツ株式会社
福岡市博多区東比恵2—9—1

FUKUOKA CITY
ARCHAEOLOGY CENTER

Annual Report

No.29
2011



福岡市埋蔵文化財センター

所 在 地　福岡市博多区井相田(いそうだ)2丁目1－94（〒812－0881）
電　　話　(092) 571－2921　Fax. (092) 571－2825

開館時間　午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休 館 日　毎週月曜日・年末年始（12月28日～1月4日）
入 館 料　無料（ただし団体見学の案内は事前に連絡が必要です）
交通手段　■西鉄天神大牟田線　雑餉隈(ざっしょのくま)駅から徒歩15分
■JR鹿児島本線　南福岡駅から徒歩25分
■西鉄バス　博多駅交通センターから41番雑餉隈(ざっしょのくま)営業所行に乗車約30分
板付(いたづけ)中学校前（埋蔵文化財センター前）下車すぐ

http://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/

平成21年度　福岡市埋蔵文化財センター年報　第29号
2011　福岡市教育委員会